

令和３年度第１回川越市国際化基本計画審議会 次第

日 時 令和３年５月２７日（木）

午後２時より

場 所 東庁舎２階教育委員会室

１ 開 会

２ 会長挨拶

３ 議事

- （１）川越市国際化基本計画素案について
- （２）川越市国際化基本計画施策の体系（案）について
- （３）その他

４ 閉 会

（配布資料）

【資 料 １】川越市国際化基本計画素案について

【資 料 ２】川越市国際化基本計画施策の体系（案）について

【参考資料１】所管事務における外国籍市民対応実態調査についてのアンケート調査報告書

【参考資料２】令和２年度埼玉県外国人住民意識調査報告書概要版

【参考資料３】令和２年度埼玉県外国人住民意識調査報告書（川越市分）

【参考資料４】川越市国際化基本計画審議会委員名簿

第五次川越市国際化基本計画 素案

(令和 3 年 5 月 27 日)

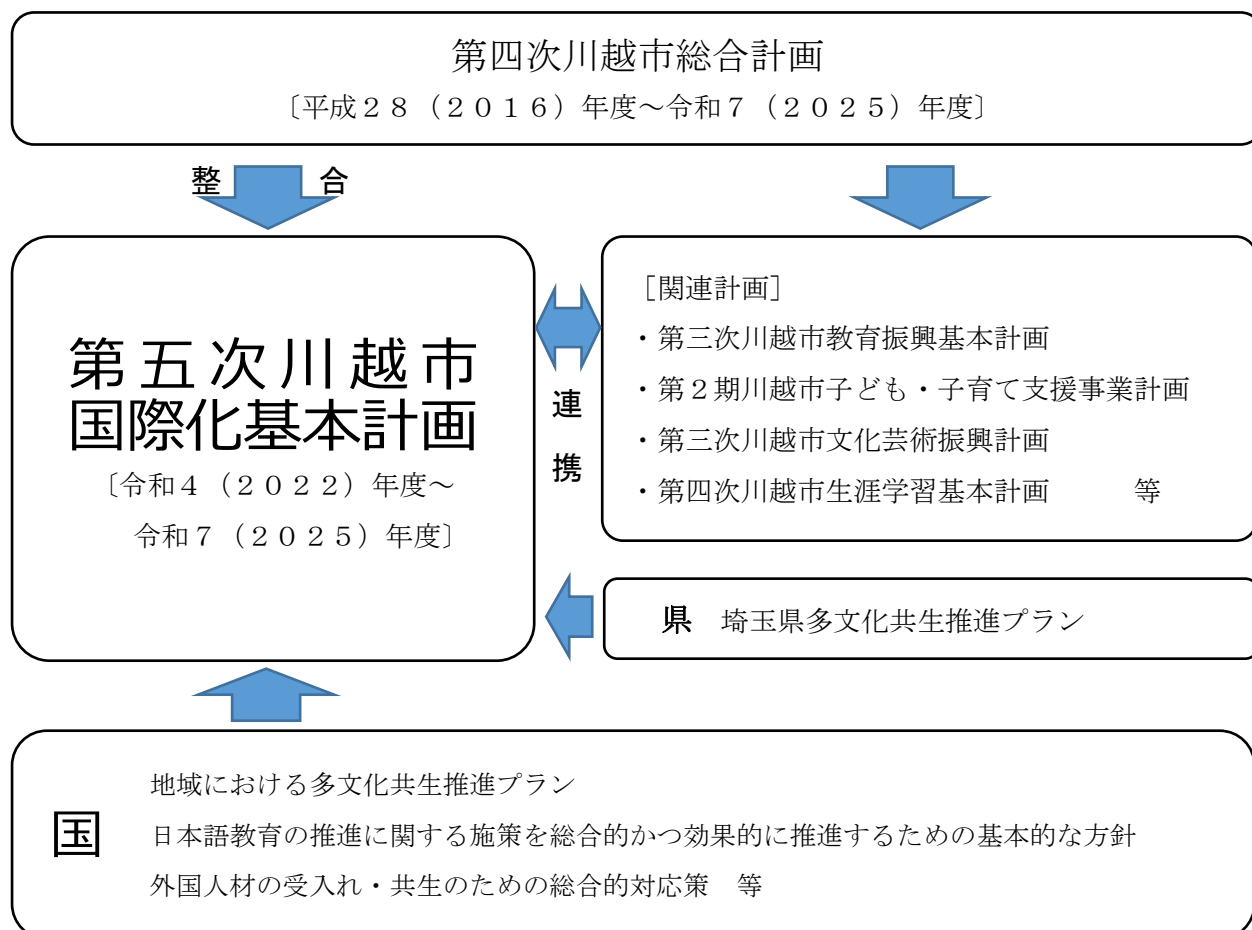
第 1 章 川越市国際化基本計画の策定について

1. 計画策定の趣旨

令和 3 年度をもって「第四次川越市国際化基本計画」の計画期間が終了することから、引き続き本市の国際化及び多文化共生施策の推進についての方方向性を明らかにし、外国人の受入れに係る国の方針に対応しつつ、長期的視野に立って総合的かつ計画的に事業を推進するために、市民や有識者の方々からの意見を聴取しながら、「第五次川越市国際化基本計画」を策定するものです。

2. 計画の位置付け

本計画は、本市の目指すべき都市像を描き、その実現に向けた目標や方策を定めた「第四次川越市総合計画」を上位計画とし、総合計画の個別計画として策定されている関連計画との整合を図りながら、本市の国際化及び多文化共生施策など必要な施策を総合的かつ計画的に推進するものです。



3. 計画の期間

本計画の実施期間は、令和4（2022）年度から令和7（2025）年度の4年間とします。

4. 現状と課題

(1)人口減少と少子高齢化の進行

我が国の総人口は、平成20（2008）年の1億2,808万人をピークに減少局面に入っています。国立社会保障・人口問題研究所が公表した「日本の将来推計人口（平成29年推計）」によると、令和11（2029）年には1億2,000万人、令和35（2053）年には1億人を下回ると推計されています。また、少子高齢化の進展に伴う人口構造の変化により、労働力の減少が喫緊の課題になっています。

本市においては、総人口数が増加し続けており、この増加数の約8割は外国籍市民数の増加によるものです。

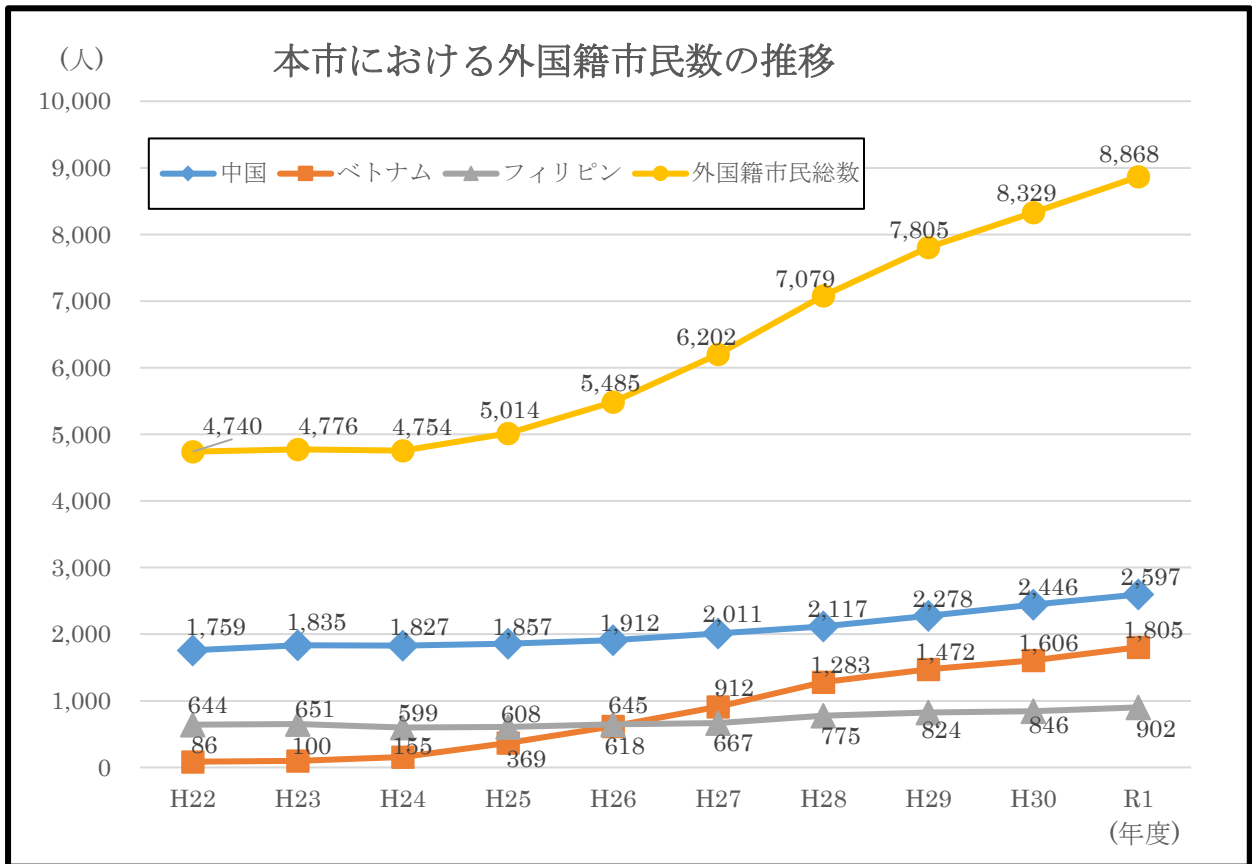
市の推計では、今後、生産年齢人口（15～64歳）の割合は横ばいで推移し、令和10（2028）年をピークに総人口は減少局面に入っていくことが見込まれます。

身近な地域で日本人市民と外国籍市民が共に生活する機会が増えていることから、異文化に対する理解や異文化とのコミュニケーションがますます必要とされています。

(2)外国籍市民の増加

法務省の「在留外国人統計」によると、日本に在留する外国人は令和2（2020）年3月1日時点で約287万人と過去最多を記録し、日本の総人口に占める割合も2%を超えています。

また、本市に在住する外国籍市民は、8,868人（令和2年3月末日現在）で人口の約2.5%を占め、10年前に比べて約1.9倍に増加しており、出身地も88もの国や地域と広範囲に及んでいます。内訳としては、中国、ベトナム、フィリピン、ネパール、韓国・朝鮮といった東アジア及び南アジア諸国（地域）出身の外国籍市民が多い点が特徴となっています。



(3)国による多文化共生推進の取組

1980年代に自治省（現総務省）が「国際交流」と「国際協力」の2つを柱とした地域の国際化推進を複数の指針で示し、平成18（2006）年3月には、総務省が各自治体における多文化共生施策の推進に関する指針・計画の策定を促すため「地域における多文化共生推進プラン」を策定し、「地域における多文化共生」が第3の柱として掲げられました。

このプランでは国籍や民族等の異なる人々が、お互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に生きていく、多文化共生の地域づくりを推進する必要性が強調されています。

また、在留外国人の増加と新たな在留資格である「特定技能」の創設を含む「出入国管理及び難民認定法」の改正※（平成30年法律第102号）を踏まえ、関係閣僚会議において、平成30（2018）年12月に「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」が取りまとめられました。さらに、令和元（2019）年6月には、総合的対応策の充実に向けた主な施策が示され、令和2（2020）年の7月にはその改訂版も取りまとめられました。

なお、令和2年（2020）年9月には、総務省が14年ぶりに「地域における多文化共生推進プラン」の改訂を行い、従前の取組に加えて「地域活

性化の推進やグローバル化への対応」が新たに追加され、外国籍市民との連携・協働などの外国人材の活用が重視されたプランになっています。

本市としても、このような国の方針に対応し、地域における多文化共生施策を推進することが求められています。

※「出入国管理及び難民認定法」の改正の主な内容

改正の主な目的は、深刻な人手不足の状況に対応するため、一定の専門性・技能を有し、即戦力となる外国人材を受け入れようとするもの。人材確保が困難な状況にある14の特定産業分野において、外国人の雇用が可能となった。

1. 新たな外国人材受入れのための在留資格の創設

- ①在留資格「特定技能1号」「特定技能2号」の創設
- ②受入れのプロセス等に関する規定の整備
- ③外国人に対する支援に関する規定の整備
- ④受入れ機関に関する規定の整備
- ⑤登録支援機関に関する規定の整備
- ⑥届出、指導・助言、報告等に関する規定の整備
- ⑦特定技能2号外国人の配偶者及び子に対し在留資格を付与することを可能とする規定の整備

2. 法務省の任務の改正

3. 出入国在留管理庁の設置

(4)持続可能な開発目標（SDGs※）の推進

国連が平成27（2015）年9月に掲げた「持続可能な開発目標（SDGs）」では、「人や国の不平等をなくそう」という目標を17のゴールの一つに掲げ、令和12（2030）年までに、「年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、経済的地位、その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力を向上させて、社会的、経済的、政治的に関与できるよう促進する」と定めています。本市においてもSDGsの視点を意識した取組が求められています。

すべての市民が互いの立場を尊重し、安心して快適な市民生活を送ることができる多文化共生社会の構築が求められていることから、本市としても、誰一人として取り残さないことを目指したSDGsの理念に沿って、外国籍市民を孤立させることなく、地域社会を構成する一員として受け入れていく必要があります。

※SDG s とは「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標。2015 年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中で掲げられた。2030 年を達成年限とし、17 のゴールと 169 のターゲットから構成されている。



(5)深刻化する気象災害・自然災害

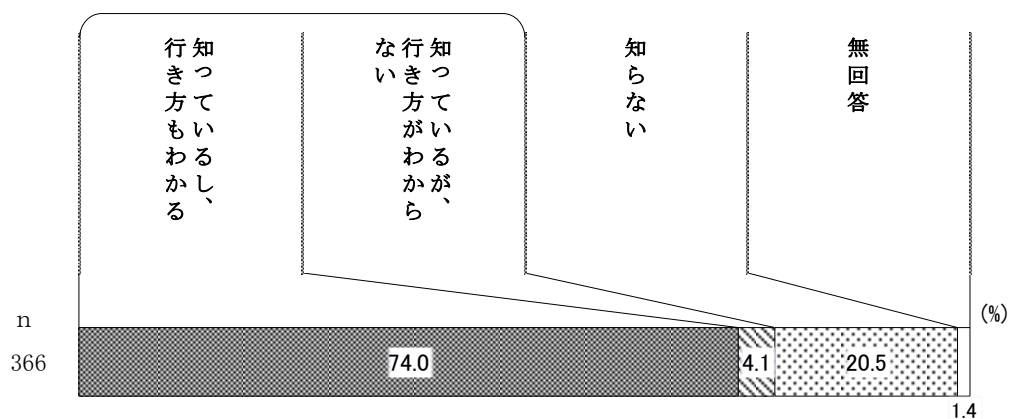
近年、突発的な集中豪雨に伴う水害が頻発するなど、地球温暖化の影響により気象災害が激甚化しているとともに、大規模な地震等の自然災害の発生も今後予測されています。

避難場所の認知について質問した「市民意識調査」日本人市民向け問 9 及び外国籍市民向け問 2 4 の結果によると、日本人市民の 20.5%が「知らない」と答えているのに対し、外国籍市民は、35.3%が「知らない」と答えており、災害時における外国籍市民の安全な避難が課題となっています。

問 地震や水害にあったときに、避難する場所を知っていますか。(1つに○)

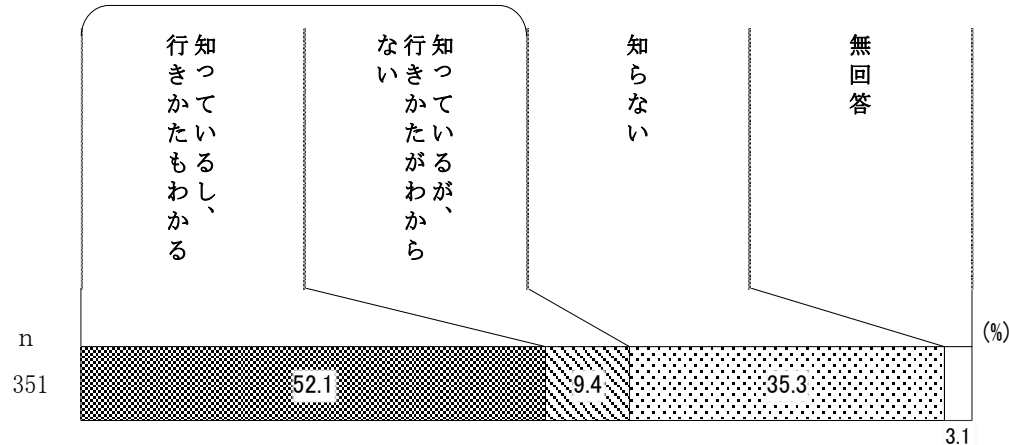
【日本人市民向け問9】

《避難場所を知っている》78.1%



【外国籍市民向け問24】

《避難場所を知っている》61.5%



本市においても、増加している外国籍市民に対し、日本における災害の特性や防災についての考え方を周知し、災害時の備えを構築していくことが求められています。

(6)訪日外国人旅行者の増加

令和元（２０１９）年、日本を訪れた外国人旅行者の数は、過去最高の約３，１８８万２千人を記録しましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う入国制限措置の影響により、令和２（２０２０）年は４１１万人にとどまりました。かつてない下落幅になりましたが、コロナが収束した場合は、日本を訪れる外国人旅行者数は徐々に増加基調に回復すると考えられます。

本市への外国人旅行者数は、令和元（２０１９）年に約３１万３千人を記録し、５年前の約７万７千人と比べ、約４倍の増加となりましたが、近年、国（観光庁）による積極的な誘客戦略と足並みを揃えて、埼玉県や鉄道事業者等と連携を図りながら、アジア圏を対象とする海外プロモーションを実施してきたことによって、大幅な増加につながったと考えられます。

令和２（２０２０）年の外国人旅行者数は３万９千人と大幅に落ち込みましたが、首都圏有数の歴史的資源を豊富に有していること、及び、都心部から１時間以内に来訪できる強みを生かして、国全体の復調に合わせて、本市への旅行者も再び増加することが見込まれます。

そのため、外国人旅行者が訪れやすい環境を継続的に整備し、インバウンド需要を再び取り込むためにも、地域の国際化を推進することが求められています。

第２章 これまでの取組

本市では、平成１１（１９９９）年３月に策定した「川越市国際性のある人づくり、まちづくり基本計画」、平成１８（２００６）年３月策定の「第二次川越市国際化基本計画」、平成２３（２０１１）年３月策定の「第三次川越市国際化基本計画」、平成２８（２０１６）年３月策定の「第四次川越市国際化基本計画」に基づいて、市民および国際交流や多文化共生に関係する市民団体等と協働し、地域の多文化共生や国際化施策を展開しています。

第四次川越市国際化基本計画の基本目標

基本目標１	外国籍市民への支援の充実
基本目標２	国際感覚に優れた市民の育成
基本目標３	外国籍市民にも暮らしやすいまちづくり
基本目標４	姉妹・友好都市交流の充実

1. 前計画の進捗状況

「第四次川越市国際化基本計画」では、計画を着実に推進するため、毎年度、事業ごとの実施状況を踏まえて、進捗状況の自己評価と進行管理を行ってきました。計画期間の最終年はコロナ禍により1年延期され、令和3年度末の見込みを含めた全50事業の進捗状況については以下のとおりです。

施策の柱		A 順調	B 概ね順調	C あまり順調でない	D 順調でない
1. 外国籍市民への支援の充実	14				
2. 国際感覚に優れた市民の育成	20	最終年度の評価を記載予定			
3. 外国籍市民にも暮らしやすいまちづくり	9				
4. 姉妹・友好都市交流の充実	7				
合計	50				

2. これまでの取組や成果

前計画では、4つの柱、13の施策類型に分類し、50の事業を展開してきました。これらの事業を計画に沿って推進してきたことにより、本市における多文化共生や国際化に関する取組みや意識の向上を図ることができました。

施策の柱ごとの、これまでの取組や成果の一例は以下のとおりです。

(1) 外国籍市民への支援の充実

①日本語教室の開催

【事業内容】

日常生活で直面する「言葉の壁」に対する支援として、日本語ボランティアによる「クラスで日本語教室」の実施。およびNPO法人やボランティア団体との共催による日本語教室の開催。

【事業実績】

クラスで日本語教室

	H28	H29	H30	H31/R1	R2	平均
開催回数	407	406	399	351	70	326.6
延べ利用者数	4,711	3,767	4,008	3,612	222	3,264

②外国籍市民相談の開催

【事業内容】

外国籍市民の家庭生活や社会生活などにおける相談に応じ、適切な指導や助言を行う。外国語（中国語・ベトナム語）による生活相談、法律相談、在留資格相談をそれぞれ実施。

【事業実績】

	H28	H29	H30	H31/R1	R2	平均
相談件数	61	74	55	52	16	51.6

(2) 国際感覚に優れた市民の育成

日本語ボランティアの育成

【事業内容】

外国籍市民に対して日本語を指導するボランティアを育成するため、日本語ボランティア講座の実施。また、既に活動している日本語ボランティア向けにスキルアップのための研修を実施。

【事業実績】

延べ出席者数	H28	H29	H30	H31/R1	R2	平均
日本語ボランティア講座	1,117	1,113	783	529	127	733.8

(3) 外国籍市民にも暮らしやすいまちづくり

外国籍市民会議の開催

【事業内容】

外国籍市民を委員とした市民会議を開催し、外国籍市民の提案や視点を市政に取り入れるよう努める。

【主な提言内容】

- ・外国籍の子どもたちに向けた教育支援（令和2年度）
- ・東京2020オリンピックでの熱中症対策について（令和元年度）
- ・川越の医療について（平成30年度）

(4)姉妹・友好都市交流の充実

中学生交流団などの相互派遣事業の実施

【事業内容】

本市の未来を担う中学生の国際理解を深めるため、海外姉妹都市へ中学生交流団を派遣。また、海外姉妹都市からの青少年交流団の受入れ時にホームステイや学校訪問を通じて、多くの市民が関わることができる交流事業の実施。

【事業実績】

	H28	H29	H30	H31/R1	R2	平均
派遣者数	0	25	25	25	0	15
受入れ時の交流者数	—	65	—	105	—	34

※H28年度は欧州でのテロ頻発、R2年度はコロナ禍により派遣を見送った。

※受入れ時の交流数は、隔年で実施するため、H28、H30、R2年度は該当なし。

3. 前計画の検証と課題、今後の方向性

(1)前計画（第四次川越市国際化基本計画）の総括

本市では、「すべての市民が暮らしやすい多文化共生のまちづくり」の理念を掲げ、多文化共生社会の実現を推進していくことを目的に平成28（2016）年3月に策定した「第四次川越市国際化基本計画」の事業を現在まで計画を推進することにより、多文化共生のまちづくりに一定の成果を上げてきました。

しかし、計画の策定後に新たな在留資格（特定技能）が創設され、外国人材を受入れる方向に国の方針を転換したことから、今後ますます生産年齢人口を中心とした外国籍市民は増加する見込みです。本市においても国の方針転換の影響を受けて、若い外国籍市民の流入が増えていることから、今後ますます子育てや教育分野などを中心に、外国籍市民対応が必要になるものと予想されます。

このような環境の変化に伴い、前計画を継続して実施していくだけでは、外国籍市民も暮らしやすい多文化共生社会を実現するための施策が十分とは言えない状況になっています。

(2)前計画（第四次川越市国際化基本計画）における課題

「第五次川越市国際化基本計画」の策定にあたり、川越市国際化基本計画検討委員会や川越市国際化基本計画審議会において前計画の推進状況について検討を行い、以下のとおり課題を抽出しました。

①外国籍市民が日本語を学習する機会の充実

多文化共生の拠点施設である川越市国際交流センターにおいて日本語教室の充実に努めてきましたが、外国籍市民が多く居住する地区などでは、日本語を学ぶ教室の整備が進んでいませんでした。今後は市内の各地区において、日本語の学習機会を提供できるような取組（日本語教室の多拠点化）を推進する必要があります。

②通訳・翻訳ボランティア登録制度の活用

市の事業に係る通訳や翻訳を行うボランティア登録制度を運用していますが、利用日時の調整やマッチングに時間を要することから、利用件数が伸び悩んでいます。行政窓口を利用する外国籍市民が増加していることから、時間と距離の制約を克服可能なICTの活用などによる使いやすさの向上が課題となっています。

③留学生の支援

本市は市内に4つの大学が立地し、それらのキャンパスに通う留学生も数多く在住しています。前計画でも留学生の支援を掲げ、留学生も参加するインターンシップ制度の検討や、市内就労支援の検討を行いましたが、取組の実施には至りませんでした。新たな取組の実施が課題となっています。

④日本語ボランティアの育成

外国籍市民に対して日本語を指導するボランティアを養成してきましたが、新たな人材の確保もそれほど順調とは言えない状況にあります。今後ますます高まる日本語学習ニーズにどう応えるのかが課題となっています。

⑤学校での外国籍児童生徒等への支援

外国籍市民が増加するにつれ、日本語が不自由な児童生徒が在籍する市内の小中学校において、学校生活への適応が難しい事例が増えています。語学指導補助員の派遣を行っているものの、派遣回数が十分でない現状があり、今後どのように外国籍の児童生徒をサポートしていくかが課題となっています。

(3)今後の方向性

前計画における課題や、多文化共生を取り巻く状況の変化を踏まえ、今後の方向性を以下のとおり定め、多文化共生社会の実現に資するさまざまな取組を実施していきます。

①外国籍市民が日本語を学習する機会の充実

市内の各地区において、ボランティアによる自主的な日本語教室の立ち上げを支援するほか、新たにオンラインによる学習の機会を提供します。また、ICTを活用した外国籍児童生徒への学習支援の検討を行います。

②通訳・翻訳ボランティア登録制度の活用

通訳・翻訳ボランティア登録制度の見直しを行い、効果的な運用が出来るよう改善に努めます。

③留学生の支援

市内に4つの大学が立地するという条件を生かし、高度な知識、技能を有する外国人材の市内企業への就労支援につながるような取組について検討します。

④日本語ボランティアの育成

日本語を教えるボランティアの育成に努め、オンラインによる学習方法を始めとする、ボランティアが活躍できる機会の提供に努めます。

⑤学校での外国籍児童生徒等への支援

学校における外国籍児童生徒の実態把握に努め、外国籍児童生徒のレベルにあった適切な学習指導を行い、日本人児童生徒と一緒に学校生活を送れるような支援について検討します。

第3章 計画の基本方針

1. 基本理念

本市は、「人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまち川越」を将来都市像として掲げた「第四次川越市総合計画」において「教育・文化・スポーツ分野」の基本目標を「歴史と文化を感じながら学びあい、豊かな心を育むまち」とし、その実現のため、多文化共生と国際交流・協力の分野の方

向性を、「国際化の進展に伴い、多くの市民に国際交流・協力の機会を提供することに努め、外国籍市民を含めた全ての市民が暮らしやすい多文化共生のまちづくりを進めます」としています。

「第五次川越市国際化基本計画」では、前計画で掲げた基本理念（※10頁参照）を踏襲した上で、国の「地域における多文化共生推進プラン」で新たに加えられた取組「地域活性化の推進やグローバル化への対応」における外国人材の活用という視点も加味し、基本理念を以下のとおり定めます。

基本理念（案）

すべての市民がかがやく多文化共生のまちづくり

2. 基本目標

本計画では、上位計画である第四次川越市総合計画との整合性を図るため、以下4つの基本目標を柱として設定し、施策を展開していくこととします。

(1)外国籍市民への支援の充実

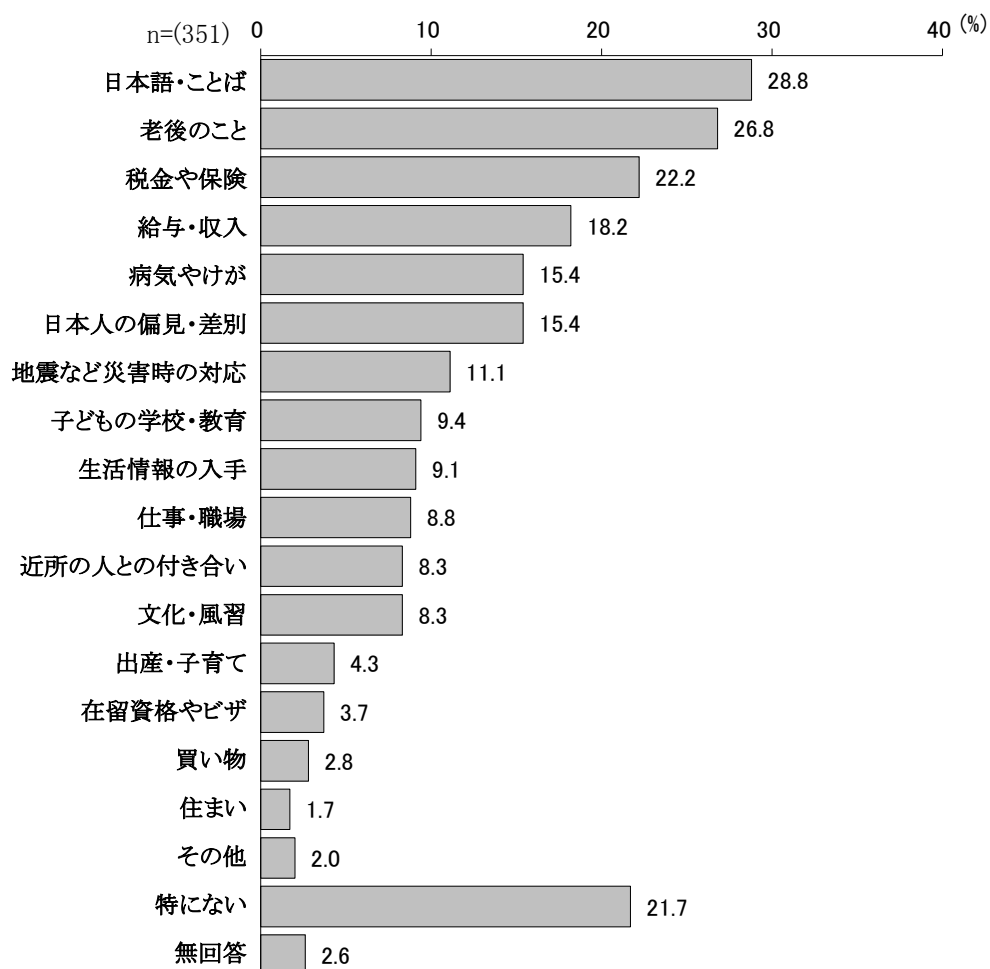
言葉による意思疎通が十分にできないことや、お互いの文化や生活習慣に対して理解が進まないことが、外国籍市民と日本人市民との間で同じ地域住民としてのつながりが生まれず、外国籍市民が孤立する要因となっています。

「市民意識調査」外国籍市民向け問3においても、外国籍市民が普段の生活で困っていることの筆頭に挙げられるのが「日本語・ことば」の問題です。

それ以外にも、「老後のこと」、「税金や保険」、「給与や収入」、「病気やけが」、「日本人の偏見・差別」、「地震など災害時の対応」、「子どもの学校・教育」など、外国籍市民は生活上のさまざまな問題を抱えていることがわかります。

問3 あなたが、普段の生活で困っていることや不安なことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

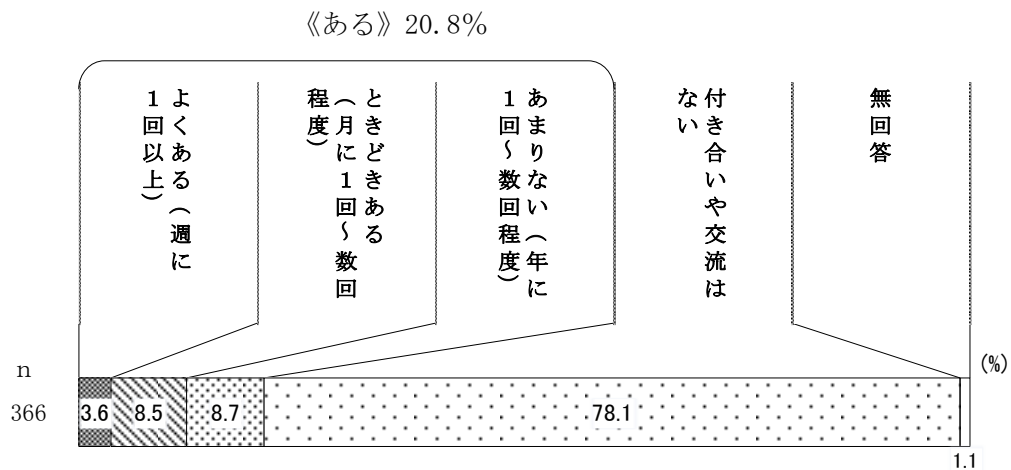


言葉の壁を乗り越えるためのコミュニケーション支援や日本人市民同様、さまざまな「行政サービス」「地域コミュニティ」にアクセスするための生活支援を行っていくことでつながりを育み、外国籍市民の地域社会での孤立を防ぐよう努めます。

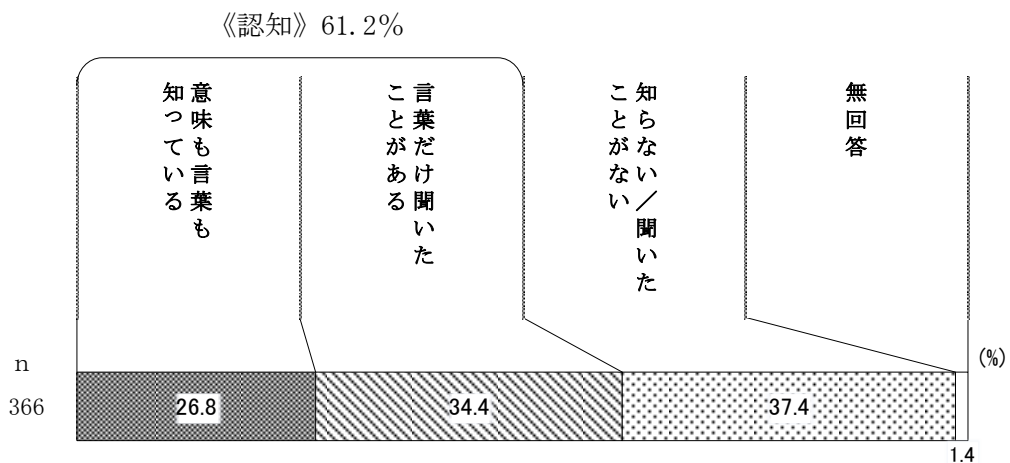
(2)多文化共生意識を持った市民の育成

「市民意識調査」日本人市民向け問7によると、「外国籍市民との交流や付き合いが無い」と答えた日本人市民の割合が78.1%に上ったことや、問13の「多文化共生という言葉を知らない」と答えた人が37.4%もいたことから、多文化共生社会の実現を目指す上で妨げとなる摩擦や問題が、本市ではそれほど身近な問題として捉えられていないと思われます。

問7 あなたは地域で外国籍市民との交流や付き合いがありますか。(1つに○)



問13 あなたは「多文化共生」という言葉を見たり聞いたりしたことがありますか。(1つに○)



日本人市民と外国籍市民が共生していくためには、総務省が令和2(2020年)に改訂した「地域における多文化共生推進プラン」や、国連が掲げている持続可能な開発目標(SDGs)の理念に則り、お互いの人権、文化、生活習慣を理解し、尊重するという多文化共生意識を育んだり、言語や文化等が異なる市民同士の近所付き合いや地域活動等への参加を促していく必要があります。

市内の大学等と連携を図り、各種講座や研修会などを通じて多文化共生について理解を深め、異文化とのコミュニケーションに長けた市民の育成に努めつ

つ、外国籍市民を地域活動の担い手として育てていくよう取り組みます。

(3)外国籍市民にも暮らしやすいまちづくり

外国籍市民にも暮らしやすいまちにしていくためには、外国籍市民と日本人市民が「顔の見える関係」を築いていくことが重要です。外国籍市民が地域活動の担い手として活躍できる場をつくり、地域社会に参画するような支援体制を構築していくことが求められています。

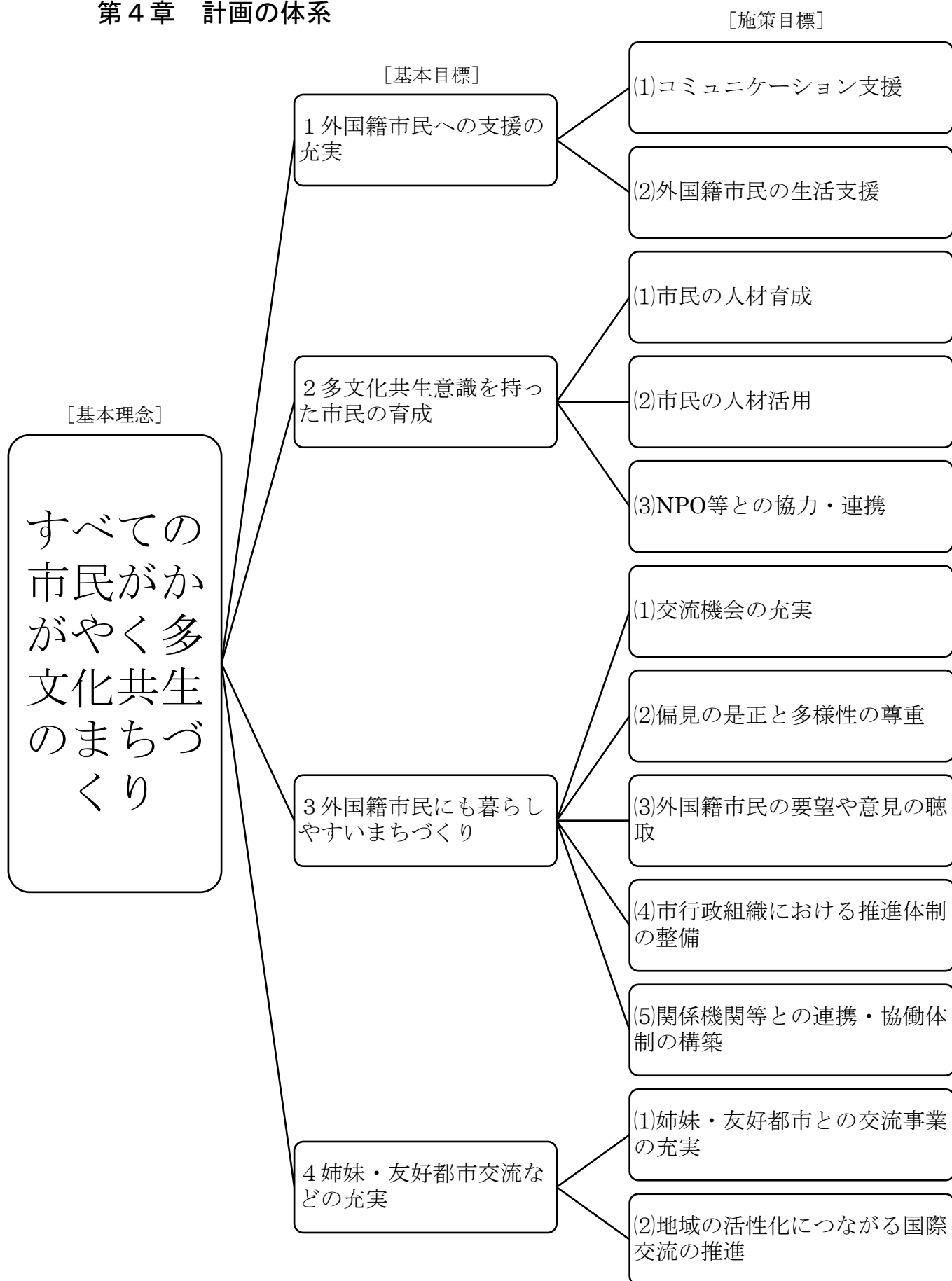
多文化共生・国際交流の推進拠点である「川越市国際交流センター」などを活用し、交流機会の充実や外国籍市民の社会参画支援を推進するとともに、市行政組織における多文化共生施策推進体制の構築や、専門性を備え、きめ細やかな支援を行う国際交流協会等の外郭団体の設立または業務委託などについて検討を行います。

(4)姉妹・友好都市交流などの充実

本市は海外3都市、国内3都市とそれぞれ姉妹・友好都市として提携し、友好親善や相互理解などを目的に、文化、産業、スポーツ、教育など幅広い分野での交流を行ってきました。グローバル化の進展や世界的な経済情勢の変化などから国際交流のあり方も多様になってきており、時代のニーズに合った交流を行っていく必要があります。

また、東京2020オリンピック・パラリンピックにおけるタイ王国のホストタウン登録を記念した事業の実施や、観光都市川越の地域資源を活用した海外観光客誘致、地域産業の国際化を支援していくことについても検討を行います。

第4章 計画の体系



第5章 施策の内容

※細施策、各事業の項目の説明については、今後、担当課と調整の上、具体的に計画原案へ記載していきます。

第6章 計画の推進

1. 計画の推進体制

多文化共生施策や国際化施策を推進するにあたっては、市民のニーズや社会的背景を踏まえたうえで、生活を送るのに必要不可欠な分野から計画的かつ継続的に取組を展開していくことが求められます。

また、市の事業だけではなく、市民、NPO・ボランティア団体等、教育機関、民間事業者、自治会組織などが連携し、本市における多文化共生施策や国際化施策を推進していく必要があります。

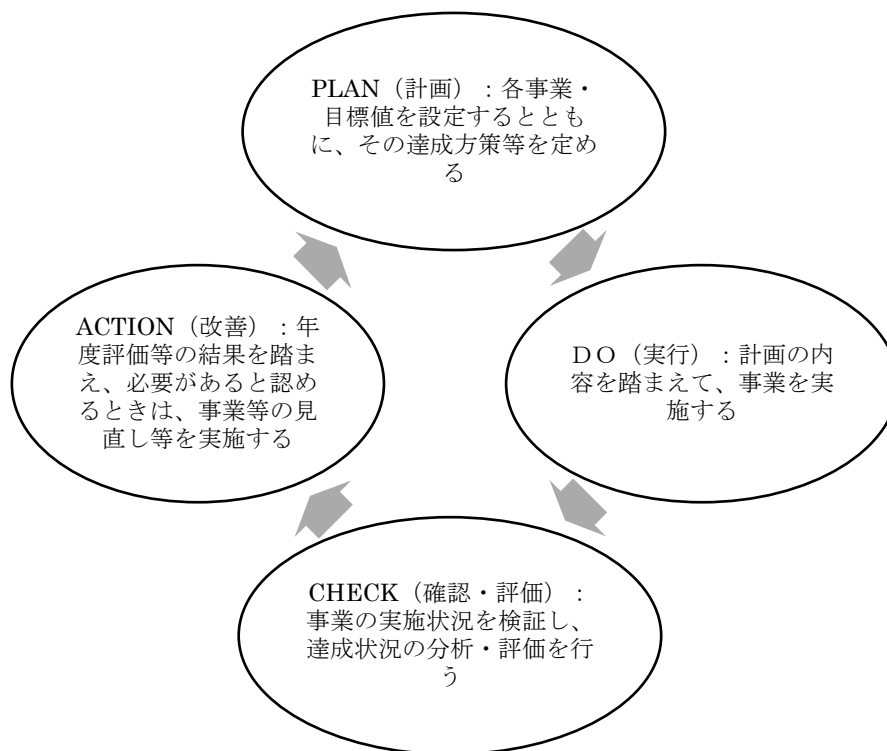
【それぞれの役割】

市民	多文化共生における地域づくりの主役は、外国籍市民と日本人市民であることから、両者がお互いの文化を尊重しつつ共に地域社会で生活する隣人として、相互理解を深めながら一緒に、活躍していくことが期待されています。
市	多文化共生社会の実現に向けて、本計画を広く周知するとともに、本基本計画に記載された施策の着実な実施、市内関係団体との横断的な協力体制の構築により、多文化共生を推進します。また、本計画を基に、市内における多文化共生意識を醸成し、各所属が連携して施策の推進に努めます。
NPO・ボランティア団体等	地域における外国籍市民の実態を直接把握し、支援を実施している団体であることから、行政をはじめとした他団体との協働により、市の多文化共生施策の充実に貢献することが期待されています。
大学	多文化共生に関する学術的知見を活かして、行政や関係団体と連携した取組を実施していくことが期待されています。また、外国人留学生に対して高度な教育や生活に関する適切な支援を行うことによって、地域の経済活動の担い手となり得る高度人材を育成・供給することが求められます。さらに、日本語教育人材等の多文化共生を担う人材の継続的育成を行うことも重要な役割となります。

学校	外国籍市民児童生徒等の能力に応じた適切な日本語学習や教科学習指導により、児童・生徒の地域社会における生活基盤の確立を図ることが期待されています。
医療・保健・福祉関係機関	外国籍市民の生命や健康の維持に関わる機関として、言語や文化の違いに配慮した受入れ体制の整備や、健康・福祉に関わる情報提供に努めていくことが期待されています。
民間事業者	外国人労働者の雇用にあたっては、労働関係法令を遵守し適正な労働環境の確保に努めるとともに、外国人労働者の日本語学習等の生活支援の充実を図っていく必要があります。
自治会・町内会	地域づくりにおいて中心的役割を果たす団体であることから、外国籍市民の加入促進を図るとともに、地域イベントの実施、積極的参加を促し、日本人市民との交流を深めることにより、多文化共生の地域づくりをすることが期待されています。

2. 計画の進行管理と評価方法

本計画を推進するために、PDCAサイクルを構築し、計画の評価・改善を行います。また、毎年、庁内関係課等で構成する会議を開催し、各施策や目標値等の実績を把握し、国や県の動向も踏まえながら、計画の分析・評価を行い、必要に応じ、計画の変更や事業の見直し等を行います。



3. 計画の指標

※今後、各基本目標について、それぞれ2つ程度、代表的な施策をチョイスし、具体的な数値指標を設定する予定です。

基本理念	基本目標		施策	細施策	第四次事業No.	第五次事業No.	所管課	想定される取組
すべての市民ががやく多文化共生のまちづくり	1	外国籍市民への支援の充実	(1) コミュニケーション支援	①日本語教室の開催	1	1	国際文化交流課 南公民館 大東南公民館	国際交流センターで日本語教室を開催する。 南公民館で日本語教室を開催する。 大東南公民館で日本語教室を開催する。
				②新たな日本語教室の整備	新規	2	国際文化交流課	オンライン型の日本語教室の開催や、国際交流センター以外の拠点で新たな日本語教室を立ち上げる。
				③外国籍児童生徒等への学習支援	4	3	国際文化交流課	ボランティア団体と連携した学習支援教室を国際交流センターなどで開催し、外国籍児童生徒などへの学習支援を行う。
				④学校における外国籍児童生徒への支援	5	4	学校管理課	日本語指導が必要な外国籍児童生徒などに対して、語学指導補助員を派遣し、学校生活や学習の支援を行う。
				⑤ICTを活用した外国籍児童生徒への学習支援	新規	5	教育指導課	ICTを活用した外国籍児童生徒への学習支援に係る取組を推進する。
				⑥広報川越、市HP、市SNSの多言語化・やさしい日本語化の推進	6,7	6	広報室	市公式ホームページにおいて、自動翻訳機能サービスの提供を行う。
							観光課	川越のイベント情報や観光スポットに関する観光情報を発信する。
							国際文化交流課	外国籍市民に向けて、市政情報を定期的に発信する。
				⑦通訳・翻訳ボランティア登録制度の活用	3	7	国際文化交流課	市の事業に係る通訳や翻訳を行う無償ボランティア制度を運営し、コミュニケーション支援を行う。
				⑧外国籍市民にもわかりやすいサインの表示 （多言語化・ピクトグラム〔絵文字〕化）	9	8	観光課	観光スポットまでの適切な案内を行うため、わかりやすい多言語表記の観光サイン類を整備する。
							国際文化交流課	国際交流センターの案内を多言語化し、外国籍市民の利便性向上に努める。
				⑨公共パンフレットの多言語化・やさしい日本語化	10	9	資源循環推進課	家庭ごみの分け方、出し方パンフレットを多言語化し、情報提供する。
							中央図書館	図書館利用案内を多言語化し、情報提供する。
							観光課	散策マップや観光施設の多言語パンフレットを作成し、情報提供する。
				⑩外国籍市民等を相談員等とする取組の推進	新規	10	国際文化交流課	地元の外国籍市民を相談員等にすることで、よりきめ細やかな支援を行う。
				⑪NPO等との連携による多言語情報の提供	新規	11	国際文化交流課	関係するNPO等の民間団体とも連携して、民間における多言語・やさしい日本語の普及を促す取組を検討する。
			(2) 外国籍市民の生活支援	①外国籍市民相談の開催	2	12	国際文化交流課	外国籍市民の家庭生活や社会生活における相談に応じ、適切な指導や助言を行い、生活を支援する。
				②I C Tを活用した窓口案内等における多言語化の推進	新規	13	広聴課	I C Tを活用し、外国籍市民の窓口案内機能を強化する。
				③就学状況の把握	新規	14	学校管理課	市内の外国籍児童生徒の実態把握を行い、教育支援のあり方を検討できる基礎データを収集する取組を推進する。
				④就学に関する多言語による情報提供・就学案内	10	15	学校管理課	「外国籍の子どもたちのための教育相談ガイド」の改訂を行うほか、教育に係る情報提供の多言語化・やさしい日本語化を行う取組を検討する。
							国際文化交流課	「外国籍の子どもたちのための教育相談ガイド」の改訂を行う。
				⑤学校における外国籍児童生徒への支援（再掲）	5	16	学校管理課	日本語指導が必要な外国籍児童生徒などに対して、語学指導補助員を派遣し、学校生活や学習の支援を行う。
				⑥高校進学に向けた進路指導の充実	新規	17	国際文化交流課	埼玉県が実施している高校進学ガイダンス等への協力を行う。
							教育指導課	高校進学に向けた進路指導について、外国籍生徒の実態に応じたきめ細やかな支援を行う。
				⑦留学生を始めとする外国籍市民の就業支援	14	18	産業振興課	商工会議所やハローワーク等と連携し、地元企業への就業を支援する取組を検討する。
							雇用支援課	
				⑧外国籍市民向け防災対策の推進	11	19	防災危機管理室	庁内関係課と連携し、さまざまな外国籍市民向けの防災対策を行う。
				⑨外国語対応可能な病院・薬局に関する情報提供	新規	20	保健医療推進課	市内医療機関の外国籍市民への対応状況を調べ、多言語による情報提供事業について検討する。
				⑩健康診断や健康相談における外国籍市民への対応	新規	21	健康管理課	各種予防事業や健診事業に係る多言語化・やさしい日本語化の取組を推進する。
							健康づくり支援課	
							国民健康保険課	
							保健予防課	
				⑪医療機関における多言語・やさしい日本語の普及促進	新規	22	保健総務課	医療機関における多言語化・やさしい日本語化を促進する取組を検討する。
				⑫生活オリエンテーション等の実施	新規	23	市民課	本市転入時に外国籍市民に向けて、生活リーフレット等の配布を行う。
							国際文化交流課	日本語教室等を通じて、生活情報や行政情報の発信を行う。
				⑬自治会・町内会等への外国籍市民の加入促進	24	24	地域づくり推進課	外国籍市民向け自治会加入促進パンフレットを多言語で作成し、配布を希望する自治会に提供する。
				⑭外国籍市民に対する居住支援	新規	25	国際文化交流課	賃貸住宅に関する慣例や仕組み等に関する情報を、外国籍市民へ多言語やさしい日本語で提供する取組を検討する。

基本理念	基本目標		施策	細施策	第四次事業No.	第五次事業No.	所管課	想定される取組		
すべての市民が、 や、く、多文化共生のまちづくり	2	多文化共生意識を持った市民の育成	（１）市民の人材育成	①日本語ボランティアの育成	15	26	国際文化交流課 大東南公民館	日本語ボランティアを養成する講座を開催し、外国籍市民に日本語を指導する人材を育成する。 外国籍市民に日本語を教える技術の向上を目的とした研修会を開催する。		
				②国際理解講座、多文化共生理解講座の開催	16	27	国際文化交流課 文化芸術振興課	市民の国際感覚や多文化共生意識を涵養するため、語学やささまざまな国の文化や歴史を学ぶ講座を開講する。 市民活動・生涯学習施設における提案事業講座の一部で、語学などの講座を開講する。		
				③国際化や多文化共生に対応した職員の育成	17	28	職員課	外国籍市民に対する接遇や、やさしい日本語の使い方など多文化共生社会に対応できる職員を育成する。		
				④外国籍市民の防災への参画を促す取組の推進	新規	29	防災危機管理室	防災訓練等へ外国籍市民や多文化共生キーパーソン等の参画を促進する取組を行う。		
			（２）市民の人材活用	①日本語ボランティアの活用	19	30	国際文化交流課	国際交流センターなどで日本語を教える日本語ボランティア登録制度を運用し、ボランティアの活用を行う。		
				②通訳・翻訳ボランティア登録制度の活用（再掲）	3,20	31	国際文化交流課	市の事業に係る通訳や翻訳を行う無償ボランティア制度を運営し、コミュニケーション支援を行う。		
				③外国籍市民国際人材ネット（K-net）の充実	38	32	国際文化交流課	地域の国際化や多文化共生の理解を助ける外国籍市民の登録制度（K-net）の周知を図り、人材の確保に努める。		
				④通訳・翻訳ボランティア登録制度への外国籍市民の登録促進	新規	33	国際文化交流課	通訳・翻訳ボランティア登録制度を周知し、日本語も堪能な外国籍市民の登録を促し、その活用を図る。		
			（３）NPO等との協力・連携	①国際交流・多文化共生に関係する市民団体などへの支援	22	34	国際文化交流課 地域づくり推進課	地域の国際化に貢献する市民団体が行う事業に対する補助を行い、その活動を支援する。 市民活動団体が地域の課題解決に向けて取り組む協働事業に対する補助を行い、その活動を支援する。		
				②NPO・日本語学校等と連携し、日本人市民と外国籍市民が交流する場づくり	25,36,50	35	国際文化交流課	NPOや日本語学校などとの連携・協働を通じ、日本人市民と外国籍市民とが交流する機会を提供する。		
			3	外国籍市民にも暮らしやすいまちづくり	（１）交流機会の充実	①国際交流センター等における外国籍市民と日本人市民との交流機会の充実	35,36	36	国際文化交流課	国際交流センターでの各種事業を通じ、日本人市民と外国籍市民とが交流する機会を提供する。
						②キーパーソン・ネットワーク・自助組織等の支援及び連携強化	50	37	国際文化交流課	外国籍市民のコミュニティやキーパーソンなどと連携を強化し、地域社会への参画を促す。
	（２）偏見の是正と多様性の尊重	①国際理解講座、多文化共生理解講座の開催（再掲）			16	38	国際文化交流課 文化芸術振興課	市民の国際感覚や多文化共生意識を涵養するため、語学やささまざまな国の文化や歴史を学ぶ講座を開講する。 市民活動・生涯学習施設における提案事業講座の一部で、語学などの講座を開講する。		
		②不当な差別的言動の解消			新規	39	人権推進課 地域教育支援課	外国籍市民であることを理由とした差別の解消に向け、啓発活動の取組を行う。		
	（３）外国籍市民の要望や意見の聴取	①外国籍市民会議の開催			41	40	国際文化交流課	外国籍市民の意見を市政に取り入れ、多文化共生社会の実現を図る。		
		②外国籍市民の意見を吸い上げ反映する仕組みの構築			新規	41	広聴課	外国籍市民が意見や要望を出しやすい環境整備を推進する。		
	（４）市行政組織における推進体制の整備	①多文化共生施策の推進を所管する担当部署の設置検討			新規	42	行政改革推進課	新たな行政ニーズに対応できるようにするため、多文化共生施策を効率的に推進する体制を構築する。		
	（５）関係機関等との連携・協働体制の構築	①外国人受入機関等地域の外国籍市民に関わる組織等の把握及び連携強化			新規	43	国際文化交流課	特定技能外国人の受入機関などとの連携を構築する取組を検討する。		
		②多文化共生アドバイザー・マネージャー・コーディネーター等の活用			新規	44	国際文化交流課	先進的な多文化共生施策を立案するために、有識者派遣制度の活用を検討する。		
		③地域の多文化共生施策を専門に担う外郭団体の設立または業務委託の検討			新規	45	国際文化交流課	よりきめ細やかな外国籍市民の生活支援を行うため、専門性を備えた外郭団体の設立または業務委託について検討する。		
		（１）姉妹・友好都市との交流事業の充実			①川越市姉妹都市交流委員会への支援	44	46	国際文化交流課	海外及び国内6市町村との姉妹・友好都市交流事業を実施し、市民同士の相互理解と友好親善を深める。	
	②中学生交流団などの相互派遣事業の実施				45	47	国際文化交流課 市立川越高校	本市の未来を担う中学生を海外姉妹都市（オフエンバッハ市／セーレム市）などに派遣し、相互理解と友好親善を深める。 市立川越高等学校生徒とノースセーレム高校生徒が隔年で相互訪問し、相互理解と友好親善を深める。		
	③姉妹都市の活用（KETの採用）				46	48	教育センター	姉妹都市セーレム市から学生を本市の英語指導助手として招聘し、児童生徒の国際感覚を育む。		
	④ビジネス研修生交換プログラムへの協力				47	49	国際文化交流課	姉妹都市オフエンバッハ市商工会議所と川越商工会議所間のビジネス交流として、ビジネス研修生交流プログラムに協力する。		
	（２）地域の活性化につながる国際交流の推進	①オリンピックホストタウンにちなんだ事業の実施			50	50	国際文化交流課	タイ王国のオリンピックホストタウン登録を記念した事業（タイ王国旧正月水かけまつり）に協力する。		
		②海外に通用する川越の地域資源を活用した海外観光客誘致			新規	51	観光課 産業振興課	海外インバウンド需要を取り込み、地域の活性化を図るため、川越の地域資源を生かした取組について検討する。		
		③地域産業の国際化支援	新規	52	産業振興課	地域産業の国際化を促進するためジェトロ等との連携により、海外との経済交流を促し、経済活性化を図る取組について検討する。				
								←黄色のセルは「新規」に掲載しようとする項目		

所管事務における外国籍市民対応実態調査 についてのアンケート調査報告書

目次

◇設問区分 1 外国籍市民の来訪頻度及び外国籍市民が対象となる事務	1
◇設問区分 2 外国籍市民とのコミュニケーション上の課題等	11
◇設問区分 3 今後の対応方針等	19

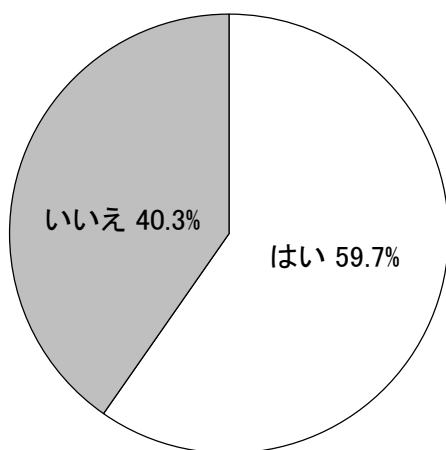
■回答数■

配布数	回収数	回収率
143	129	90.2%

◇設問区分 1 外国籍市民の来訪頻度及び外国籍市民が対象となる事務

設問 1 外国籍市民が窓口を訪れることはありますか？

外国籍市民が窓口を訪れることがあるかでは、「はい」が 59.7%、「いいえ」が 40.3% となっています。



項目	度数	構成比
はい	77	59.7%
いいえ	52	40.3%
合計	129	100.0%

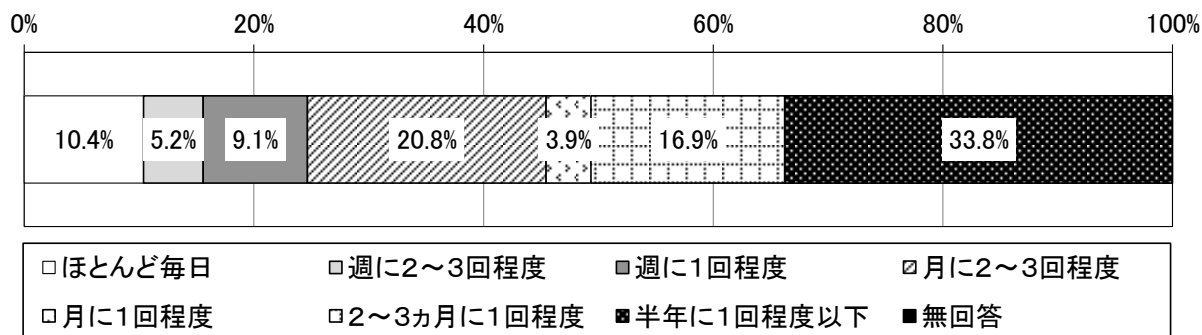
【備考欄の回答】

No.	記述	所属・所・室名
28	美術館来館者のため、市民であるかは不明。	美術館
55	実際に窓口にくることは、ほとんどなし。設問区分が「対象となる事務」とあるので「はい」を選択。現在、コロナ対応で陽性者が外国籍の場合があるので、それを対象として記入。	保健予防課
63	廃棄物処理事業者や不適正処理事業者への立入時に外国籍市民（川越市民かは不明）の従業員がいることも多々あります。	産業廃棄物指導課
73	まつり会館は入館者のため、窓口ではなく受付にて対応。今まで特にトラブルは無し。（シルバー人材が対応）入館者のほとんどが観光客	観光課
92	市営住宅業務の委託先では、外国籍市民の窓口対応あり。	建築住宅課

設問 1 で『はい』と回答

設問 2 外国籍市民の来訪頻度を教えてください。

外国籍市民の来訪頻度では、「半年に 1 回程度以下」が 33.8%と最も多く、次いで「月に 2～3 回程度」が 20.8%、「2～3 カ月に 1 回程度」が 16.9%となっています。



項目	度数	構成比
ほとんど毎日	8	10.4%
週に 2～3 回程度	4	5.2%
週に 1 回程度	7	9.1%
月に 2～3 回程度	16	20.8%
月に 1 回程度	3	3.9%
2～3 カ月に 1 回程度	13	16.9%
半年に 1 回程度以下	26	33.8%
無回答	0	0.0%
回答数	77	100.0%
非該当	52	
合計	129	

【備考欄の回答】

No.	記述	所属・所・室名
20	広聴課窓口では「月に 2～3 回程度」、所管している庁舎案内では「ほとんど毎日」。	広聴課
28	令和元年度以前の状況。令和 2 年度以降は、大幅減になっている。	美術館
55	左記選択は感染症担当。精神保健担当については数カ月に 1 回程度。	保健予防課
56	食品担当「月に 2～3 回程度」、環境担当「半年に 1 回程度以下」。	食品・環境衛生課
58	管理給付は「月に 2～3 回程度」、予防接種・成人健診は「2～3 カ月に 1 回程度」。	健康管理課
59	市民サービスステーション内の子育て世代包括支援センターに来訪する外国籍市民の方が、週 1 回程度ある。総合保健センターへ外国籍市民の方が来訪することは、まれである。	健康づくり支援課

◆来訪頻度(設問 2)ごとの部署一覧◆

		毎日 ほとんど	回数 週に2 〜3 程度	回数 週に1 回 程度	回数 月に2 〜3 程度	回数 月に1 回 程度	回数 2 〜3 ヵ月 に1回 程度	回数 半年に1回 程度以下
4	市民税課	●						
6	収税課	●						
12	高階市民センター	●						
16	霞ヶ関市民センター	●						
18	霞ヶ関北市民センター	●						
23	市民課	●						
25	西口連絡所	●						
52	国民健康保険課	●						
7	収納対策課		●					
19	大東市民センター		●					
28	美術館		●					
127	博物館		●					
9	芳野市民センター			●				
15	名細市民センター			●				
45	高階児童館			●				
48	保育課			●				
55	保健予防課			●				
59	健康づくり支援課			●				
128	学校管理課			●				
11	南古谷市民センター				●			
13	福原市民センター				●			
20	広聴課				●			
30	生活福祉課				●			
31	障害者福祉課				●			
38	福祉相談センター				●			
41	こども政策課				●			
47	こども家庭課				●			
58	健康管理課				●			
68	資源化センター				●			
70	産業振興課				●			
71	雇用支援課				●			
105	中央公民館				●			
123	中央図書館				●			
124	西図書館				●			
126	高階図書館				●			
43	川越駅東口児童館					●		
44	児童センターこどもの城					●		
49	療育支援課					●		

		毎日 ほとんど	回数 週に2～3 程度	回数 週に1回 程度	回数 月に2～3 程度	回数 月に1回 程度	回数 2～3ヵ月 に1回程度	回数 半年に1回 程度以下
10	古谷市民センター						●	
14	山田市民センター						●	
24	斎場						●	
35	障害者総合相談支援センター						●	
40	介護保険課						●	
46	子育て支援センター						●	
54	保健総務課						●	
64	資源循環推進課						●	
67	東清掃センター						●	
102	教育財務課						●	
118	霞ヶ関北公民館						●	
125	川越市東口図書館						●	
142	ふれあい歯科診療所						●	
5	資産税課							●
22	防犯・交通安全課							●
29	福祉推進課							●
39	高齢者いきがい課							●
42	こども育成課							●
50	児童発達支援センター							●
53	高齢・障害医療課							●
56	食品・環境衛生課							●
62	環境対策課							●
63	産業廃棄物指導課							●
72	農政課							●
77	都市景観課							●
83	開発指導課							●
84	川越駅西口まちづくり推進室							●
95	給水サービス課							●
106	南公民館							●
112	高階南公民館							●
115	大東南公民館							●
117	名細公民館							●
121	伊勢原公民館							●
129	教育指導課							●
130	学校給食課							●
132	教育センター							●
136	川越中央消防署							●
139	消防局予防課							●
141	消防局救急課							●
合計		8	4	7	16	3	13	26

◆来訪頻度別(設問 2)×今後対応 (設問 7) ◆

	申請書などの多言語化をさらに進め	外国語が利用できる職員や外国人の相談	タブレット端末などの通訳機器の導入をさらに進めていく必要がある	「やさしい日本語」の活用をさらに進めていく必要がある	日本語以外の言語でも対応可能な専門窓口を設置する必要がある	多文化共生施策（外国人市民との共生施策）に特化した課や係を新設する必要がある	NPO等の外部団体との連携を強化していく必要がある	その他	無回答	回答数
ほとんど毎日	3 37.5%	7 87.5%	5 62.5%	2 25.0%	4 50.0%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	8
週に2～3回程度	3 75.0%	2 50.0%	3 75.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4
週に1回程度	3 42.9%	2 28.6%	5 71.4%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7
月に2～3回程度	5 31.3%	9 56.3%	9 56.3%	3 18.8%	4 25.0%	1 6.3%	4 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	16
月に1回程度	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3
2～3ヵ月に1回程度	4 30.8%	3 23.1%	8 61.5%	4 30.8%	4 30.8%	2 15.4%	2 15.4%	1 7.7%	1 7.7%	13
半年に1回程度以下	10 38.5%	11 42.3%	10 38.5%	4 15.4%	4 15.4%	2 7.7%	0 0.0%	3 11.5%	1 3.8%	26

設問3 各所属で処理している事務を把握したいので、貴所属の所管事務で外国籍市民も対象となる事務を列記してください。

【自由回答】

No.	記述	所属・所・室名
2	・職員採用業務(国籍要件を課さない職種に限る)	職員課
4	・市県民税申告受付業務・課税証明書発行業務	市民税課
5	・固定資産評価関係証明発行事務	資産税課
6	・納税証明書発行業務・口座振替登録業務 ・過誤納金還付業務・収納業務 ・滞納整理業務(納税相談、差押等)	収税課
7	・担当課から移管されている債権の回収及び滞納処分	収納対策課
8	・協働事業推進事務	地域づくり推進課
9	・市民センター所管事務のうち、住民登録以外の業務	芳野市民センター
10	・住民票、印鑑登録証明書等発行業務・児童手当業務 ・自動車臨時運転許可・個人番号カード交付・印鑑登録 ・市県民税に係る諸証明・収納等 ・国民健康保険に係る事務・母子手帳交付 ・公民館講座、事業への参加・貸し館利用	古谷市民センター
11	・市民センター所管事務のうち、住民登録以外の業務	南古谷市民センター
12	・証明書発行業務(住民票、印鑑証明、納税証明など) ・臨時運行許可証発行業務・保険、年金、収納業務 ・マイナンバーカード業務	高階市民センター
13	・市民センター業務	福原市民センター
15	・住民票、課税・納税証明書等発行業務	名細市民センター
16	・川越市市民センター規則第2条の業務について(住所異動を除く)	霞ヶ関市民センター
17	・住民登録業務・住民票等証明書発行業務 ・マイナンバーカード交付等業務・国保、年金業務 ・児童手当・こども医療費関連業務・印鑑登録業務 ※その他細かい対象業務あり	川鶴市民センター
18	・諸証明発行業務・マイナンバー関連業務	霞ヶ関北市民センター
19	・住民票、税証明発行業務国民健康保険加入、脱退業務 ・収税マイナンバーカード交付、再交付業務	大東市民センター
20	・広聴事務・オンブズマン事務・市民相談業務 ・消費生活相談業務	広聴課
22	・犯罪被害者支援総合相談業務 ・自転車駐車場使用料免除申請書受付業務	防犯・交通安全課
23	・住民登録業務・証明書発行業務(住民票等) ・印鑑登録事務・戸籍届出受付事務	市民部市民課

No.	記述	所属・所・室名
24	火葬業務（人体、小動物）・式場貸出等務	斎場
25	・住民登録業務・戸籍届出業務・証明書発行業務 ・児童手当業務・印鑑登録業務・国民健康保険 ・国民年金業務・通称登録・各種申請など	西口連絡所
26	・成人式	文化芸術振興課
27	・スポーツ教室・大会への参加	スポーツ振興課
28	・展覧会事業・貸館事業・教育普及事業	美術館
29	・緊急小口資金の相談	福祉推進課
30	・生活保護業務・生活困窮者自立支援業務 ・中国残留邦人等支援業務	生活福祉課
31	・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳 ・自立支援医療・障害福祉サービス・各種手当	障害者福祉課
33	・要介護者・障害者に対する相談、援助、自立訓練、就労活動、求職活動に対する支援事務	職業センター
37	・高齢者の介護予防、生活支援、認知症対策に関すること。 ・高齢者虐待の防止、養護者の支援に関すること	地域包括ケア推進課
38	外国の方が困っていること、聞きたいことなどを聞き取り、担当課につなげています	福祉相談センター
39	・市内循環バス（川越シャトル）の特別乗車証交付業務（高齢者用）・健康ふれあい入浴券発行業務 ・敬老マッサージサービス無料利用券発行業務 ・長寿祝い金支給事業・金婚祝記念品贈呈事業 ・各種在宅福祉サービス事業 ・要介護高齢者手当支給事業・居宅改善費助成事業 ・家具転倒防止器具等取付事業 ・高齢者住宅整備資金の貸付事業 ・住宅住み替え家賃助成事業 ・介護支援いきいきポイント事業 ・障害者控除対象者認定書発行業務	高齢者いきがい課
40	・介護保険認定業務・介護保険資格業務 ・介護保険賦課業務・介護保険料収納業務（減免含） ・介護保険給付業務	介護保険課
41	・児童手当業務・特別児童扶養手当業務・遺児手当業務 ・こども医療費業務・ひとり親家庭等医療費業務	こども政策課
42	・病児・病後児保育事業 ・川越市ファミリー・サポート・センター事業 ・川越市緊急サポートセンター事業 ・パパ・ママ応援ショップ事業	こども育成課
43	事務は特になし。利用にあたり、その対応を行っている	川越駅東口児童館
44	・児童厚生業務	児童センターこどもの城
46	・育児相談業務・子育て支援広場受付業務	子育て支援センター

No.	記述	所属・所・室名
47	・児童扶養手当事務・虐待通告対応業務 ・家庭児童相談業務・要保護児童等ケース対応業務	こども家庭課
48	・保育園等入園申請業務・保育料等支払い関係業務	保育課
49	・障害児通所給付事務	療育支援課
50	・相談事務	児童発達支援センター
52	・国民健康保険への加入や脱退等の資格の異動手続きに係る業務・国民健康保険税の減免申請に係る業務 ・被保険者証や限度額適用認定証、特定疾病療養受領証等の発行に係る業務・高額療養費支給申請等の保険給付申請に係る業務・特定健康診査や特定保健指導に係る業務・脳ドックや職場健診等に対する助成金申請に係る業務	国民健康保険課
53	・後期高齢者医療制度資格・収納・給付事務 ・重度心身障害者医療費支給事務	高齢・障害医療課
54	・衛生免許事務・薬事関係事務	保健総務課
55	・新型コロナの患者（感染症担当）・精神保健にかかる相談等（精神保健担当）	保健予防課
56	食品担当・食品営業許可業務・食品営業届出業務 環境担当・狂犬病関係の届出・動物取扱業の許可・届出 ・生活衛生関係営業の許可	食品・環境衛生課
57	・水質検査受付事務	衛生検査課
58	・管理給付担当業務のうち、原爆被爆者に係る業務以外はすべて該当。 ・予防接種歴確認・支払等。接種の受け方の案内、住登外（ビザ切れを含む）の受付対応・がん検診申し込み ・がん検診受診	健康管理課
59	・妊娠届出書の受理・母子健康手帳交付事務 ・出生連絡票の受理・新生児訪問・乳幼児健診	健康づくり支援課
61	・かわごえ環境ネット業務 ・再生可能エネルギー機器等普及促進事業補助金 ・アライグマ防除業務	環境政策課
62	・苦情対応（騒音・振動・悪臭・あき地の環境等） ・深夜営業騒音事前指導 ・浄化槽の設置及び維持管理に対する補助金業務	環境対策課
63	・産業廃棄物処理業許可等業務（許可申請等、相談） ・指導・監視業務（産廃処理業者立入検査、不適正処理事業者への現地確認等）	産業廃棄物指導課
64	・家庭ごみの分別啓発事務	資源循環推進課
65	【窓口】・廃棄物処理手数料減免申請業務（適用基準：災害により被害を受けた者、生活保護法第 11 条第 1 項に掲げる保護を受けている者、そのほか市長が認めるもの） 【電話問い合わせ】・ごみ処理施設への持込方法について等	環境施設課

No.	記述	所属・所・室名
66	・不法投棄の連絡受付事務 ゴミ回収に係る連絡受付事務	収集管理課
67	・ごみ処理施設搬入許可申請書受付業務	東清掃センター
68	・ごみ搬入受付	資源化センター
70	・中小企業事業継続支援金事務 ・新型コロナウイルス対策支援手続等相談窓口他	産業振興課
71	・就労セミナー受付業務・就労相談業務	雇用支援課
72	・鴨田ふれあい農園貸出事務	農政課
74	・農業体験教室業務・施設貸館業務	農業ふれあいセンター
77	・景観の届出	都市景観課
78	・町名地番変更証明書発行事務	都市整備課
80	・行為許可申請手続事務	公園整備課
81	・施設貸出業務	公園管理事務所
83	・開発審査事務	開発指導課
84	・用地交渉	川越駅西口まちづくり推進室
85	・地権者交渉・苦情対応	新河岸駅周辺地区整備事務所
86	・境界確認事務	建設管理課
87	・道路拡幅工事	道路街路課
89	・道路照明灯維持管理・道路等維持管理 ・道路占用許可等	道路環境整備課
91	・河川占用事務・雨水対策協議事務	河川課
92	・市営住宅の入居関係業務	建築住宅課
95	・水道の使用開始、中止受付業務	給水サービス課
96	・上下水道埋設管の確認依頼	事業計画課
98	・下水道に係る苦情処理	下水道課
101	・育英資金業務・奨学金業務	教育総務課
102	・就学援助業務	教育財務課
105	・講座の申し込み・貸室の利用登録申込み	中央公民館
106	・共催講座「日本語クラブ」	南公民館
107	・公民館施設貸与業務	北公民館
111	・施設利用受付・公民館主催事業	高階公民館
112	・公民館の使用申込み	高階南公民館
115	・部屋の貸出	大東南公民館
116	・施設利用受付・公民館主催事業	山田公民館
117	・施設貸与業務・講座企画運営業務・団体事務	名細公民館
119	・施設利用受付・公民館主催事業	霞ヶ関西公民館
120	・公民館講座参加受付	霞ヶ関北公民館
121	・施設貸与・登録グループの紹介・公民館主催事業	伊勢原公民館
122	・施設利用受付・公民館主催事業	川鶴公民館
123	・利用者登録・貸出、返却業務・レファレンス業務	中央図書館

No.	記述	所属・所・室名
124	・図書館利用カードの発行やレファレンスサービスなど、一般利用者を対象とする事務は外国籍市民も対象	西図書館
125	・利用者登録事務	川越市東口図書館
126	・図書館利用者登録業務・図書館利用案内業務 ・貸出、返却	高階図書館
127	・受付対応	博物館
128	・市立小・中学校の就学事務	学校管理課
129	・日本語指導に係る業務 ・スポーツ振興センターに関する業務 ・各学校で実施する各種健康診断	教育指導課
130	・学校給食費請求及び徴収事務	学校給食課
132	・教育相談業務	教育センター
134	・入試関係業務	川越市立特別支援学校
135	・消防の届出に関する業務（防火管理者届出書、消防計画届出書、自衛消防訓練通知書、消防用設備等点検結果通知書、消防用設備等設置届出書、道路工事届出書など）事業所・自治会などで提出されているものが多いですが、市民からの提出もあります。	川越北消防署消防課
136	・届出・防訓練	川越中央消防署
137	・火災予防条例に基づく届出業務・露店の開設届出書 ・防火対象物使用開始届等	川越西消防署消防課
139	・り災証明書申請・交付・住宅用消火器 ・住宅用火災警報器に関する相談等・防火管理講習会	消防局予防課
141	・救急出場証明書交付業務	消防局救急課
142	・歯科診療業務	ふれあい歯科診療所

※「ふれあい歯科診療所」は番号がないため 142 としました。

【備考欄の回答】

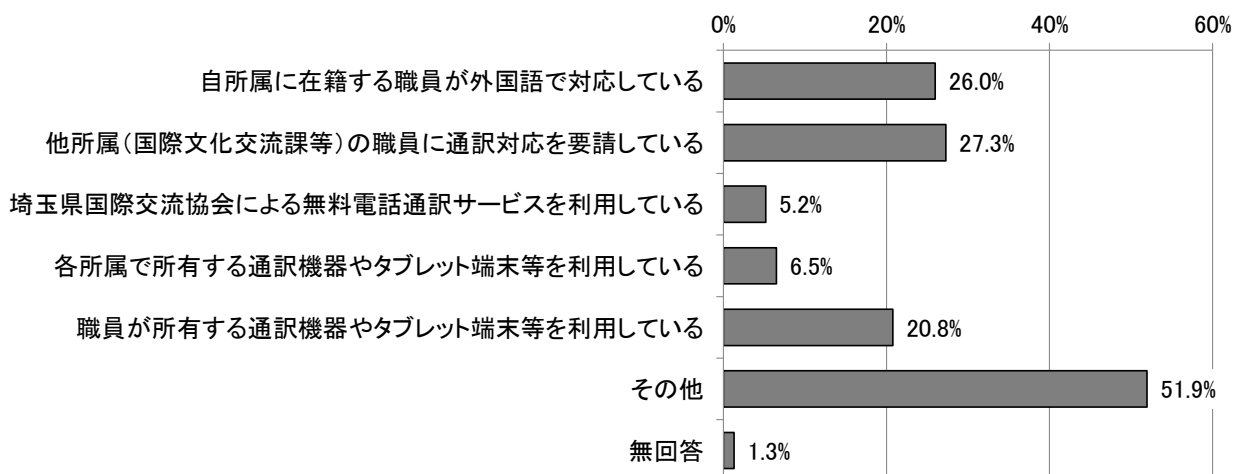
No.	記述	所属・所・室名
28	貸館事業、教育普及事業での対応はほぼない。	美術館
89	外国籍であるか否かに関わらず、住民等としての立場で要望や申請等を行う可能性はある。	道路環境整備課
129	教育指導課の窓口よりも、学校での対応となるものである。	教育指導課

◇設問区分 2 外国籍市民とのコミュニケーション上の課題等

※設問 1 で外国籍市民が窓口を訪れることがあるかという設問に対し、「はい」の回答数で集計しています。(設問 4・5・6 同様)

設問 4 日本語でのコミュニケーションが困難な外国籍市民が窓口を訪れた際、どのように対応していますか？（複数回答可）

日本語でのコミュニケーションが困難な外国籍市民が窓口を訪れた際の対応については、「他所属（国際文化交流課等）の職員に通訳対応を要請している」が 27.3%と最も多く、次いで「自所属に在籍する職員が外国語で対応している」が 26.0%、「職員が所有する通訳機器やタブレット端末等を利用している」が 20.8%となっています。



項目	度数	比率
自所属に在籍する職員が外国語で対応している	20	26.0%
他所属(国際文化交流課等)の職員に通訳対応を要請している	21	27.3%
埼玉県国際交流協会による無料電話通訳サービスを利用している	4	5.2%
各所属で所有する通訳機器やタブレット端末等を利用している	5	6.5%
職員が所有する通訳機器やタブレット端末等を利用している	16	20.8%
その他	40	51.9%
無回答	1	1.3%
回答数	77	
非該当	52	
合計	129	

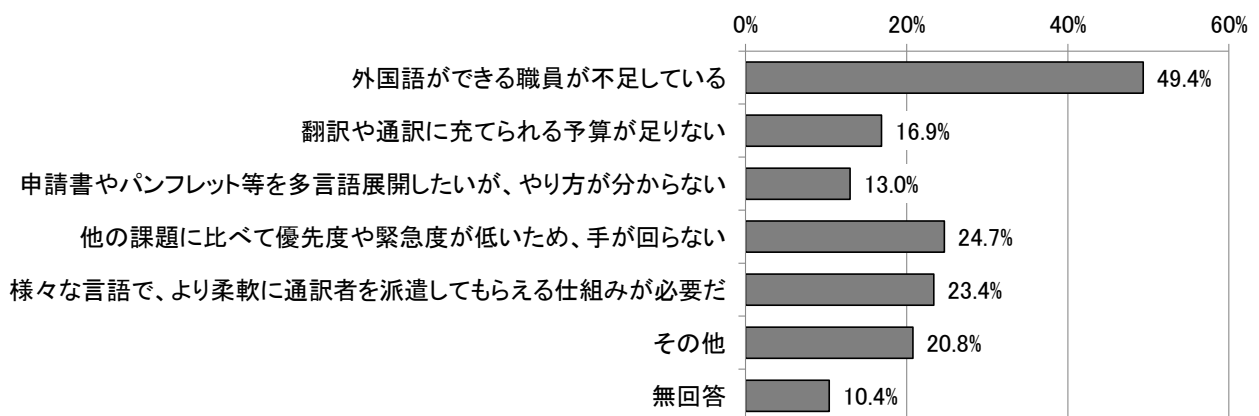
【備考欄の回答】

No.	記述	所属・所・室名
11	事案に合わせて、何種類かの外国語の説明パンフレットを印刷し渡して対応。	南古谷市民センター
13	やさしい日本語で話す。	福原市民センター
19	市民側の通訳者に通訳してもらったことがある。	大東市民センター
20	市民が日本語可能な友人を連れてくる。市民が自らの端末等の通訳機能を利用する等のケースがある。	広聴課
24	コミュニケーションが可能な方を含めた複数人で来場されることが多く、対応困難な事例はあまりない。	斎場
30	国際文化交流課の通訳機器を借用。	生活福祉課
35	相談窓口であるため、日常会話程度の日本語を話せる外国籍市民が来所している。	障害者総合相談支援センター
39	現状では日本語でのコミュニケーションが困難な方のみで窓口を訪れることはほとんどありませんが、「他所属（国際文化交流課等）の職員に通訳対応を要請している」又は「職員が所有する通訳機器やタブレット端末等を利用している」での対応になるかと思えます。	高齢者いきがい課
43	日本語でのコミュニケーションが困難な方の来館はなし。	川越駅東口児童館
44	外国籍の親子であっても、子どものほうが日本語を理解している場合が多いので、子どもが保護者の通訳となる。	児童センターこどもの城
46	日本語でなんとかコミュニケーションができています。	子育て支援センター
47	市民課で所有する通訳機器を借用して対応する。	こども家庭課
49	外国籍市民自身が、所有するスマートフォンの翻訳機能を使って、コミュニケーションを図っていた。	療育支援課
52	外国人総合相談センター埼玉に電話し、通訳を介して担当が説明をする。資料（主に絵や数字）等を見ながら工夫をして説明する。	国民健康保険課
54	衛生免許事務については基本的に看護師等国家試験受験する（した）方のため、ほぼ日本語でコミュニケーションが可能。薬事関係事務については、これまではほぼ日本語でコミュニケーションを行うことができた。	保健総務課
55	対象者の知り合いで日本語ができる方を同行していただくなどで対応。	保健予防課
56	食品担当。食品の営業許可などを取る方は、片言の日本語が出来る方が多いため、かろうじてコミュニケーションがとれる。環境担当。日本語での会話に支障のない方がほとんどである。	食品・環境衛生課

No.	記述	所属・所・室名
58	予防接種に関する書籍の和訳ページを参照しながら対応している。来所者のスマホ等。	健康管理課
63	立入検査等も含みます。立入時に日本語でのコミュニケーションが困難な従業員がいることもあるが、社員の中に日本語を話せる者が最低でも1名はいることが多い。	産業廃棄物指導課
64	窓口では、日本語でコミュニケーションが困難な場面がなかった。※片言の日本語でコミュニケーションが出来る場面のみ	資源循環推進課
68	簡単な英語やジェスチャーで対応。	資源化センター
71	しごと支援センター内ハローワークコーナーでは多言語での対応が困難なことや外国籍市民等の新規求職者登録を行うことができないため、外国人向けの専門部門があるハローワーク川越の職業相談部門外国人コーナーをチラシにて案内している。	雇用支援課
77	川越で事業を行っている方など、日本語に堪能な方がほとんどのため、困難は生じない。	都市景観課
83	日本語でのコミュニケーションが困難な外国籍市民が窓口を訪れた事例について、現職員の中で経験した者がいないため、対応を求められた場合の想定で回答。	開発指導課
95	オンラインにて、料金徴収業務受託者が手配した翻訳サービス業者を利用。国際交流の団体にて手続きに必要な事項を翻訳し、窓口で配布。	給水サービス課
102	学校で通訳の方を派遣依頼。	教育財務課
106	日本語のまったく話せない外国籍市民は今年度来館なし。	南公民館
120	日本語のコミュニケーションが困難な外国籍市民が公民館窓口に来たことがないため、他所属の職員に対応をお願いすることになると思われる。	霞ヶ関北公民館
121	今まで対応した外国籍市民は日本語でのコミュニケーションが取れたので対応事例無し。	伊勢原公民館
123	英語に加え、ジェスチャーで対応している。	中央図書館
124	各言語に対応した利用案内や「やさしい日本語」で書かれた「やさしい利用案内」等を活用しながら対応している。	西図書館
126	外国語版利用案内等を利用している。	高階図書館
128	通訳できる同行者がいる場合が多い。本人が通訳アプリを使用することもある。	学校管理課
129	今までは、簡単な日本語で対応してきた。	教育指導課
136	ジェスチャー。依頼側で通訳をしてもらう。	川越中央消防署

設問5 日本語でのコミュニケーションが困難な外国籍市民への対応について課題だと感じることはありますか？（複数回答可）

日本語でのコミュニケーションが困難な外国籍市民への対応について課題だと感じることでは、「外国語ができる職員が不足している」が49.4%と最も多く、次いで「他の課題に比べて優先度や緊急度が低いため、手が回らない」が24.7%、「様々な言語で、より柔軟に通訳者を派遣してもらえる仕組みが必要だ」が23.4%となっています。



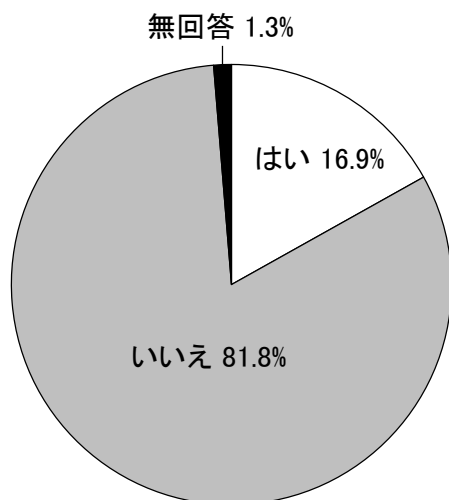
項目	度数	比率
外国語ができる職員が不足している	38	49.4%
翻訳や通訳に充てられる予算が足りない	13	16.9%
申請書やパンフレット等を多言語展開したいが、やり方が分からない	10	13.0%
他の課題に比べて優先度や緊急度が低いため、手が回らない	19	24.7%
様々な言語で、より柔軟に通訳者を派遣してもらえる仕組みが必要だ	18	23.4%
その他	16	20.8%
無回答	8	10.4%
回答数	77	
非該当	52	
合計	129	

【備考欄の回答】

No.	記述	所属・所・室名
5	日本語でのコミュニケーションが困難な外国籍市民が一人で来庁することがほとんどなし。	資産税課
30	通訳機器ではうまく伝わらない場合がある。	生活福祉課
31	証明発行の翻訳に時間がかかる。	障害者福祉課
43	日本語でのコミュニケーションが困難な方の来館はなし。	川越駅東口児童館
46	日本語でなんとかコミュニケーションができています。	子育て支援センター
58	予防接種のそもそもの制度が複雑である上に、専門用語が多く、的確な伝達が難しい。	健康管理課
72	長期貸出のためある程度日本語が大丈夫である。	農政課
77	川越で事業を行っている方など、日本語に堪能な方がほとんどのため、困難は生じない。	都市景観課
83	現職員で経験した者がいないため、回答不可。	開発指導課
120	上記のように日本語でのコミュニケーションが困難な外国籍市民が窓口に来たことがないので、課題として緊急度が低く、検討したことがない。	霞ヶ関北公民館
121	対応事例がないので、課題だと感じたことがない。	伊勢原公民館
129	学校から各種検診の問診票等で多言語対応を求める声がある。	教育指導課
141	外国籍市民の来訪頻度は極めて少ないため、自所属所有のタブレット端末でコミュニケーションがとれるか不安である。	消防局救急課

設問 6 母国における制度や慣習の違いなど、言語やコミュニケーション以外の理由から、外国籍市民の対応に苦慮したことはありますか？

母国における制度や慣習の違いなど、言語やコミュニケーション以外の理由から、外国籍市民の対応に苦慮したことがあるかでは、「はい」が 16.9%、「いいえ」が 81.8% となっています。



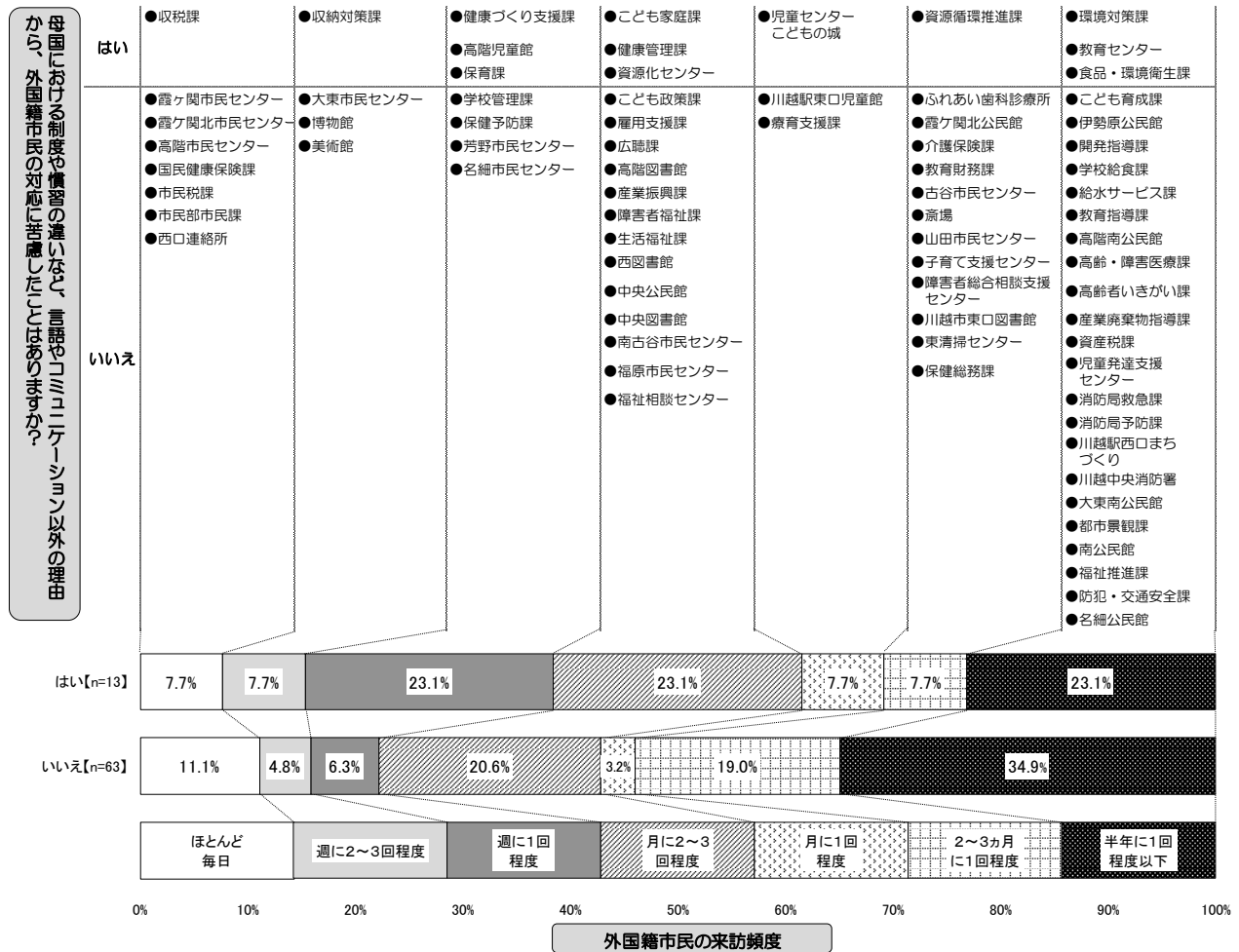
項目	度数	構成比
はい	13	16.9%
いいえ	63	81.8%
無回答	1	1.3%
回答数	77	100.0%
非該当	52	
合計	129	

設問6で『はい』と回答

【備考欄の回答】

No.	記述	所属・所・室名
7	祖国への仕送りを重くとらえ、納税を軽視している。皆保険を理解していない。	収納対策課
24	葬送の慣習は国や民族によって異なることから、今後、様々な対応が必要となる可能性がある。	斎場
44	授乳室（その時に使用していない部屋）を案内しようとしたところ、見られる事を気にしないという理由から図書室で授乳を開始された。	児童センターこどもの城
47	そもそも「(行政) 手続きを行う」という習慣がない方もおり、文化的背景の違いから対応に苦慮したケースがある。	こども家庭課
48	外国籍市民で、全く日本語でのコミュニケーションがとれないという理由で、幼児期の教育・保育を受ける機会が制限されている方もいる。（制度が分からない、入園を断られる等）	保育課
56	食品担当、「はい」衛生の概念が国によって異なるため、指導に苦慮することがある。 環境担当「いいえ」	食品・環境衛生課
58	海外の母子手帳を読み解く必要がある。国によって通常接種するワクチンが異なる場合があり、その違いについて説明が必要なことがある。	健康管理課
59	妊娠中の外国籍の市民への支援の中で、出産時にはビザが切れている状態であるため、帰国を促すが、理解してもらうことに時間と労力を有したケースが数件ある。 妊娠中の外国籍の市民が、連絡なく産科医療機関への妊婦健診の受診を中段したまま行方がわからなくなるケースが数件ある。	健康づくり支援課
62	市民からの相談の中で、外国人籍の生活騒音等の苦情を受け付けることがある。	環境対策課
64	ごみの分別の習慣のない国から来日している外国籍市民にごみの分別収集を理解してもらえず苦慮している。	資源循環推進課
68	ごみの分別がされていない。	資源化センター
132	特別な配慮に係る事項を説明する際、用語が難解なため、通訳しにくい。	教育センター

母国における制度や慣習の違いなど、言語やコミュニケーション以外の理由から、
外国籍市民の対応に苦慮したことはあると回答した外国籍市民の来訪した所属課等
別クロス



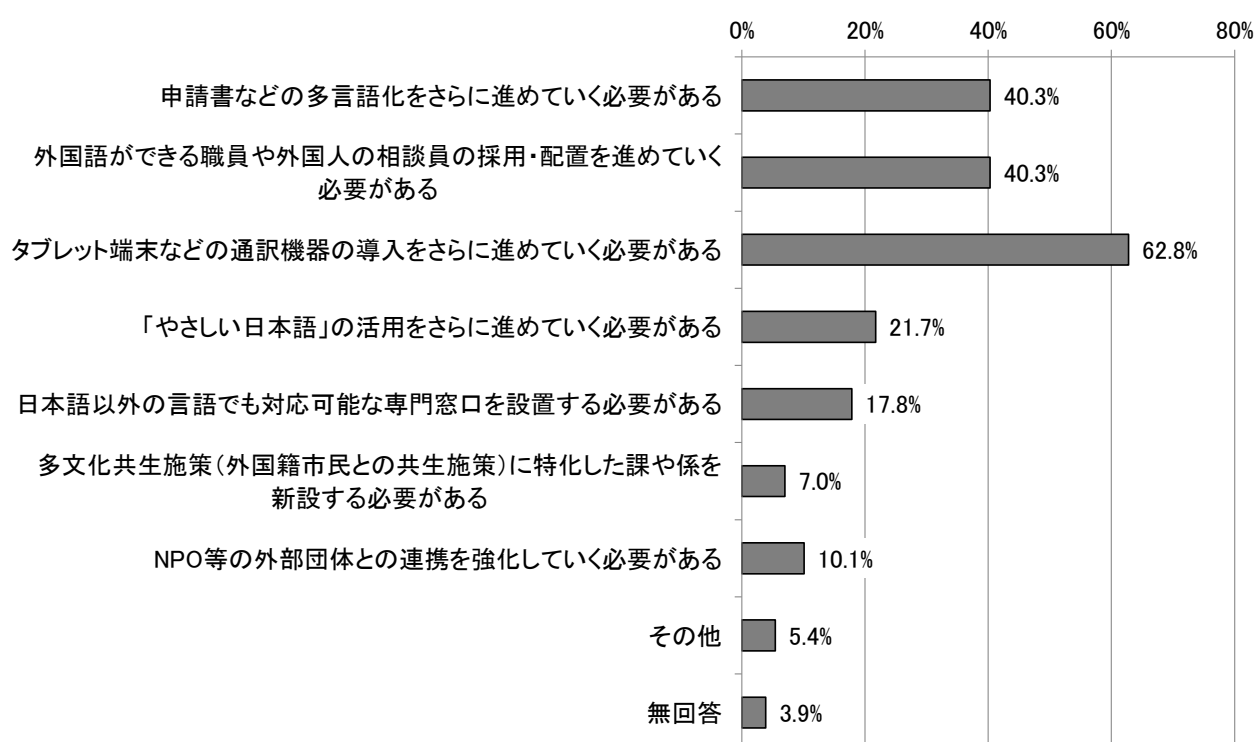
【設問 2×設問 6 クロス】

項目	ほとんど毎日	週に2～3回程度	週に1回程度	月に2～3回程度	月に1回程度	2～3か月に1回程度	半年に1回程度以下	回答数
はい	度数 1 構成比 7.7%	1 7.7%	3 23.1%	3 23.1%	1 7.7%	1 7.7%	3 23.1%	13 100.0%
いいえ	度数 7 構成比 11.1%	3 4.8%	4 6.3%	13 20.6%	2 3.2%	12 19.0%	22 34.9%	63 100.0%

◇設問区分 3 今後の対応方針等

設問 7 今後、外国籍市民への対応について全庁的にどのような対応が求められると考えますか？（複数回答可）

今後、外国籍市民への対応について全庁的に求められる対応では、「タブレット端末などの通訳機器の導入をさらに進めていく必要がある」が 62.8%と最も多く、次いで「申請書などの多言語化をさらに進めていく必要がある」、「外国語ができる職員や外国人の相談員の採用・配置を進めていく必要がある」がともに 40.3%となっています。



項目	度数	比率
申請書などの多言語化をさらに進めていく必要がある	52	40.3%
外国語ができる職員や外国人の相談員の採用・配置を進めていく必要がある	52	40.3%
タブレット端末などの通訳機器の導入をさらに進めていく必要がある	81	62.8%
「やさしい日本語」の活用をさらに進めていく必要がある	28	21.7%
日本語以外の言語でも対応可能な専門窓口を設置する必要がある	23	17.8%
多文化共生施策(外国籍市民との共生施策)に特化した課や係を新設する必要がある	9	7.0%
NPO等の外部団体との連携を強化していく必要がある	13	10.1%
その他	7	5.4%
無回答	5	3.9%
回答数	129	

【備考欄の回答】

No.	記述	所属・所・室名
1	災害時の情報伝達の多言語化、情報伝達手段の確保。	防災危機管理室
16	通訳ソフト入のタブレットが令和2年度に設置されたので、必要な際は活用したいと思います。	霞ヶ関市民センター
35	外国語対応のホームページで事前予約を行う等、外国籍市民の要望を正確に把握するスキームを作る。相対する必要がない手続きについては、オンライン等による手続きを可能にする。	障害者総合相談支援センター
50	通訳を簡単に依頼できる仕組みがあると良い。	児童発達支援センター
83	都市計画法に基づく開発に関する問い合わせは専門性が求められること、日本語でのコミュニケーションが困難な外国籍市民が窓口を訪れる件数自体が少ないことを鑑み、「日本語以外の言語でも対応可能な専門窓口を設置する必要がある」が望ましいと考える。	開発指導課
104	川越市の歴史文化について外国籍市民の方々に愛着を持ってもらうためには、歴史文化の内容を正確に伝わるように翻訳された資料や案内板等が必要と思われるが、現状は担当課ごとの判断にゆだねられる部分が大きく、できあがりにもバラつきがある。少なくとも施設名だけでも全庁で統一表記等の基準を作るべきと考える。	文化財保護課
129	川口市では、各課からの翻訳業務を担当課で請け負っていると聞きました。川越市でも同様のことができると良いと思います。	教育指導課

埼玉県外国人住民意識調査 報告書（概要版）

令和 3 年（2021 年） 1 月

埼玉県

目 次

第 1 章 調査概要	1
第 2 章 調査結果	
I. 回答者の基本属性について	2
II. 日常生活について	7
III. 日本語について	11
IV. 県や市町村への要望について	14
V. その他	19

第 1 章 調査概要

1. 調査の目的

県内外国人住民の生活意識や行政に対する要望等を把握し、県の国際施策を推進するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の設計

項目	内容
調査期間	令和 2 年 9 月 30 日（水）～10 月 30 日（金）
調査対象	本調査に協力可能な県内市町村在住の 18 歳以上の外国人
標 本 数	4,000 人
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	自記式調査票（ルビ付きやさしい日本語）による郵送配付、郵送回収 及びインターネット調査（ルビ付きやさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語、タガログ語の各言語版を作成）の併用

3. 回収結果

有効回収票数	有効回収率
1,447 件	36.2%

注;回答比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記載している。従って、合計が 100%にならない場合がある。

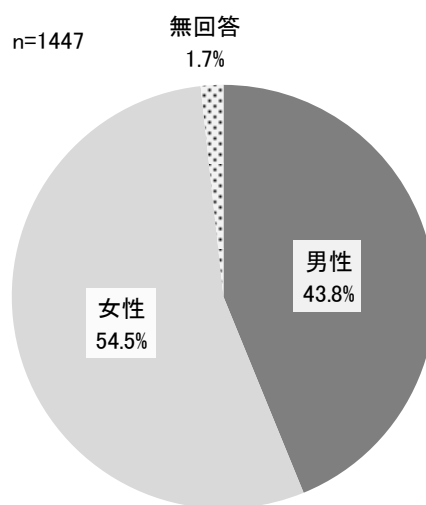
第2章 調査結果

I. 回答者の基本属性について

1. 性別

女性が 54.5% で男性 (43.8%) より 10.7 ポイント多くなっている。

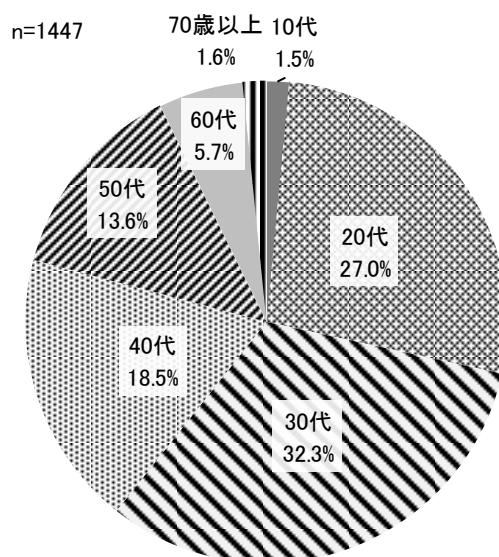
図 I - 1. 性別



2. 年齢

40 歳未満が6割 (60.8%) を占め、世代別では 30 代が最も多く3人に1人 (32.3%)、次いで、20 代が 27.0%、40 代が 18.5% となっている。

図 I - 2. 年齢



3. 国籍

図 I－3. 国籍

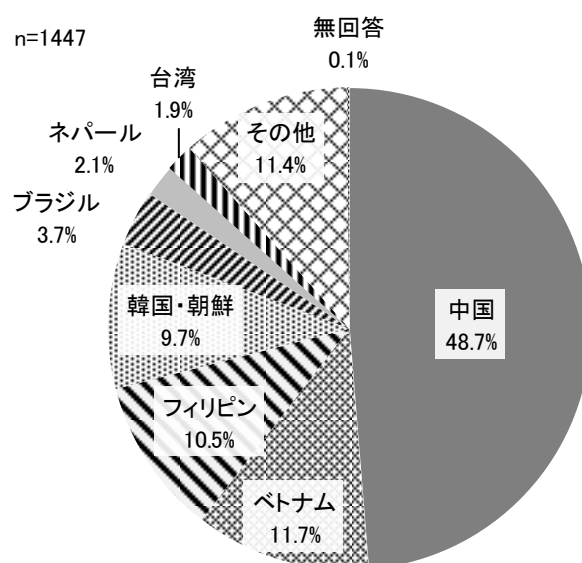
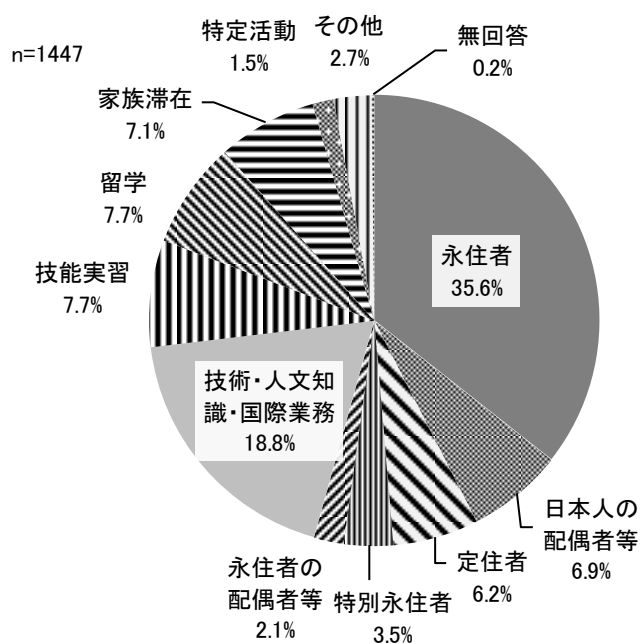


表 I－1. 「その他」の国籍

国籍	人数	%	国籍	人数	%
合計	165	11.4	ドイツ	2	0.1
タイ	21	1.5	メキシコ	2	0.1
インドネシア	19	1.3	コロンビア	2	0.1
ミャンマー	12	0.8	セネガル	2	0.1
アメリカ合衆国	12	0.8	シンガポール	1	0.1
ペルー	11	0.8	キルギス	1	0.1
パキスタン	8	0.6	イタリア	1	0.1
トルコ	6	0.4	スペイン	1	0.1
モンゴル	5	0.3	ベルギー	1	0.1
マレーシア	5	0.3	ギリシャ	1	0.1
インド	5	0.3	チェコ	1	0.1
バングラデシュ	5	0.3	ハンガリー	1	0.1
カナダ	5	0.3	ウクライナ	1	0.1
スリランカ	4	0.3	ルーマニア	1	0.1
イギリス	3	0.2	ジャマイカ	1	0.1
ロシア	3	0.2	アルゼンチン	1	0.1
ナイジェリア	3	0.2	チリ	1	0.1
カメルーン	3	0.2	マリ	1	0.1
ガーナ	3	0.2	ウガンダ	1	0.1
カンボジア	2	0.1	マダガスカル	1	0.1
フランス	2	0.1	無回答	4	0.3

4. 在留資格

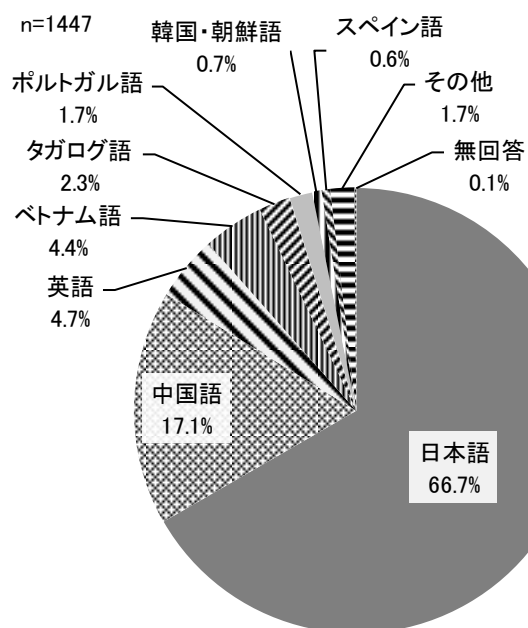
図 I - 4. 在留資格



5. 生活上での主要な使用言語

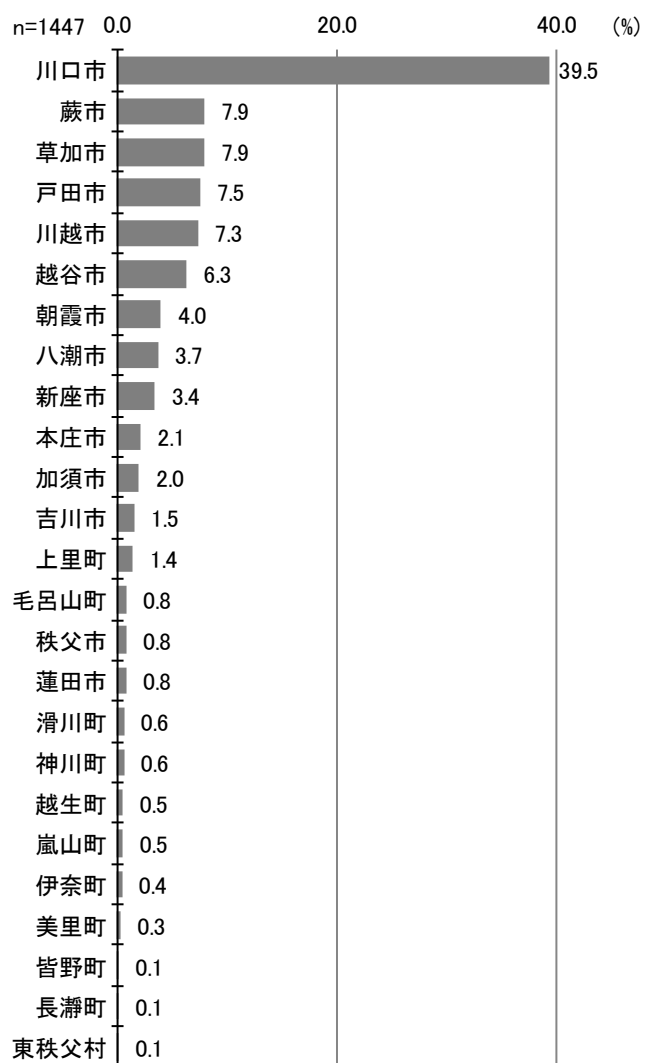
生活する上で3分の2が主に「日本語」を使用しているが、3分の1は日本語以外の言語を主に使用している。

図 I - 5. 生活上での主要な使用言語



6. 居住市町村

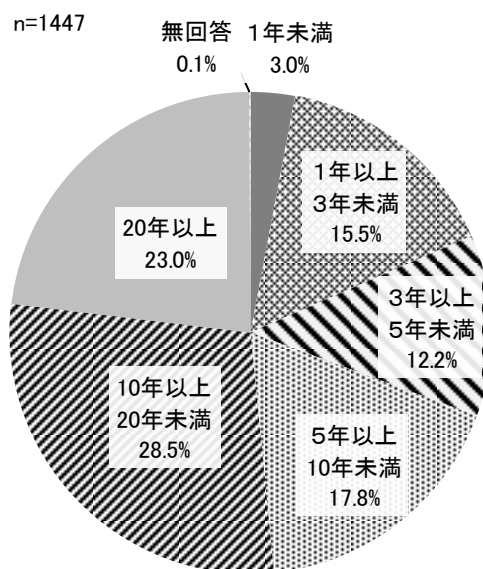
図 I - 6. 居住市町村



7. 日本での居住期間

10年以上が半数(51.5%)を占め、5年以上10年未満が2割弱(17.8%)、5年未満が3割(30.7%)となっている。

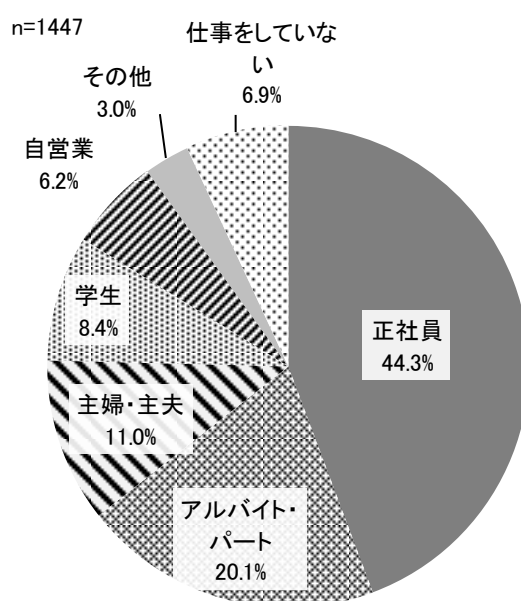
図 I - 7. 日本での居住期間



8. 職業

「正社員」が44.3%で最も多く、次いで、「アルバイト・パート」(20.1%)、「主婦・主夫」(11.0%)の順となっている。

図 I - 8. 職業



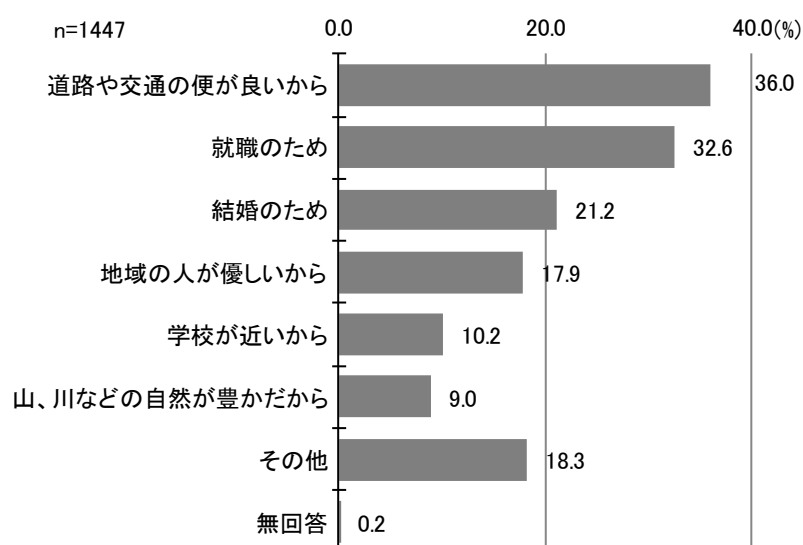
Ⅱ. 日常生活について

1. 埼玉県に住む理由

「道路や交通の便が良いから」が36.0%で最も多く、次いで、「就職のため」(32.6%)が多くなっている。

「その他」の内容としては、「家賃が安いから」、「生活費が安いから」、「家族や親戚が近くに住んでいるから」、「同国人の知人が多いから」、「夫の職場があるため」などとなっている。

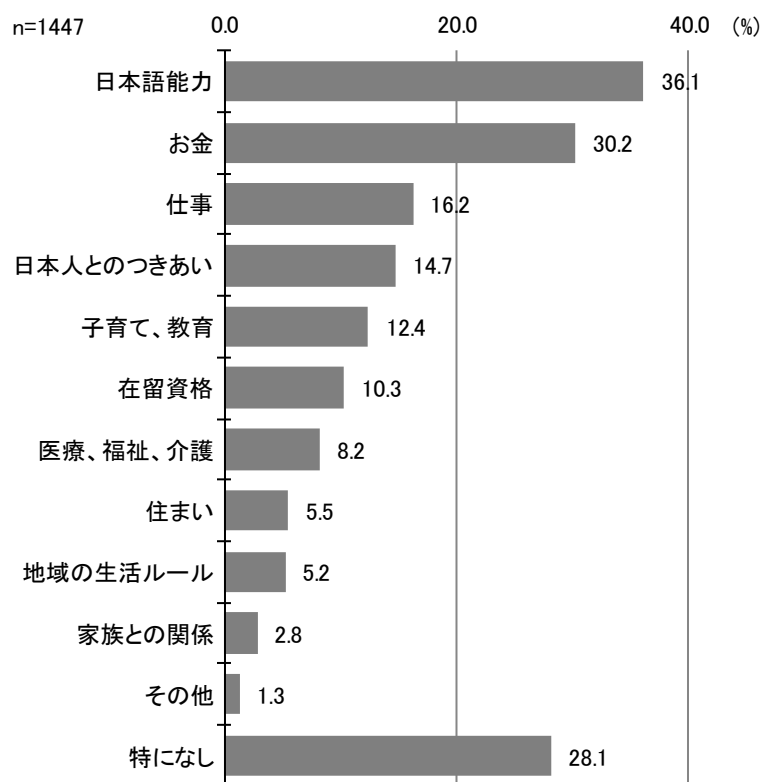
図Ⅱ－１．埼玉県に住む理由（三つまで）



2. 生活の中で特に困っていること

「日本語能力」が36.1%で最も多く、次いで、「お金」(30.2%)が多くなっている。一方、困っていることは特にないという人も28.1%となっている。

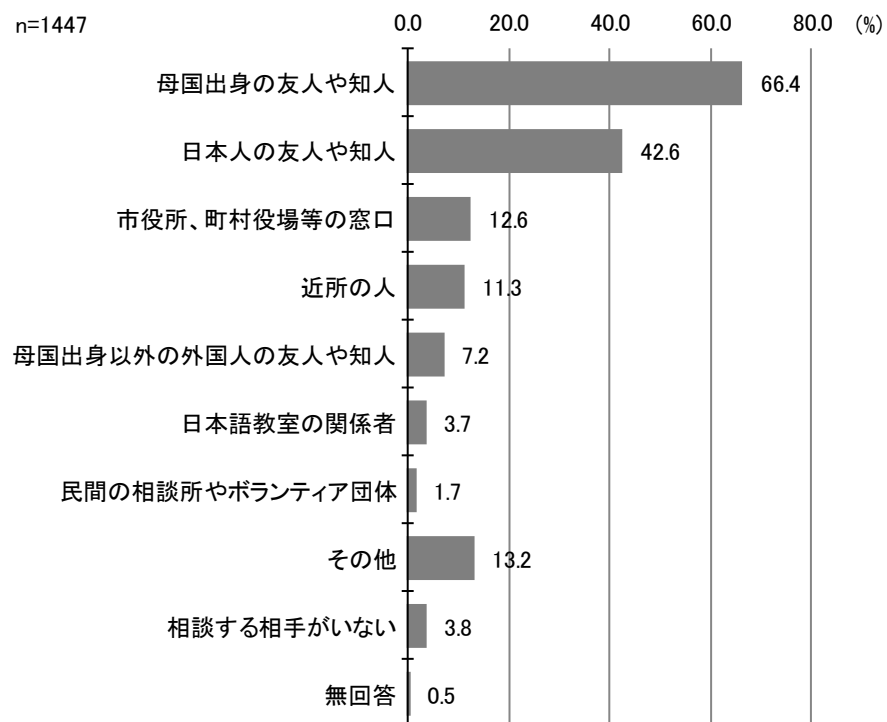
図Ⅱ－２．生活の中で特に困っていること（三つまで）



3. 日常生活で困った時の相談先

3人に2人(66.4%)が「母国出身の友人や知人」に相談し、4割程度(42.6%)が「日本人の友人や知人」に相談している。

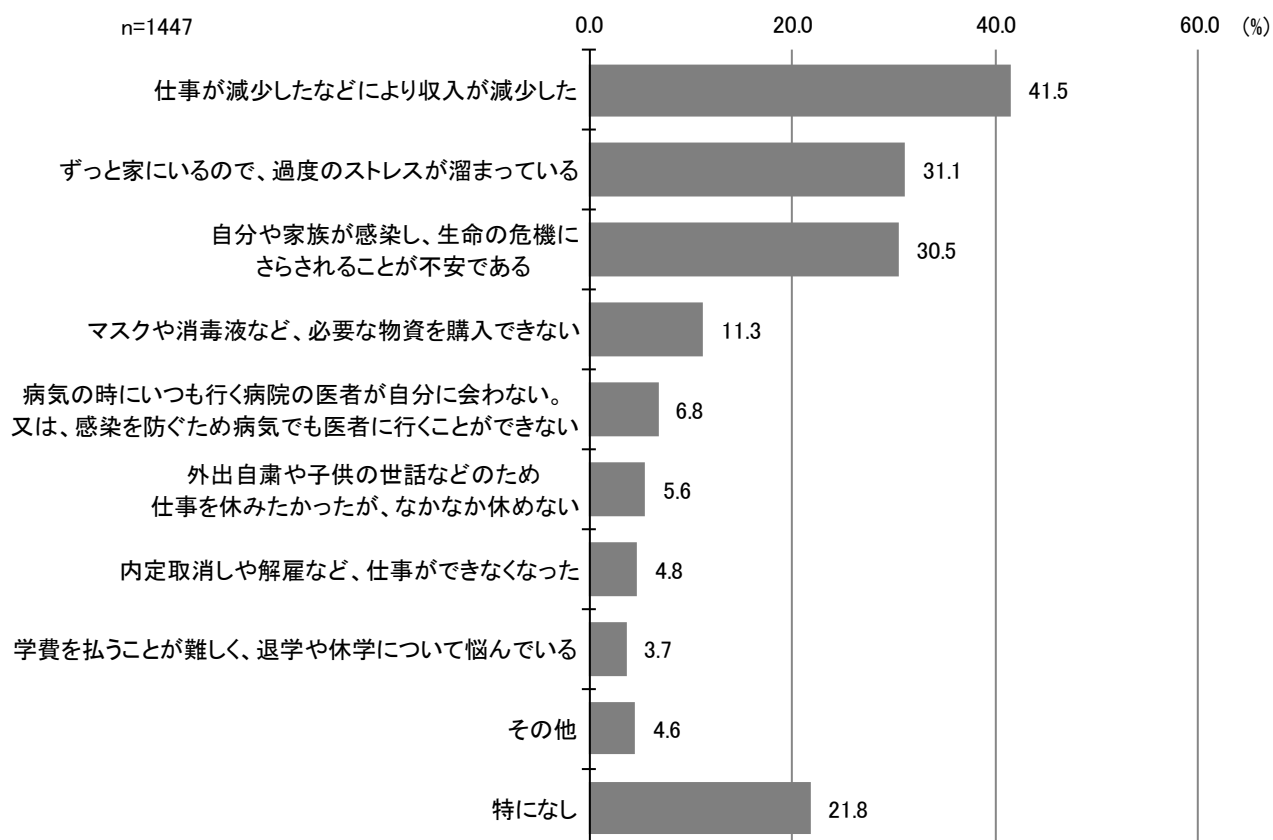
図Ⅱ－3. 日常生活で困った時の相談先（三つまで）



4. 新型コロナウイルス感染症により困ったこと

「仕事が減少したなどにより収入が減少した」が4割(41.5%)で最も多く、次いで、「ずっと家にいるので、過度のストレスが溜まっている」(31.1%)、「自分や家族が感染し、生命の危機にさらされることが不安である」(30.5%)が3割となっている。また、困ったことは特にないという人は2割(21.8%)となっている。

図Ⅱ－４．新型コロナウイルス感染症により困ったこと（三つまで）



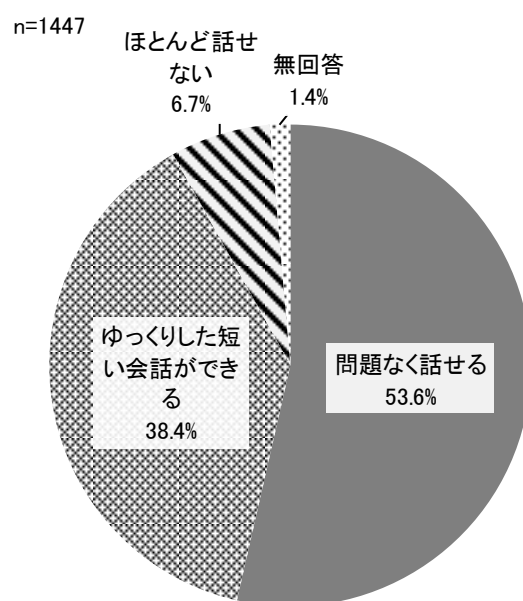
Ⅲ. 日本語について

1. 日本語の運用能力

◆ 話す

「問題なく話せる」が過半数の 53.6%を占め、「ゆっくりした短い会話ができる」が 38.4%となっている。また、「ほとんど話せない」は 6.7%となっている。

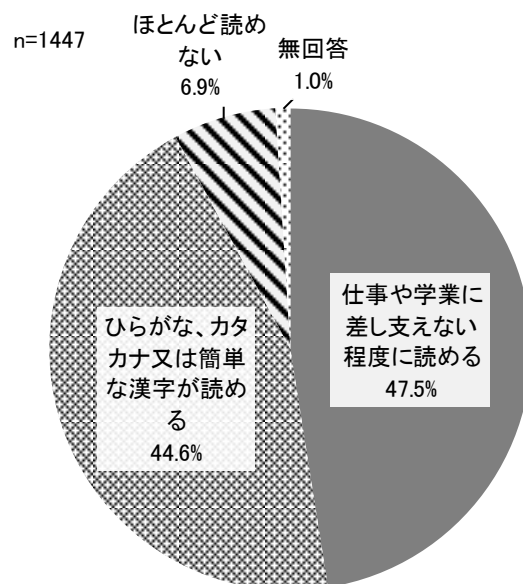
図Ⅲ－１. 日本の運用能力「話す」



◆ 読む

「仕事や学業に差し支えない程度に読める」が 47.5%であり、「ひらがな、カタカナ又は簡単な漢字が読める」(44.6%)をやや上回っている。また、「ほとんど読めない」は 6.9%となっている。

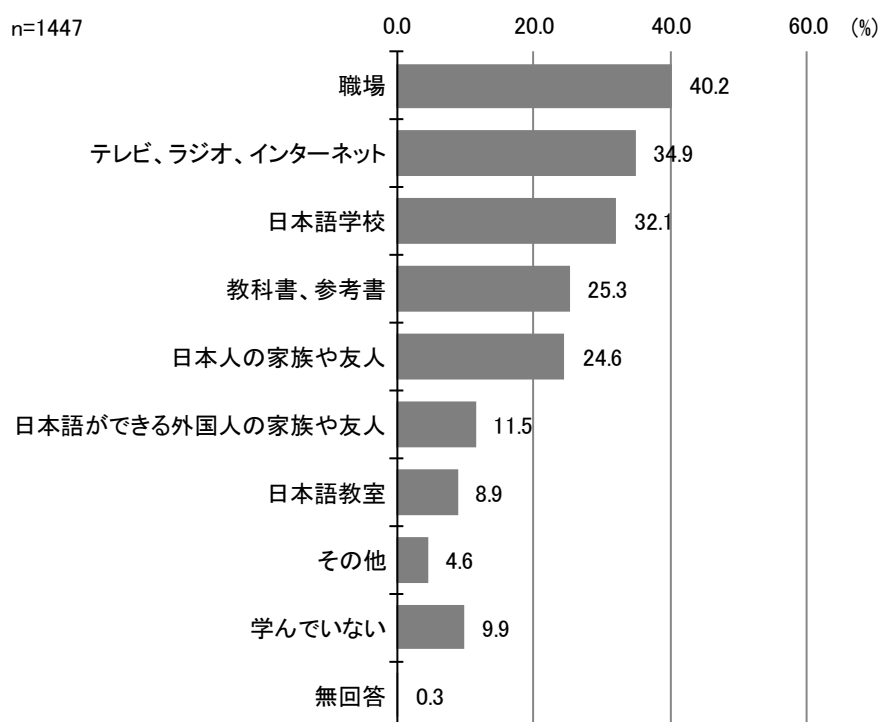
図Ⅲ－２. 日本の運用能力「読む」



2. 日本語の学習方法

「職場」が40.2%で最も多く、次いで、「テレビ、ラジオ、インターネット」(34.9%)、「日本語学校」(32.1%)となっている。

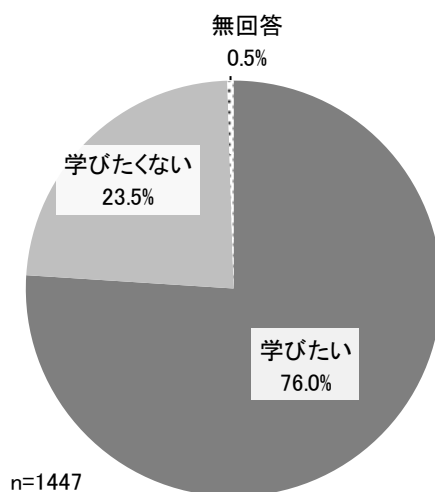
図Ⅲ－3. 日本語の学習方法（三つまで）



3. 日本語の学習意向及びその理由

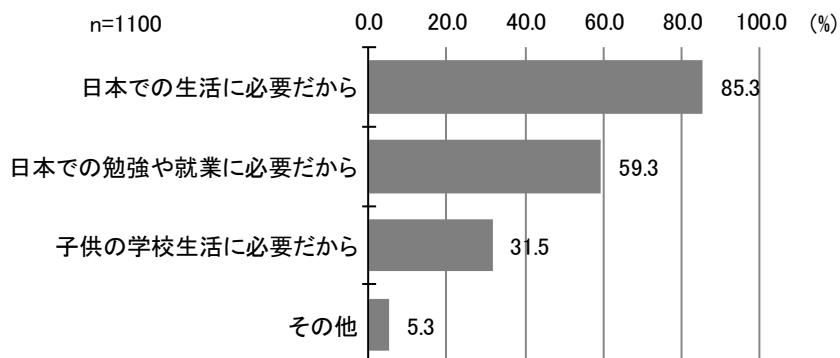
4人に3人(76.0%)が「学びたい」と回答している。

図Ⅲ－4. 日本語の学習意向



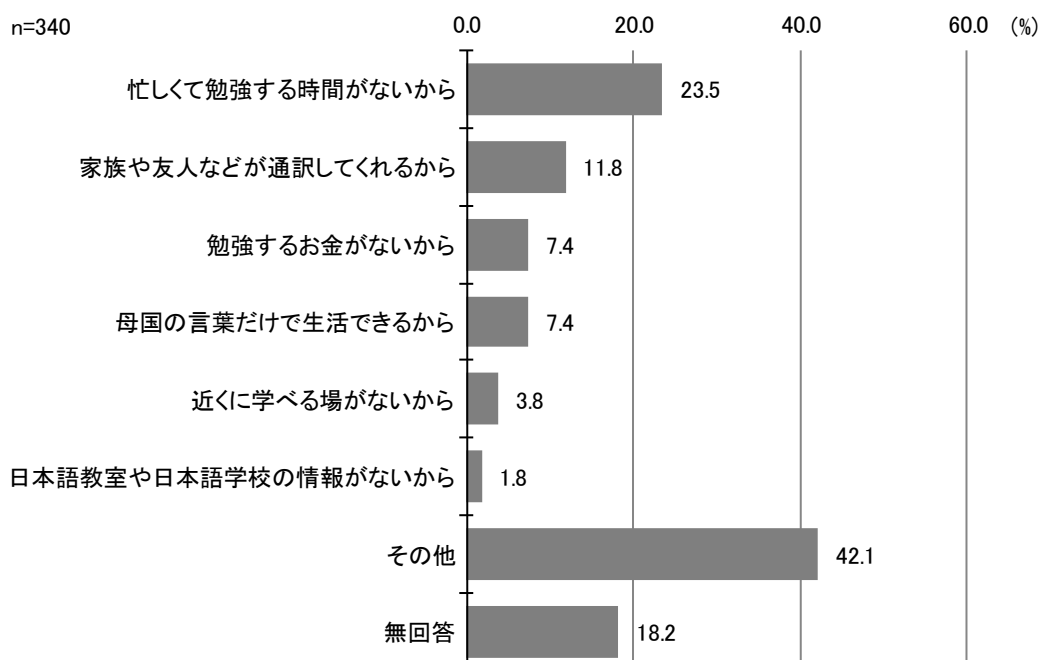
「学びたい」と回答した人のその理由としては、「日本の生活に必要なだから」が 85.3%で最も多い。

図Ⅲ－５．学びたい場合の理由（三つまで）



「学びたくない」と回答した人のその理由としては、「忙しくて勉強する時間がないから」が 23.5%で多い。また、「その他」の内容としては、「現在の日本語で十分と思うから」、「既に十分にでき、日常生活や仕事に支障がないから」などとなっている。

図Ⅲ－６．学びたくない場合の理由（三つまで）



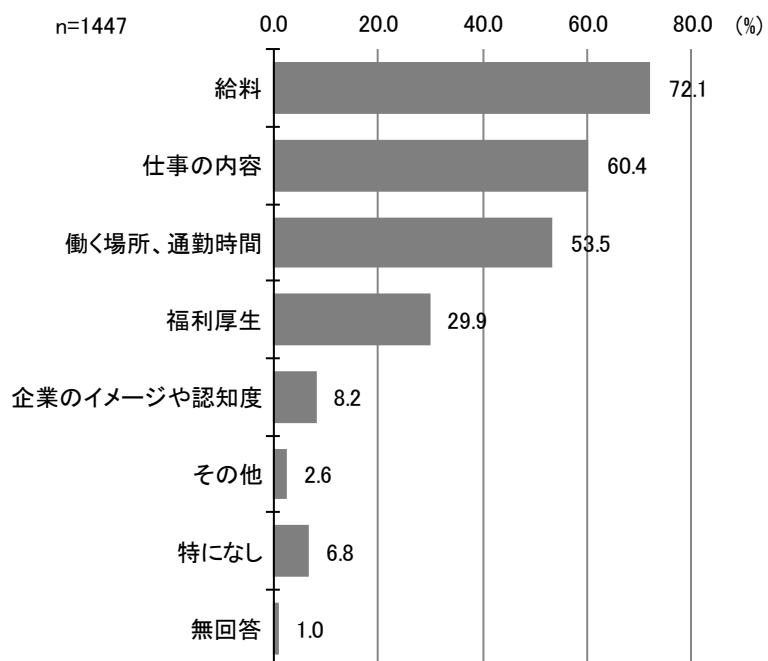
IV. 県や市町村への要望について

① 仕事について

1. 仕事を決める時に大事にすること

「給料」が 72.1%で最も多い。次いで、「仕事の内容」が 60.4%、「働く場所、通勤時間」が 53.5%で続き、これら三つの点について過半数の人が仕事を決める時に大事にすると考えている。

図Ⅳ－１. 仕事を決める時に大事にすること（三つまで）

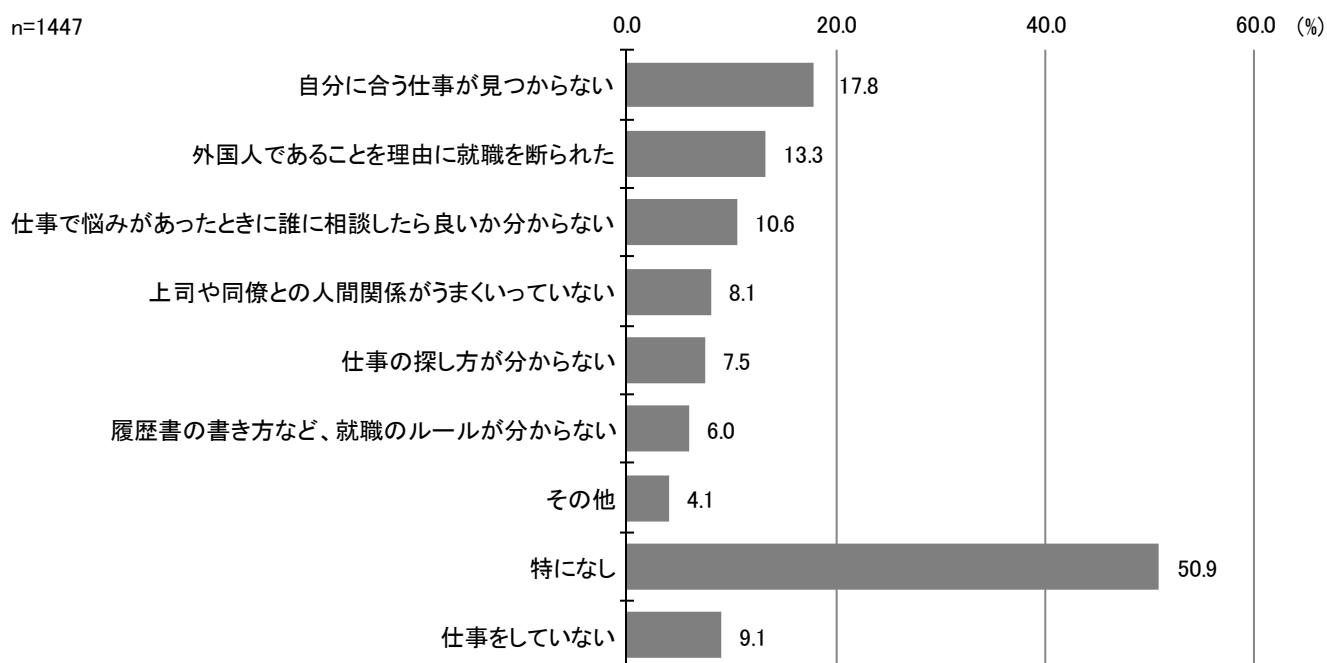


2. 仕事で困っていること

「特になし」、「仕事をしていない」を除いた困っていることのある人は4割となっている。

困っていることとしては、「自分に合う仕事が見つからない」が 17.8%で最も多く、次いで、「外国人であることを理由に就職を断られた」(13.3%)、「仕事で悩みがあったときに誰に相談したら良いか分からない」(10.6%)となっている。

図Ⅳ－2. 仕事で困っていること（三つまで）



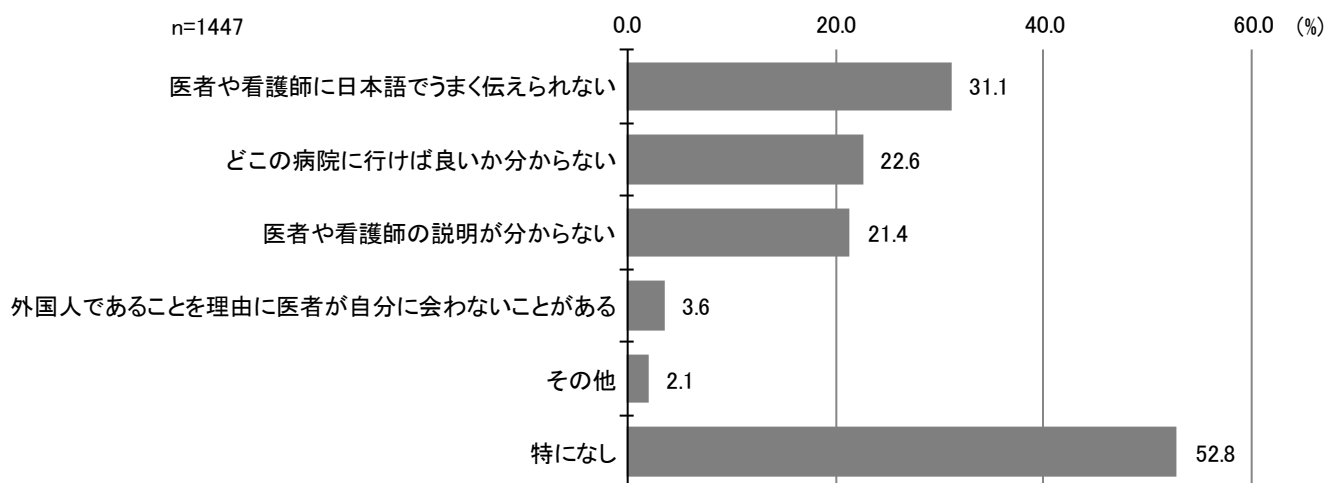
② 医療について

1. 診察時に困っていること

「特になし」がほぼ半数の 52.8%となっている。

困っていることとしては、「医者や看護師に日本語でうまく伝えられない」が3割(31.1%)で最も多い。

図Ⅳ－３．診察時に困っていること（三つまで）

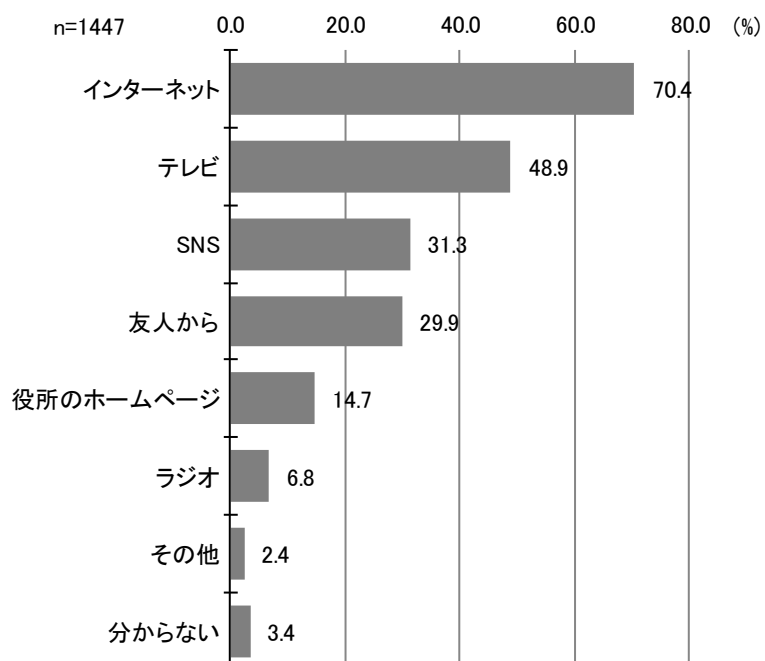


③ 防災・災害について

1. 災害時の情報の入手先

「インターネット」が7割(70.4%)を占め最も多く、次いで、「テレビ」が半数(48.9%)となっている。

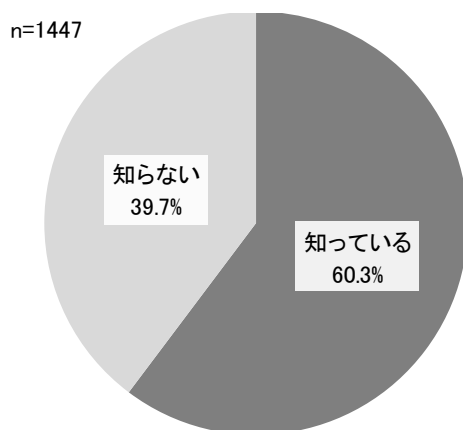
図Ⅳ－４．災害時の情報の入手先（三つまで）



2. 災害時の避難場所の認知度

「知っている」が6割(60.3%)、「知らない」が4割(39.7%)となっている。

図Ⅳ－5. 災害時の避難場所の認知度（国籍別）

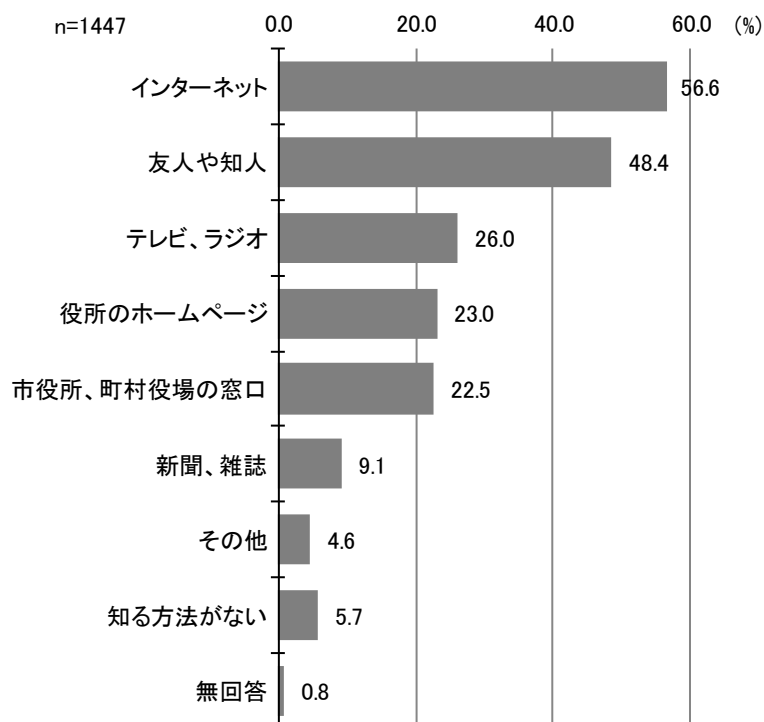


④ その他

1. 生活情報の入手先

「インターネット」が56.6%で最も多く、次いで、「友人や知人」が48.4%となっている。その他、「テレビ、ラジオ」が26.0%、「役所のホームページ」が23.0%、「市役所、町村役場の窓口」が22.5%で続いている。

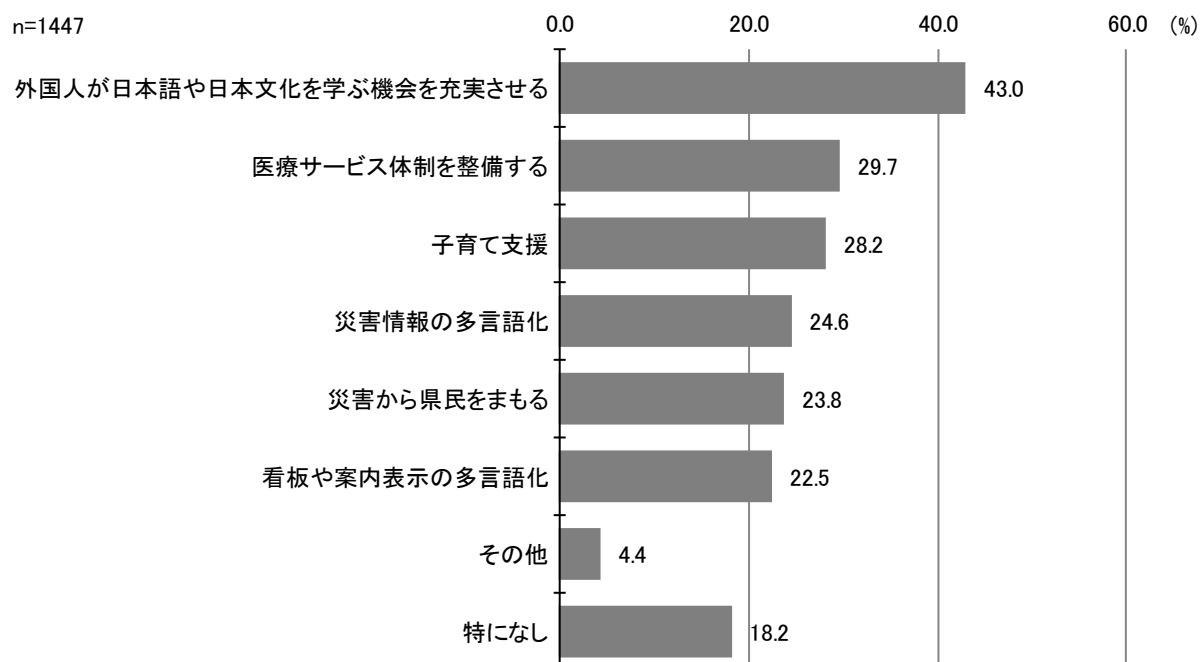
図Ⅳ－6. 生活情報の入手先（三つまで）



2. 県への要望

「外国人が日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる」が 43.0%で最も多く、次いで、「医療サービス体制を整備する」(29.7%)、「子育て支援」(28.2%)となっている。

図Ⅳ－7. 県への要望（三つまで）

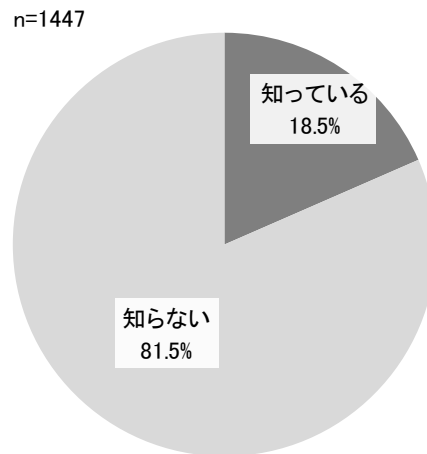


V. その他

1. 「外国人総合相談センター埼玉」の認知度

「知っている」が 18.5%となっている。

表 V－1. 「外国人総合相談センター埼玉」の認知度



埼玉県外国人住民意識調査報告書
(川越市分)

令和3年(2021年)5月

目 次

1章 調査概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の設計.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 報告書の見方	1
第2章 調査結果.....	2
Ⅰ. 回答者の基本属性について	2
Ⅱ. 日常生活について	11
Ⅲ. 日本語について	15
Ⅳ. 県や市町村への要望について.....	23
Ⅴ. その他	29
資料編.....	35
集計表	35

1 章 調査概要

1. 調査の目的

埼玉県が行った外国人住民意識調査結果から本市在住の外国人の回答を抜粋し、生活環境意識や行政に対する要望等を把握し、本市の国際施策を推進するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の設計

項 目	内 容
調査期間	令和2年9月 30 日 (水)～10 月 30 日 (金)
調査対象	本調査に協力可能な市内在住の 18 歳以上の外国人
標本数	●●人
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	自記式調査票(ルビ付きやさしい日本語)による郵送配布、郵送回収及びインターネット調査(ルビ付きやさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語、タガログ語の各言語版を作成)の併用

3. 回収結果

有効回収票数	有効回収率
106 件	%

4. 報告書の見方

- ・設問の構成比は、回答数(該当設問での該当者数)を基数として百分率(%)で示している。したがって、非該当者数は、構成比に含まれない。
- ・比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下第二位を四捨五入し算出しているため合計が 100%にならない場合がある。
- ・複数回答については、回答者数を基数として百分率(%)で示している。したがって、合計値は 100%にならない場合もある。
- ・回答数が少ない場合は、%ではなく、回答数(件)で表示している。
- ・グラフ内において、0.0%は省略する。
- ・年代別クロス集計においては、70 歳以上は回答がないため、省略している。
- ・資料編・集計表において無回答の回答がない場合は省略している。

第2章 調査結果

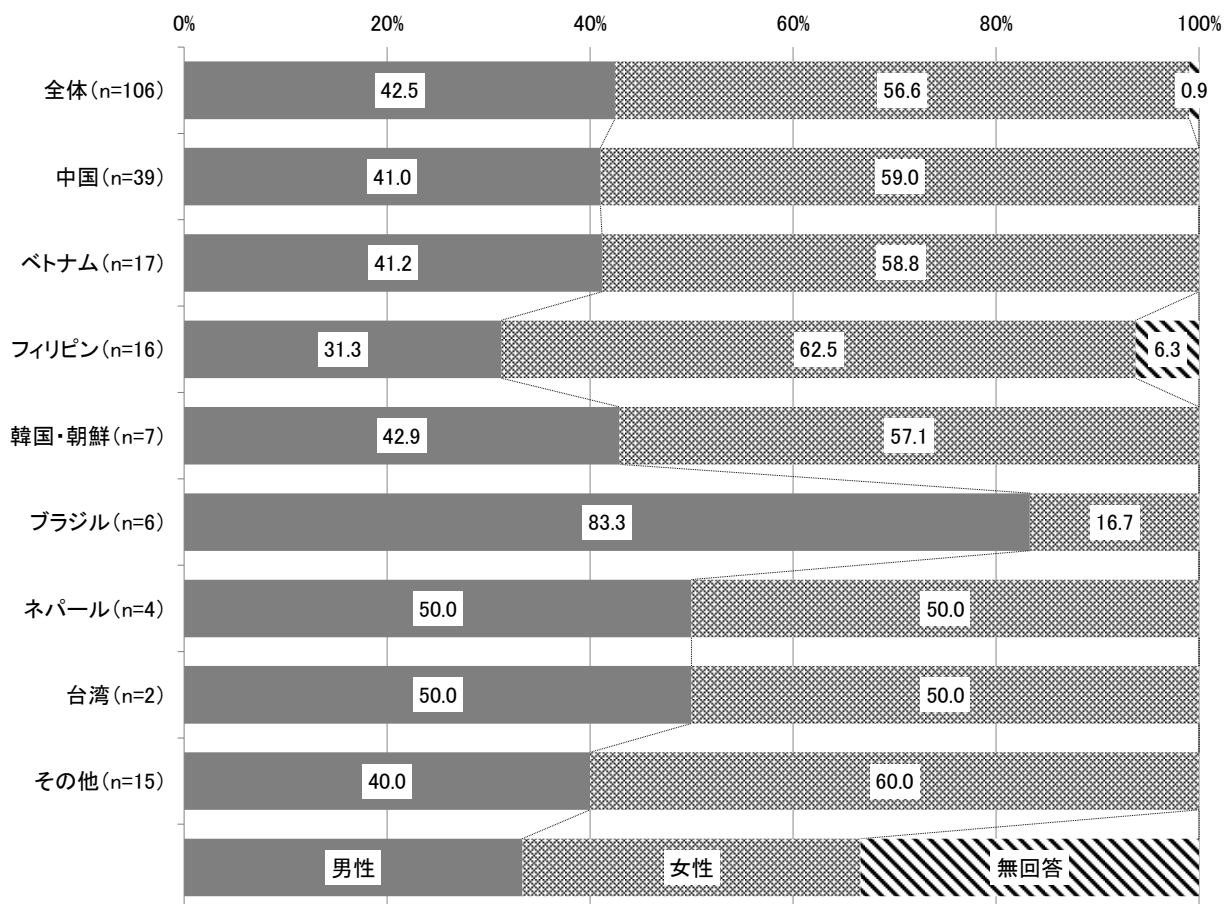
I. 回答者の基本属性について

1. 性別

全体では、女性(56.6%)が男性(42.5%)よりも14.1ポイント上回っている。

国籍別で見ると、「ブラジル」は、男性(83.3%)が女性(16.7%)よりも66.6ポイント、「フィリピン」は、女性(62.5%)が男性(31.3%)を31.2ポイント上回っている。

図 I-1. 性別(国籍別)

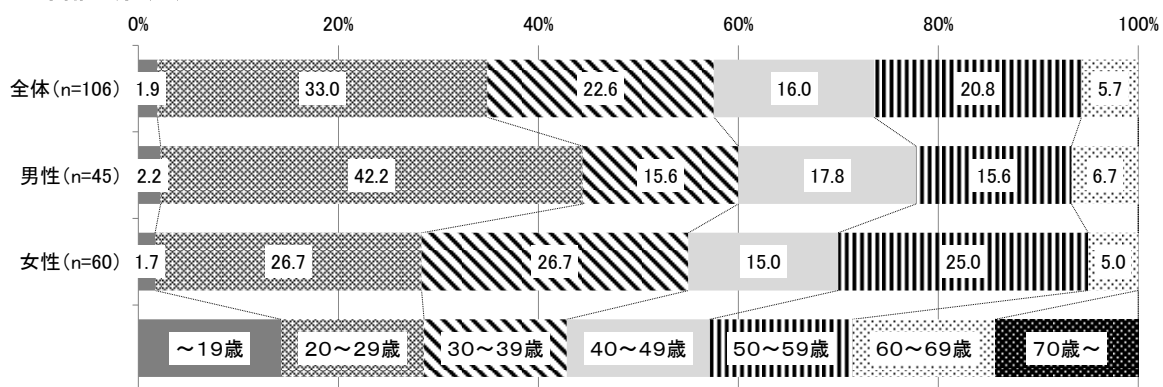


2. 年齢

全体では、「20～29 歳」が 33.0%と最も多く、次いで「30～39 歳」が 22.6%、「50～59 歳」が 20.8%となっている。

男女別に見ると、「20～29 歳」では、男性が 42.2%で女性(26.7%)を 15.5 ポイント上回っており、「30～39 歳」と「50～59 歳」では、女性が男性よりも 10 ポイント前後上回っている。

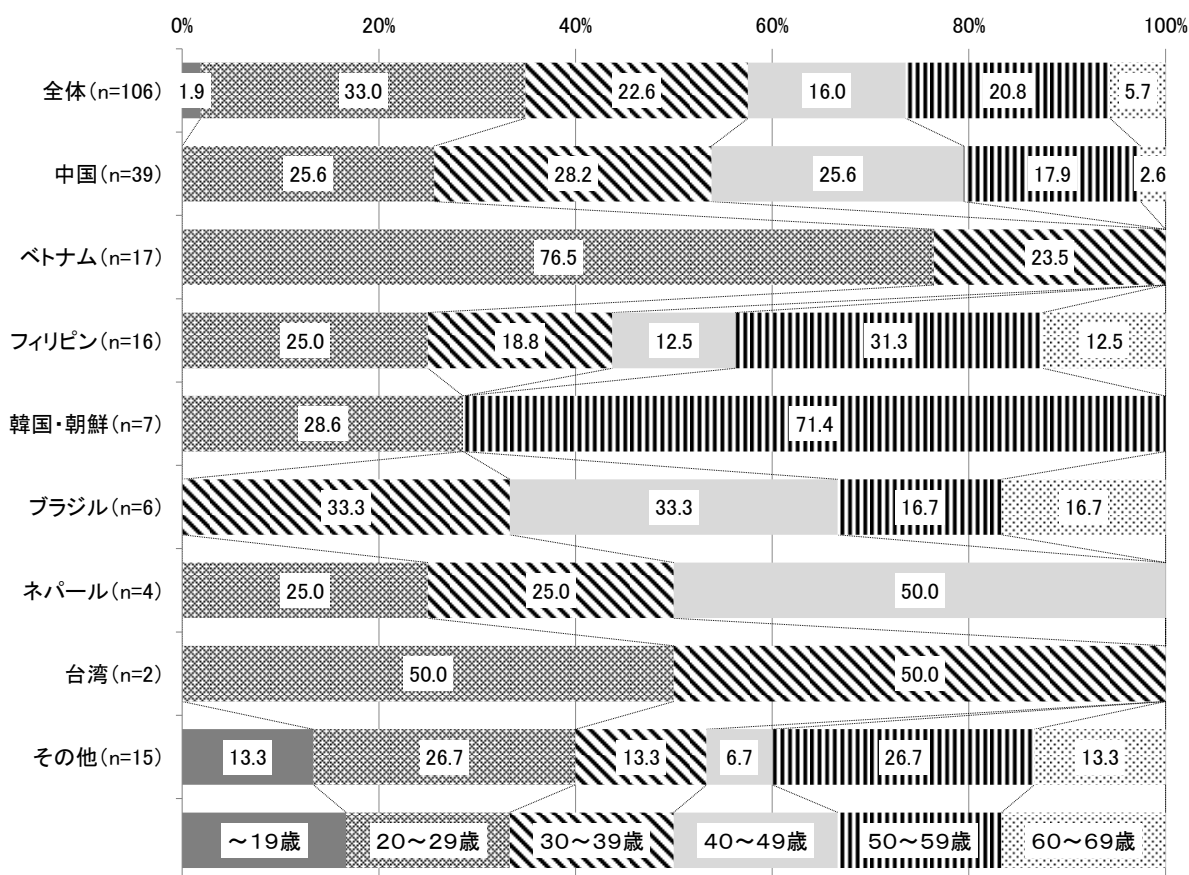
図 I-2. 年齢（性別）



※「70 歳～」の回答はなかった。

国籍別で見ると、ベトナムは「20～29 歳」が 76.5%、韓国・朝鮮は「50～59 歳」が 71.4%と多くなっている。

図 I-3. 年齢（国籍別）



3. 国籍

国籍では、「中国」が 36.8%と最も多く、次いで「ベトナム」が 16.0%、「フィリピン」が 15.1%となっている。

図 I-4. 国籍

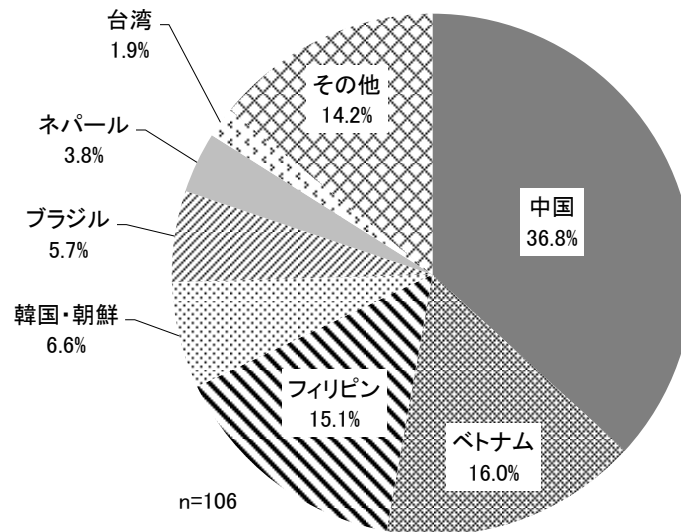


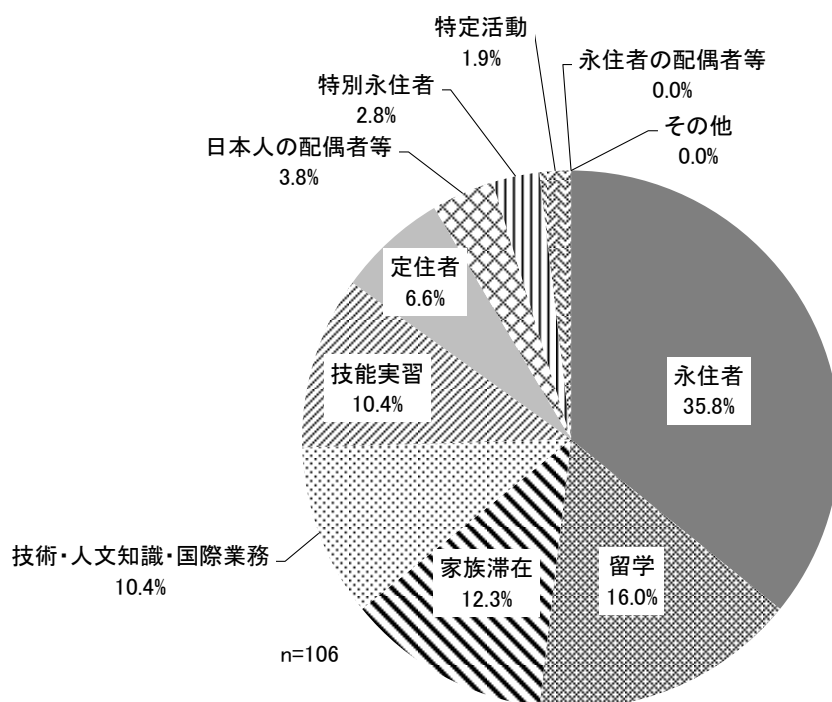
表 I-1. 「その他」の国籍

国籍	人数	%
合計	15	14.2
アメリカ	1	0.9
インドネシア	3	2.8
英国	1	0.9
ガーナ	1	0.9
タイ	3	2.8
バングラデシュ	1	0.9
ペルー	1	0.9
マレーシア	1	0.9
ミャンマー	3	2.8

4. 在留資格

全体では、「永住者」が 35.8%と最も多く、次いで「留学」が 16.0%、「家族滞在」が 12.3%、「技能実習」と「技術・人文知識・国際業務」がともに 10.4%となっている。

図 I-5. 在留資格



年代別で見ると、20代は「留学」が 42.9%、30代は「技術・人文知識・国際業務」と「家族滞在」がともに 33.3%、40代と50代では「永住者」がそれぞれ 58.8%と 86.4%と多くなっている。

表 I-2. 在留資格(年代別)

(上段: 人、下段: %)												
	合計	永住者	特別永住者	日本人の配偶者等	永住者の配偶者等	定住者	技術・人文知識・国際業務	技能実習	留学	家族滞在	特定活動	その他
全体	106	<u>38</u>	3	4	0	7	11	11	17	13	2	0
	100.0	<u>35.8</u>	2.8	3.8	0.0	6.6	10.4	10.4	16.0	12.3	1.9	0.0
10代	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
20代	35	2	1	0	0	2	2	10	15	2	1	0
	100.0	5.7	2.9	0.0	0.0	5.7	5.7	28.6	42.9	5.7	2.9	0.0
30代	24	4	0	0	0	3	8	1	0	8	0	0
	100.0	16.7	0.0	0.0	0.0	12.5	33.3	4.2	0.0	33.3	0.0	0.0
40代	17	10	0	2	0	0	1	0	0	3	1	0
	100.0	58.8	0.0	11.8	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	17.6	5.9	0.0
50代	22	19	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	86.4	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60代	6	3	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0
	100.0	50.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※二重下線・・・各世代で最も多い資格、下線・・・各世代で二番目に多い資格

国籍別で見ると、中国、フィリピン、ブラジルでは「永住者」がそれぞれ 38.5%、62.5%、50.0%と多く、韓国・朝鮮では「永住者」と「特別永住者」がともに 42.9%となっている。いる。ベトナムは「留学」が 35.3%、次いで「技術実習」が 29.4%となっている。

表 I-3. 在留資格(国籍別)

(上段:人、下段:%)

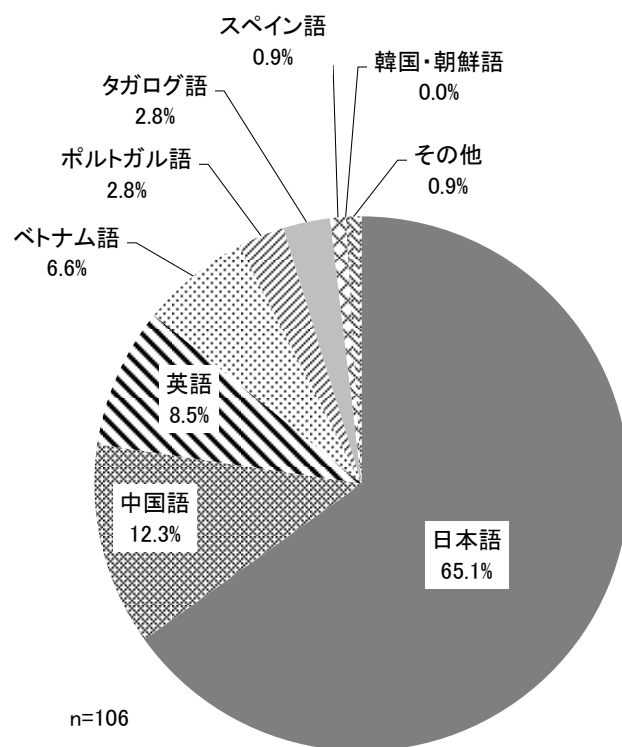
	合計	永住者	特別 永住者	日本人の 配偶者等	永住者の 配偶者等	定住者	技術・人 文知識・ 国際業務	技能実習	留学	家族滞在	特定活動	その他
全体	106 100.0	<u>38</u> <u>35.8</u>	3 2.8	4 3.8	0 0.0	7 6.6	11 10.4	11 10.4	<u>17</u> <u>16.0</u>	13 12.3	2 1.9	0 0.0
中国	39 100.0	<u>15</u> <u>38.5</u>	0 0.0	2 5.1	0 0.0	1 2.6	4 10.3	2 5.1	6 15.4	<u>9</u> <u>23.1</u>	0 0.0	0 0.0
ベトナム	17 100.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	<u>5</u> <u>29.4</u>	<u>6</u> <u>35.3</u>	2 11.8	1 5.9	0 0.0
フィリピン	16 100.0	<u>10</u> <u>62.5</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 12.5	1 6.3	<u>3</u> <u>18.8</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
韓国・朝鮮	7 100.0	<u>3</u> <u>42.9</u>	<u>3</u> <u>42.9</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>14.3</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ブラジル	6 100.0	<u>3</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>3</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ネパール	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>25.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>2</u> <u>50.0</u>	<u>1</u> <u>25.0</u>	0 0.0
台湾	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>2</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	15 100.0	<u>6</u> <u>40.0</u>	0 0.0	2 13.3	0 0.0	0 0.0	1 6.7	1 6.7	<u>5</u> <u>33.3</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※二重下線・・・各世代で最も多い資格、下線・・・各世代で二番目に多い資格

5. 生活上での主要な使用言語

生活上での主要な使用言語では、「日本語」が 65.1%と最も多く、次いで「中国語」が 12.3%、「英語」が 8.5%となっている。

図 I-6. 生活上での主要な使用言語



その他の回答

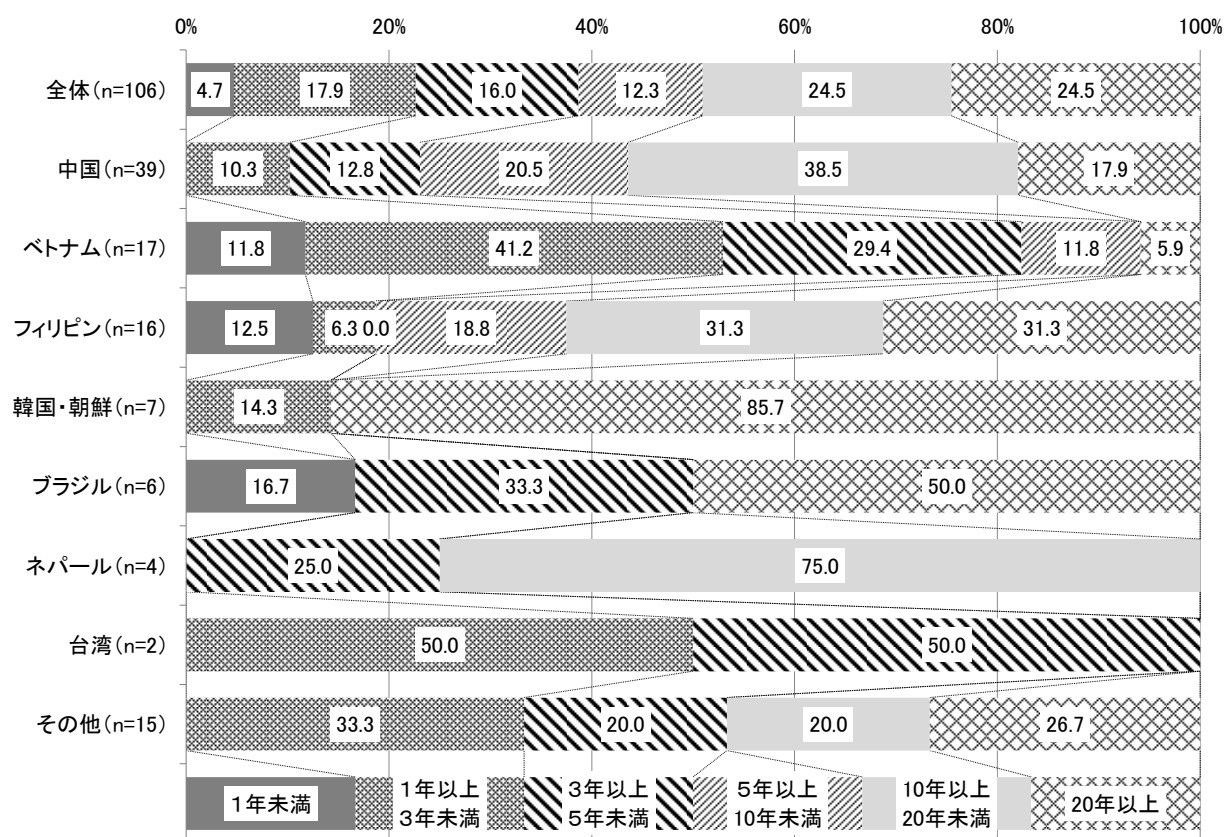
●ミャンマー語。

6. 日本での居住期間

全体では、「10 年以上 20 年未満」と「20 年以上」がともに 24.5%と多く、次いで「1年以上3年未満」が 17.9%となっている。

国籍別で見ると、中国は「10 年以上 20 年未満」が 38.5%、ベトナムは「1年以上3年未満」が 41.2%、フィリピンは「10 年以上 20 年未満」と「20 年以上」がともに 31.3%、韓国・朝鮮は「20 年以上」が 85.7%で、それぞれ最も多くなっている。

図 I-7. 日本での居住期間(国籍別)

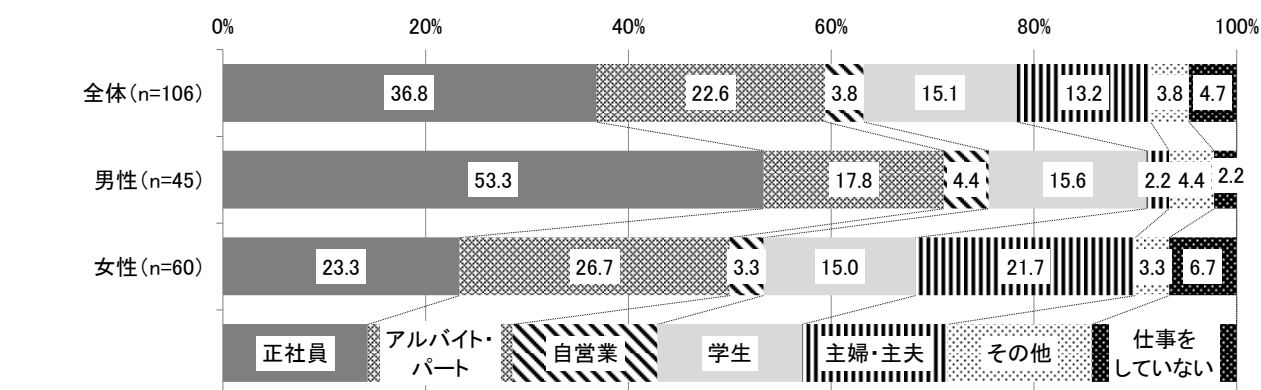


7. 職業

全体では、「正社員」が 36.8%と最も多く、次いで「アルバイト・パート」が 22.6%、「学生」が15.1%となっている。

男女別で見ると、「正社員」では、男性((53.3%)が女性(23.3%)よりも 30.0 ポイント上回っている。

図 I-8. 職業(性別)



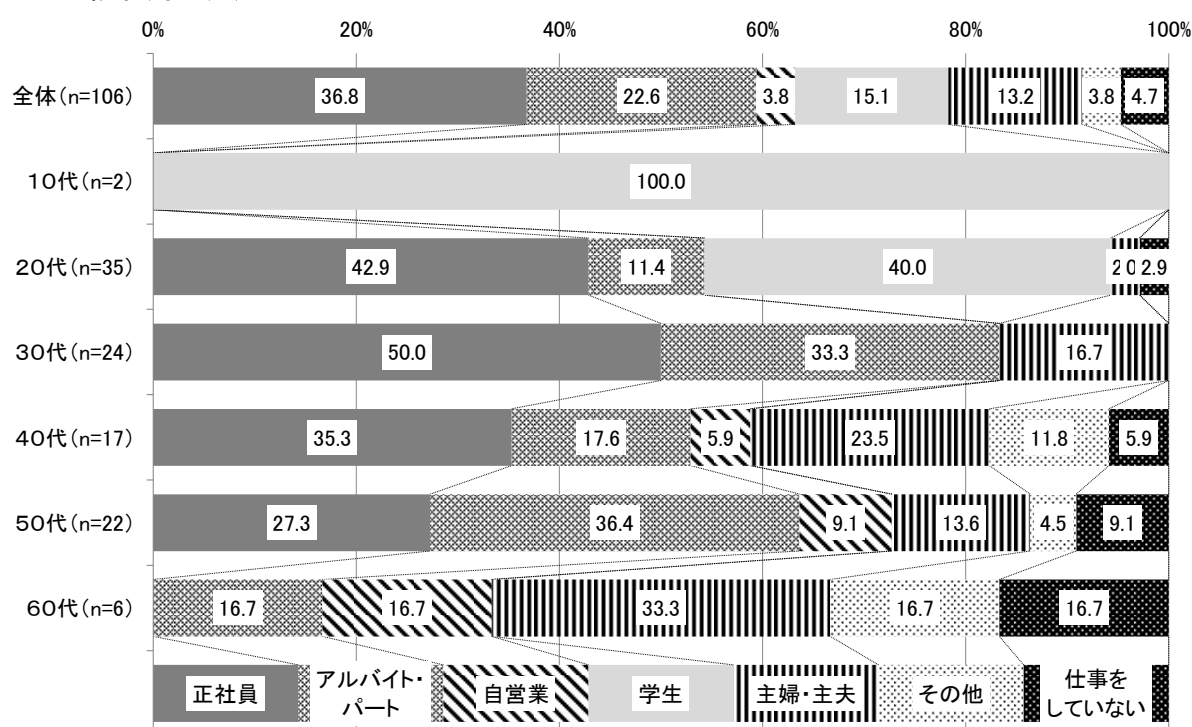
その他の回答

●派遣社員。(3件)

●料理師。

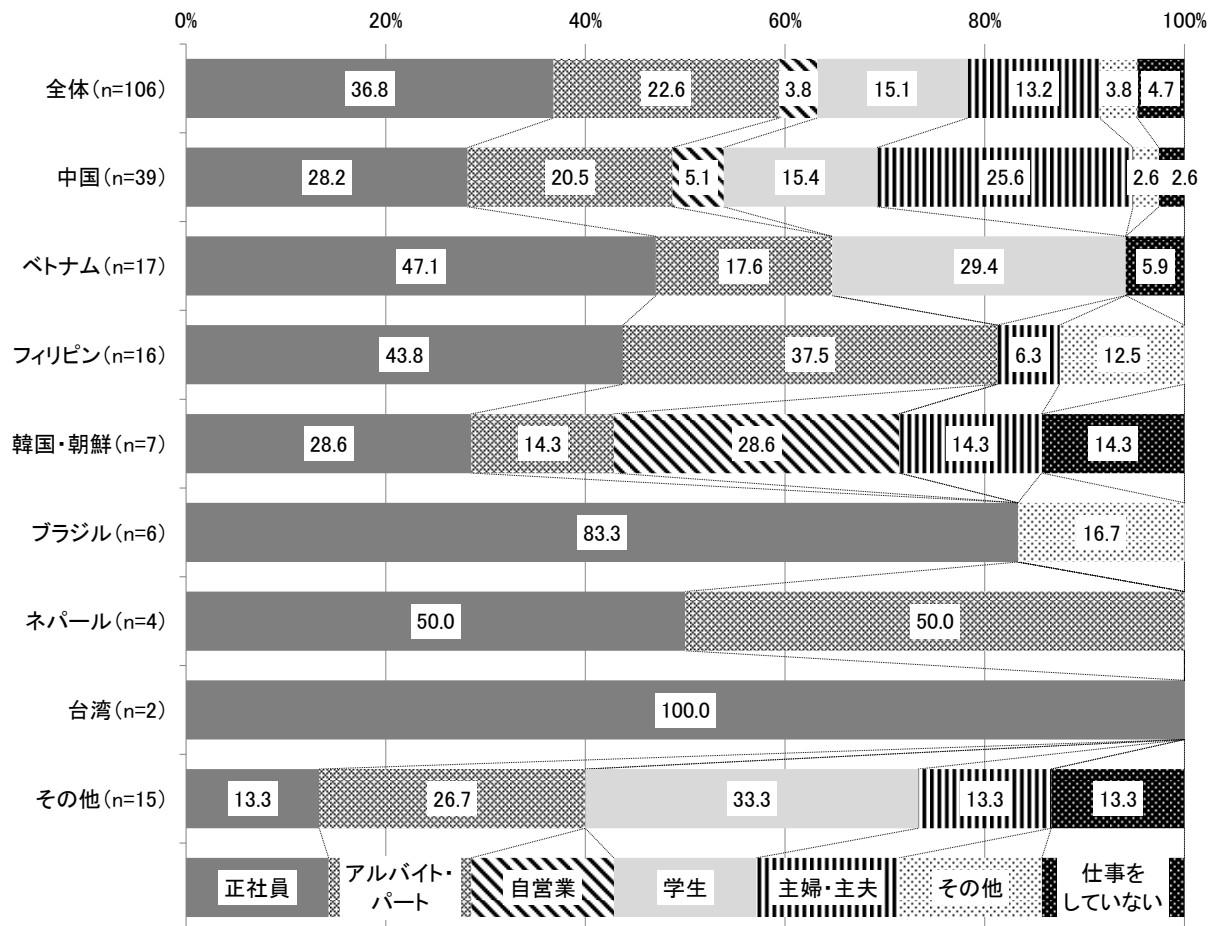
年代別で見ると、20代から40代までは「正社員」が最も多く、次いで多いのは、20代では「学生」、30代では「アルバイト・パート」、40代では「主婦・主夫」となっている。

図 I-9. 職業(年代別)



国籍別で見ると、いずれの国も「正社員」が最も多くなっている。(韓国・朝鮮は「自営業」、ネパールは「アルバイト・パート」が「正社員」と同率で1位)

図 I-10. 職業(国籍別)

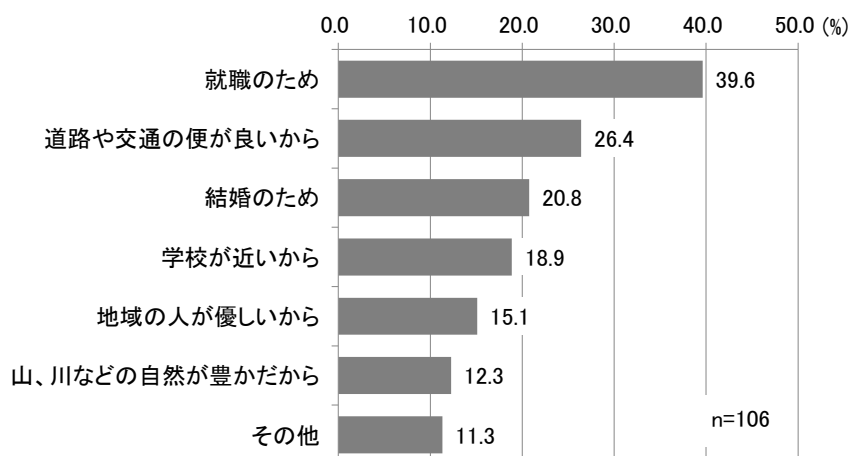


Ⅱ. 日常生活について

1. 埼玉県に住む理由

埼玉県に住む理由では、「就職のため」が 39.6%と最も多く、次いで「道路や交通の便が良いから」が 26.4%、「結婚のため」が 20.8%となっている。

図Ⅱ-1. 埼玉県に住む理由(3つまで)



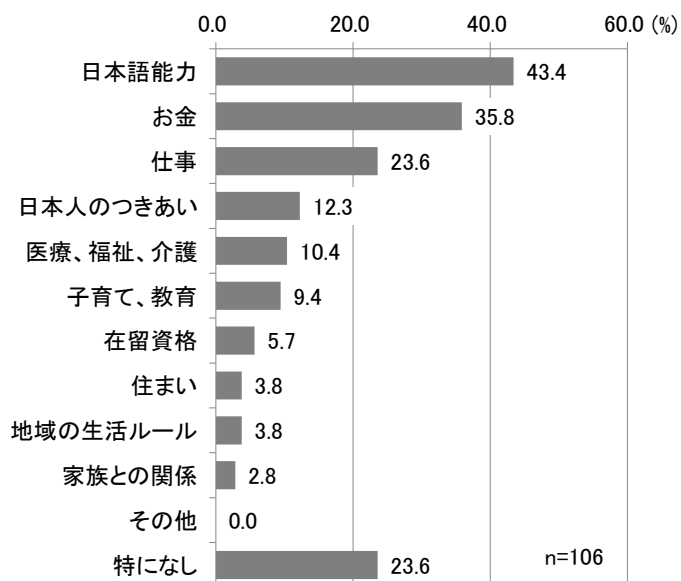
その他の回答

- 親の代から住んでいます。
- Saitama is safe and convenient. It's a good place to live for people work at Tokyo. We used to live in Omiya and now we live in Kawagoe. It's because the rent is cheaper here so that we can save more money to build a better life in the nearly future. We are happy live in Saitama.
(埼玉は安全で便利で、東京で働く人々にとって住みやすい場所です。以前は大宮に住んでいましたが、現在は川越に住んでいます。家賃が安いので、より多くのお金を節約してより良い生活を築くことができます。近い将来、埼玉でのライブを楽しんでいます。)
- 旦那の仕事のため。
- 生まれた場所が埼玉だから。
- Rent is affordable. (家賃は手頃です。)
- 社宅から出た時、条件に合う物件がここしかなかった。
- 結婚して子供がいるから。
- 家族と一緒に生活するために。
- 家賃が安い。

2. 生活の中で特に困っていること

生活の中で特に困っていることでは、「日本語能力」が 43.4%と最も多く、次いで「お金」が 35.8%、「仕事」が 23.6%となっている。

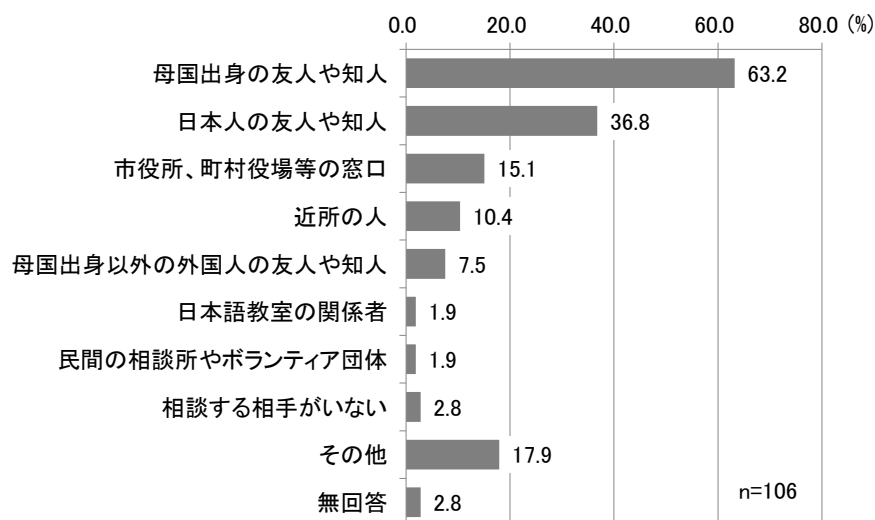
図Ⅱ-2. 生活の中で特に困っていること(3つまで)



3. 日常生活で困った時の相談先

日常生活で困った時の相談先では、「母国出身の友人や知人」が 63.2%と最も多く、次いで「日本人の友人や知人」が 36.8%、「市役所、町村役場等の窓口」が 15.1%となっている。

図Ⅱ-3. 日常生活で困った時の相談先(3つまで)



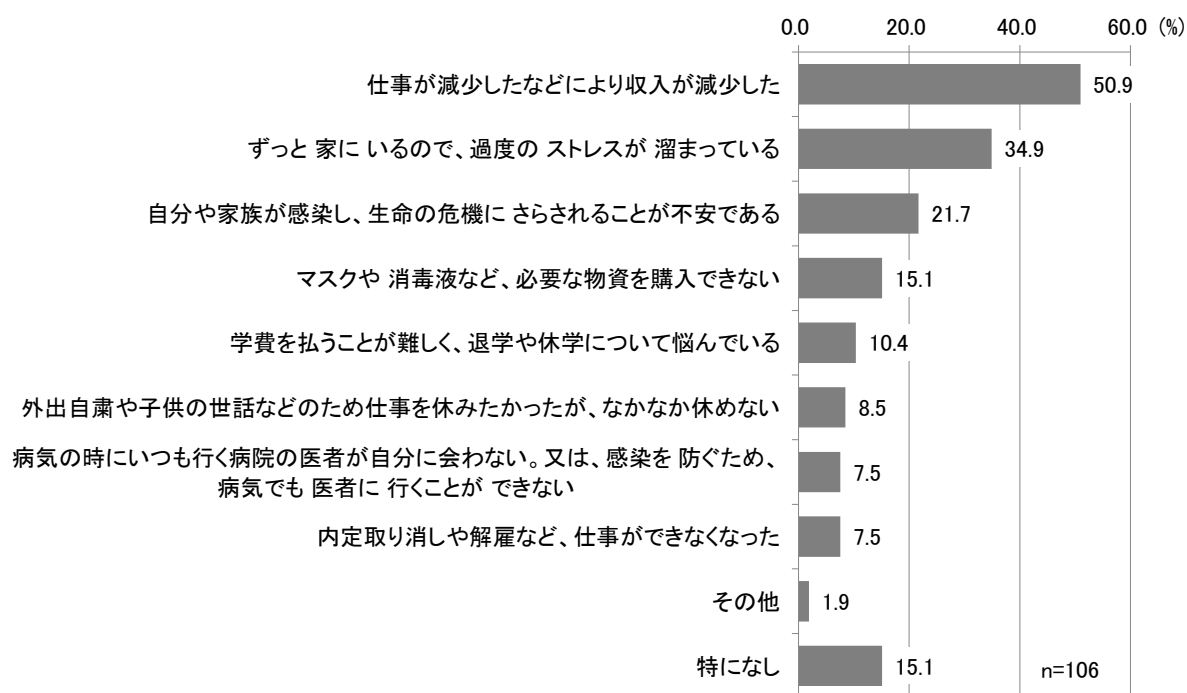
その他回答

- 家族・family・Người thân trong gia đình. (6件)
- 夫。(5件)
- With my wife. (妻) (2件)
- My University's Student Support Office. (私の大学の学生サポートオフィス)
- Nghiep đoàn. (協同組合。)
- 旦那と子供。
- 娘や息子。
- 上司、通訳者。

4. 新型コロナウイルス感染症により 困ったこと

「仕事が減少したなどにより収入が減少した」が 50.9%と最も多く、次いで「ずっと家にいるので、過度のストレスが溜まっている」が 34.9%、「自分や家族が感染し、生命の危機にさらされることが不安である」が 21.7%となっている。また、困ったことは「特になし」という人は 15.1%となっている。

図Ⅱ-4. 新型コロナウイルス感染症により困ったこと(3つまで)



その他回答

- 因为航班减少买不到票不能回国探亲办事。（フライト数が少ないため、帰国して親戚を訪ねることができない。）
- Unable to visit family members in the UK for a long time.（英国の家族を長期間訪問することができない。）

Ⅲ. 日本語について

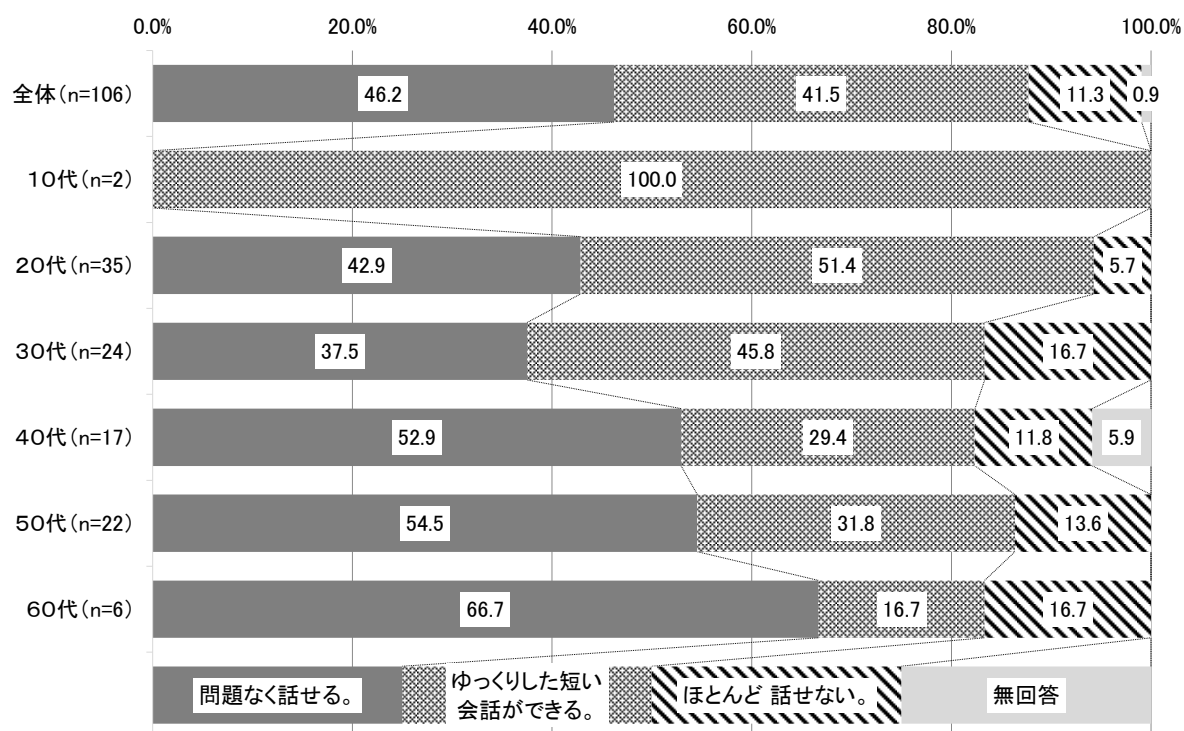
1. 日本語の運用能力

◆話す

全体では、「問題なく話せる(46.2%)」、「ゆっくりした短い会話ができる(41.5%)」を合わせた『話せる』が87.7%となっている。「ほとんど話せない」は1割(11.3%)である。

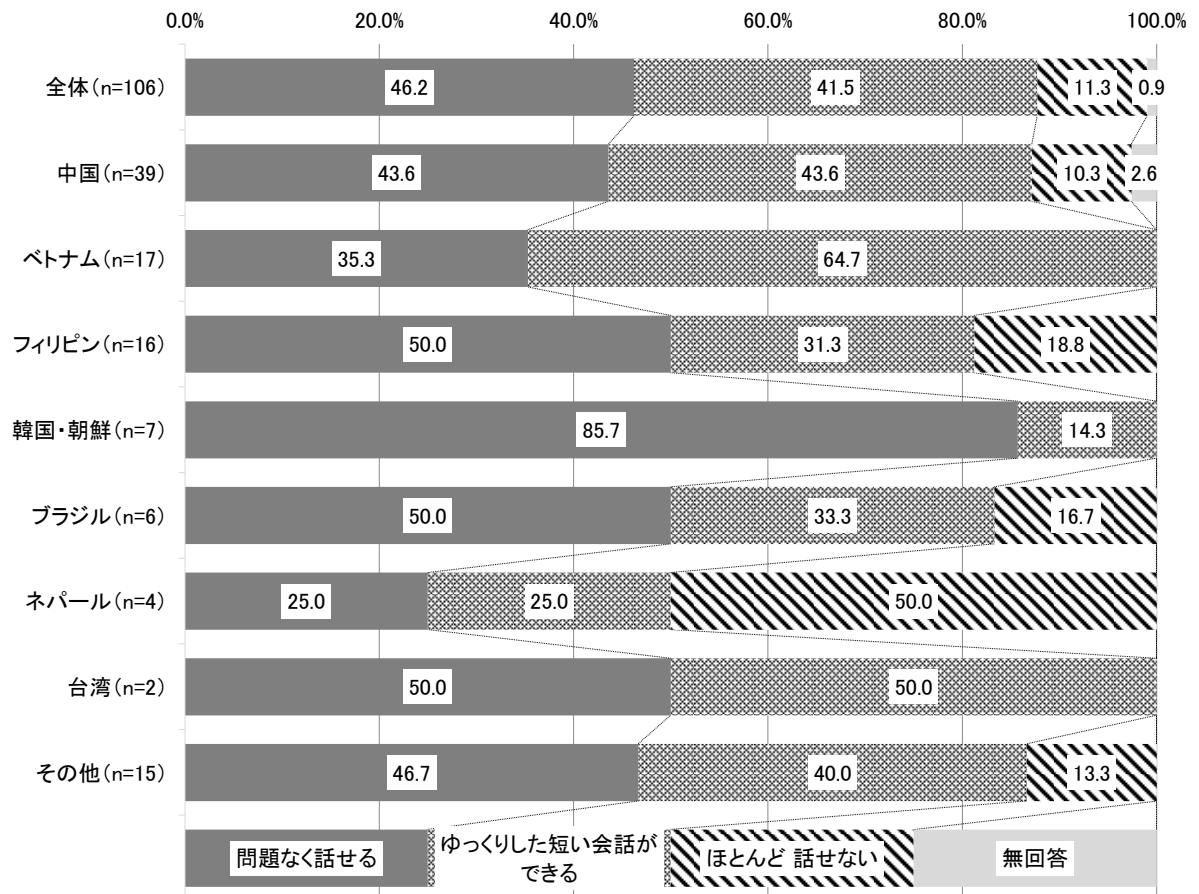
年代別で見ると、『話せる』は、すべての年代において8割を超えている。また、『話せる』の中でも「問題なく話せる」の割合は、年代とともに高まる傾向にあるが、30代と60代では「ほとんど話せない」がともに16.7%と他の年代よりも多くなっている。

図Ⅲ-1. 日本語の運用能力「話す」(年代別)



国籍別で見ると、韓国・朝鮮、ベトナム、台湾は『話せる』が 100%に対し、ネパールは「ほとんど話せない」が 50.0%と多くなっている。

図Ⅲ-2. 日本語の運用能力「話す」(国籍別)

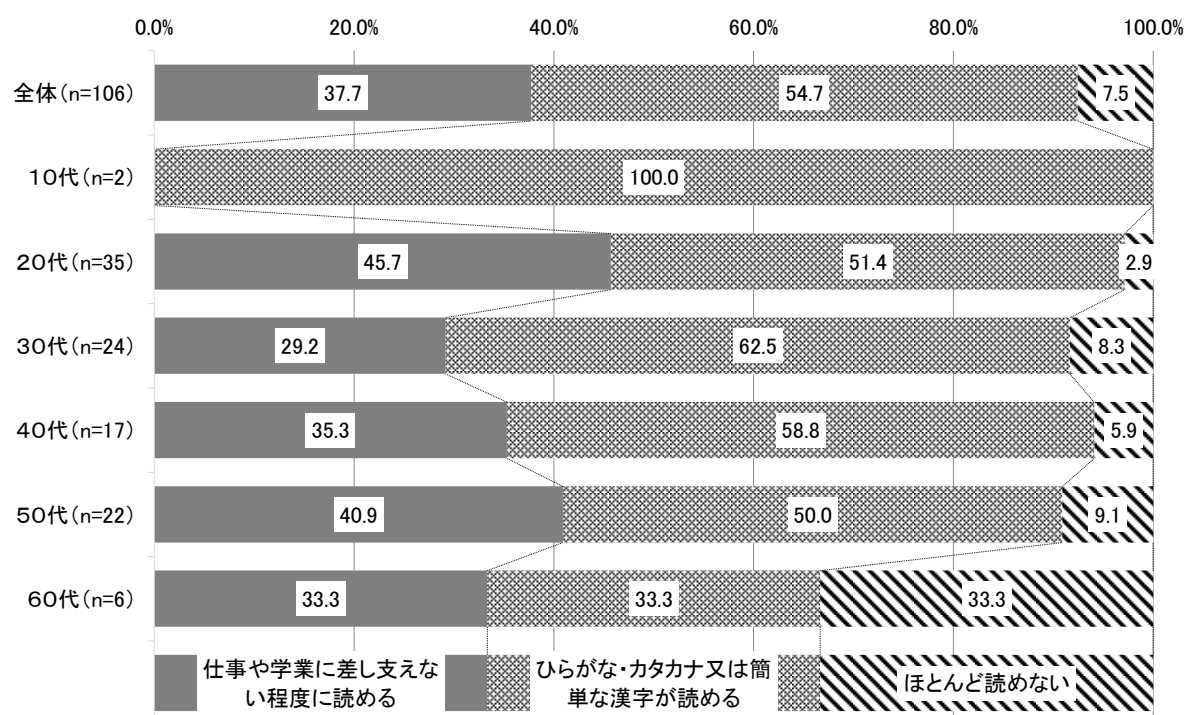


◆読む

全体では、「仕事や学業に差し支えない程度に読める(37.7%)」「ひらがな・カタカナ又は簡単な漢字が読める(54.7%)」を合わせた『読める』が 92.4%と、9割以上の人が『読める』と回答している。「ほとんど読めない」は7.5%である。

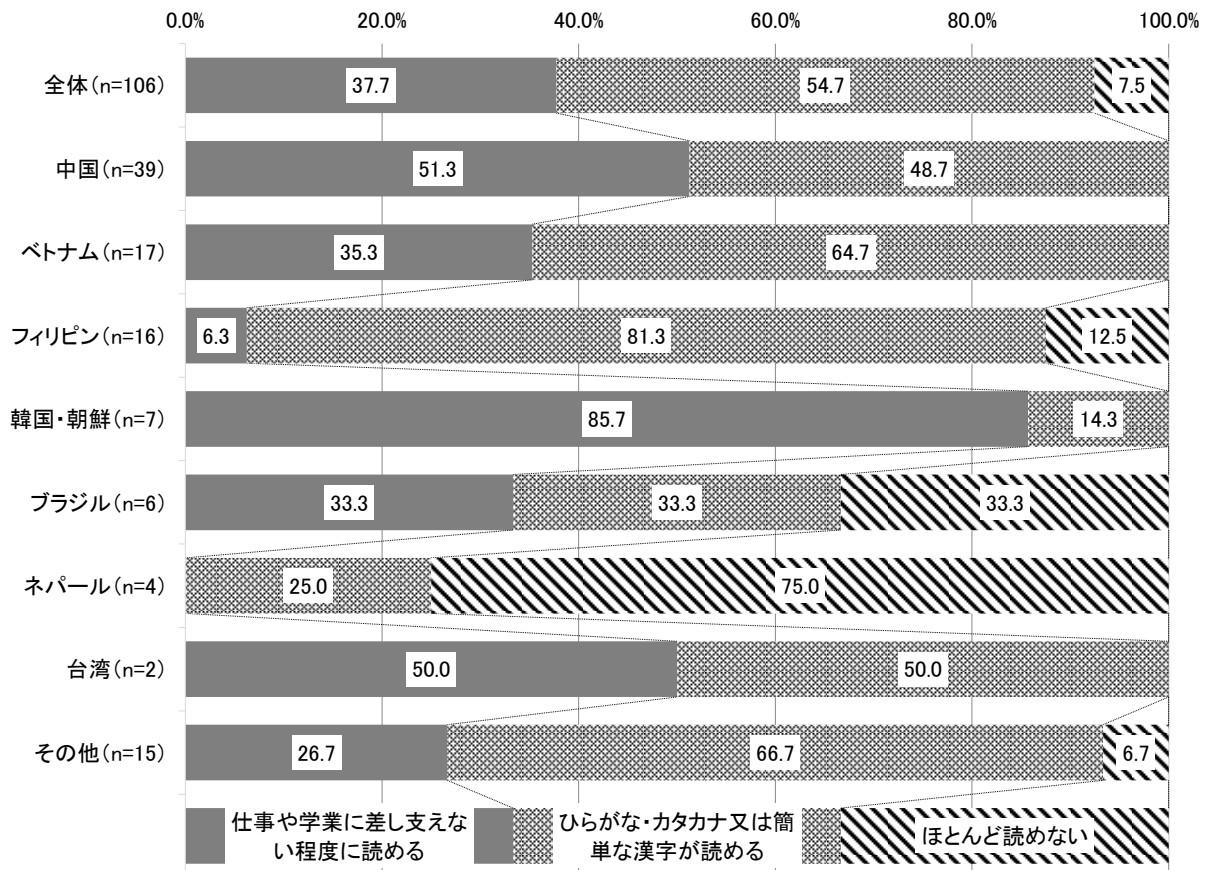
年代別で見ると、『読める』は10代から50代まで9割を超えているが、60代では6割台で、「ほとんど読めない」が3割台となっている。

図Ⅲ-3. 日本語の運用能力「読む」(年代別)



国籍別で見ると、中国、ベトナム、韓国・朝鮮、台湾では『読める』が 100.0%となっている。フィリピンも 87.6%が『読める』と回答しているが、ブラジルは 66.6%、ネパールは 25.0%に留まっており、「ほとんど読めない」がブラジルで 33.3%、ネパールでは 75.0%に達している。

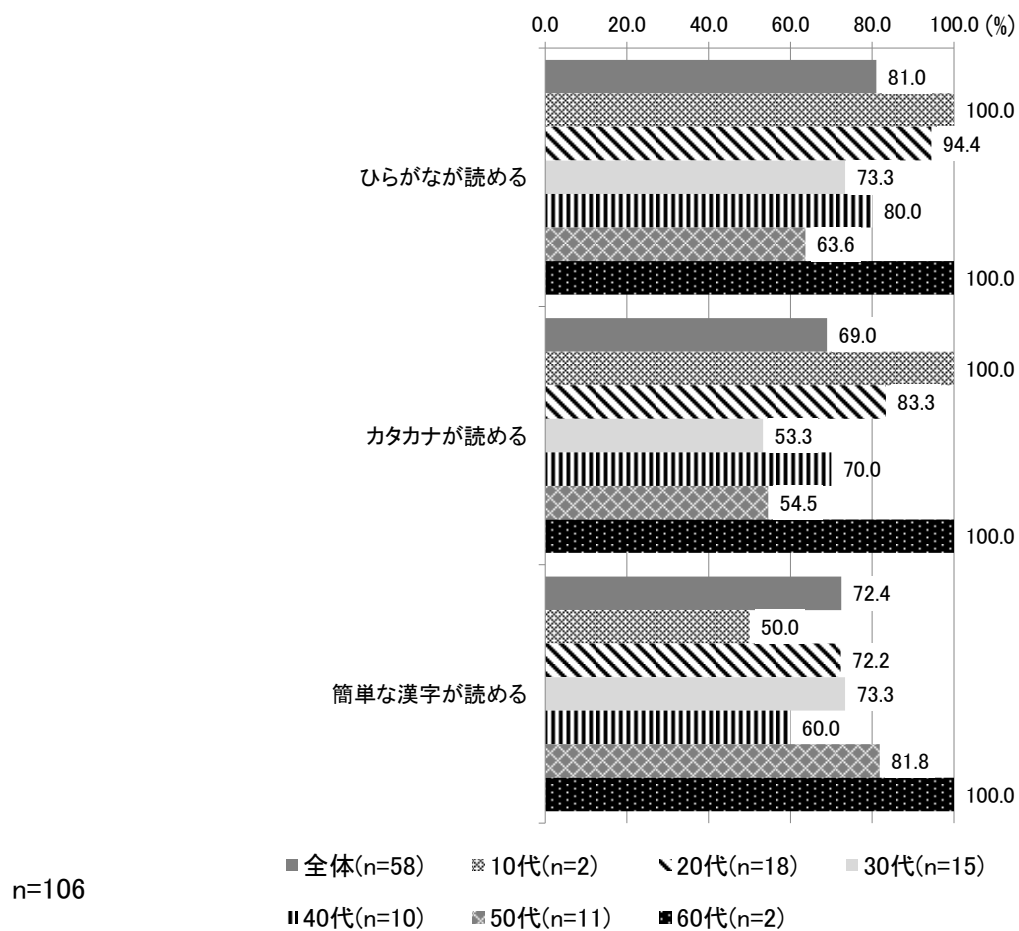
図Ⅲ-4. 日本語の運用能力「読む」(国籍別)



日本語の運用能力「読める文字の種類」では、ひらがなが 81.0%、カタカナが 69.0%、簡単な漢字が 72.4%と、読める人の割合はカタカナが最も低くなっている。

年代別に見ると、20代から50代までの間で、ひらがなとカタカナが読めるのは若い年代ほど多く、漢字が読めるのは年代とともに多くなる傾向にある。

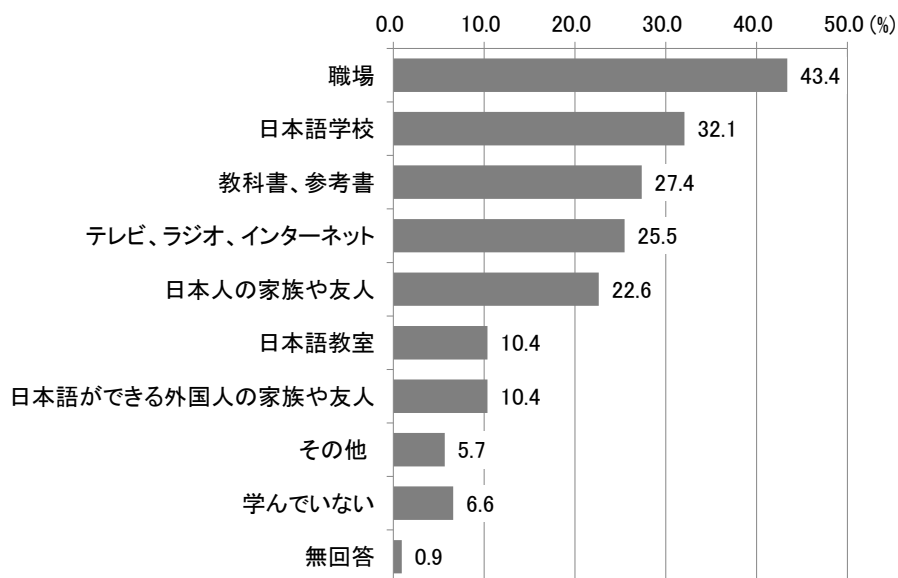
図Ⅲ-5. 日本語の運用能力「読める文字の種類」(年代別、複数回答)



2. 日本語の学習方法

日本語の学習方法では、「職場」が43.4%と最も多く、次いで「日本語学校」が32.1%、「教科書、参考書」が27.4%となっている。

図Ⅲ-6. 日本語の学習方法(3つまで)



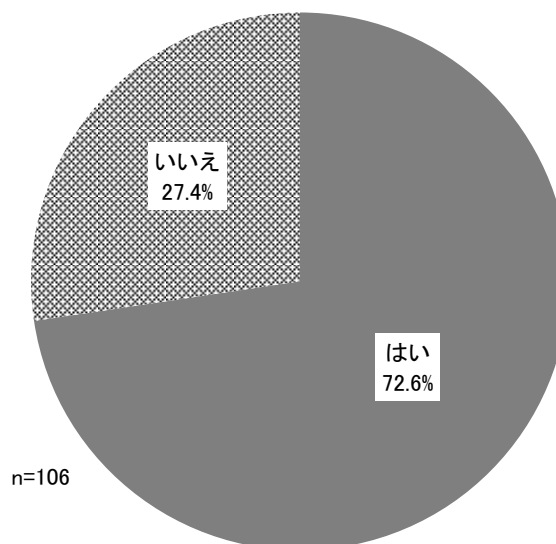
その他の回答

- 大学。(3件)
- Translate apps.(アプリを翻訳する。)
- 小中高で学んだ。
- University's mandatory Basic Japanese Classes.(大学の必須の基礎日本語クラス)

3. 日本語の学習意向及びその理由

日本語の学習意向では、「はい(学びたい)」が 72.6%、「いいえ(学びたくない)」が 27.4%と、7割を超える人が日本語を学びたいと回答している。

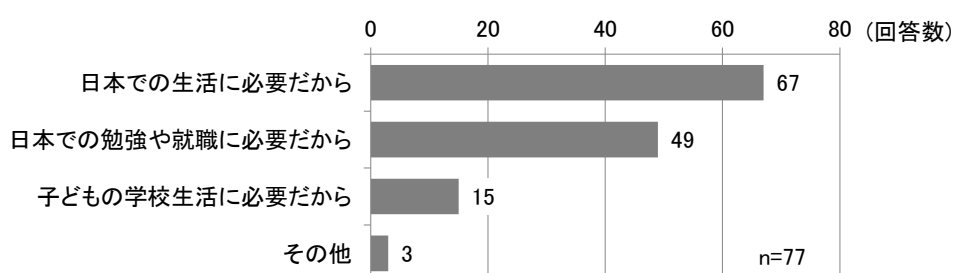
図Ⅲ-7. 日本語の学習意向



◆日本語の学習意向で学びたいと回答した人

学びたいと回答した人の理由では、「日本での生活に必要だから」が 77 件中 67 件と多く、次いで「日本での勉強や就職に必要だから」が 49 件、「子どもの学校生活に必要だから」が 15 件となっている。

図Ⅲ-8. 学びたい場合の理由(3つまで)



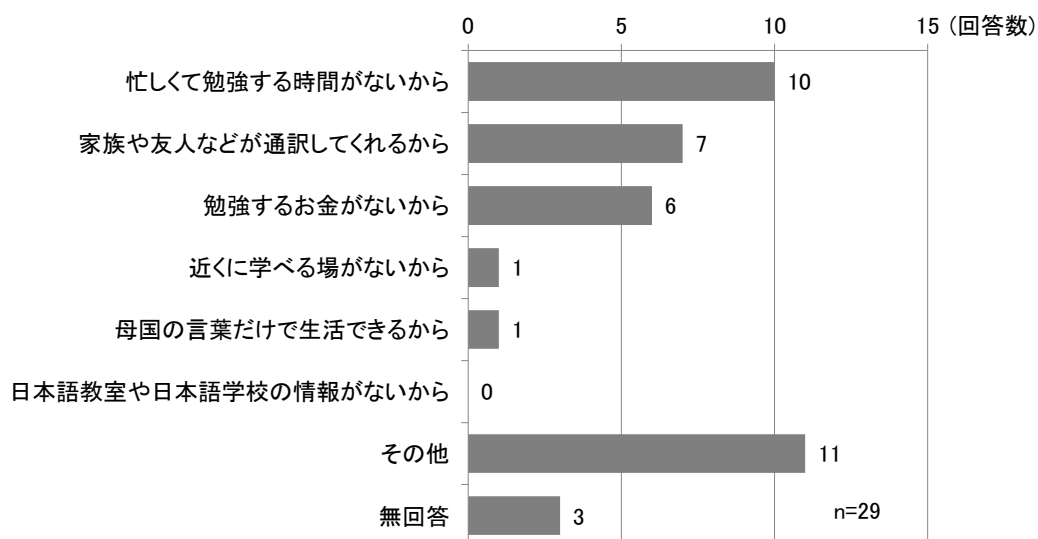
その他の回答

- Because I Very like the japanese cultura and I love Japan, my acestral os japanese people.(私は日本の文化がとても好きで、日本が大好きなので、私のアセストラルは日本人です。)
- I want to learn more about Japanese culture.(日本の文化についてもっと知りたいです。)
- 興味があるから。

◆日本語の学習意向で学びたくないと回答した人

学びたくないと回答した人の理由では、「忙しくて勉強する時間がないから」が 29 件中 10 件と多く、次いで「家族や友人などが通訳してくれるから」が7件、「勉強するお金がないから」が6件となっている。

図Ⅲ-9. 学びたくない場合の理由(3つまで)



その他の理由

- 必要と思わない為。(2件)
- 特に困っていない。
- 日本で産まれて、読み書きはほとんど出来るので学ぶ必要がないです。
- 日本は完璧。
- 生まれた時から日本語で生活しているので困る時は無いです。
- 日本語は母国語と同じぐらいの程度で使いこなせるため。
- I can manage Japanese language myself. (日本語は自分でなんとかできます。)
- 自学できるから。

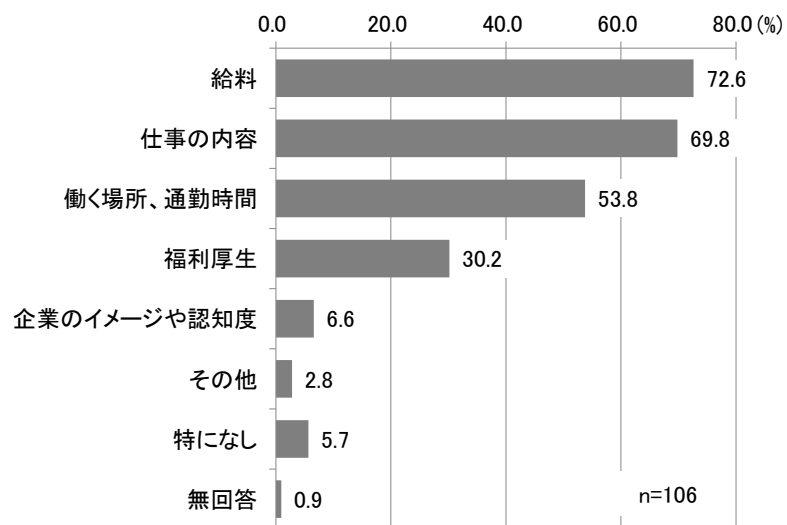
IV. 県や市町村への要望について

①仕事について

1. 仕事を決めるときに大事にすること

仕事を決めるときに大事にすることでは、「給料」が72.6%と最も多く、次いで「仕事の内容」が69.8%、「働く場所、通勤時間」が53.8%となっている。

図IV-1. 仕事を決めるときに大事にすること(3つまで)



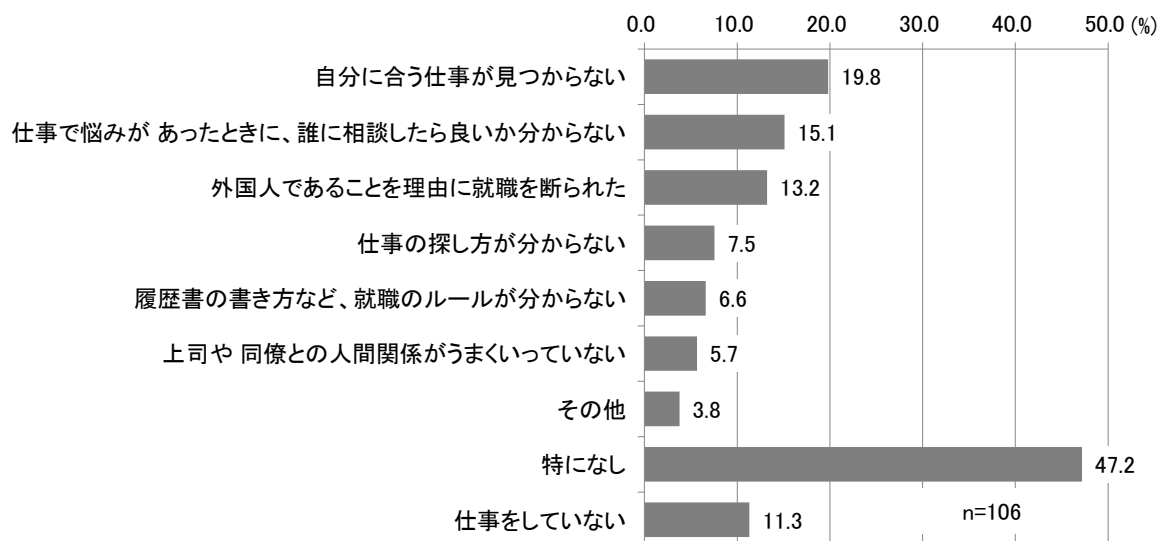
その他の回答

- エージェントに従って。

2. 仕事で困っていること

仕事で困っていることでは、「自分に合う仕事が見つからない」が 19.8%と最も多く、次いで「仕事で悩みがあったときに、誰に相談したら良いか分からない」が 15.1%、「外国人であることを理由に就職を断られた」が 13.2%となっている。また、「特になし」が 47.2%となっている。

図Ⅳ-2. 仕事で困っていること(3つまで)



その他の回答

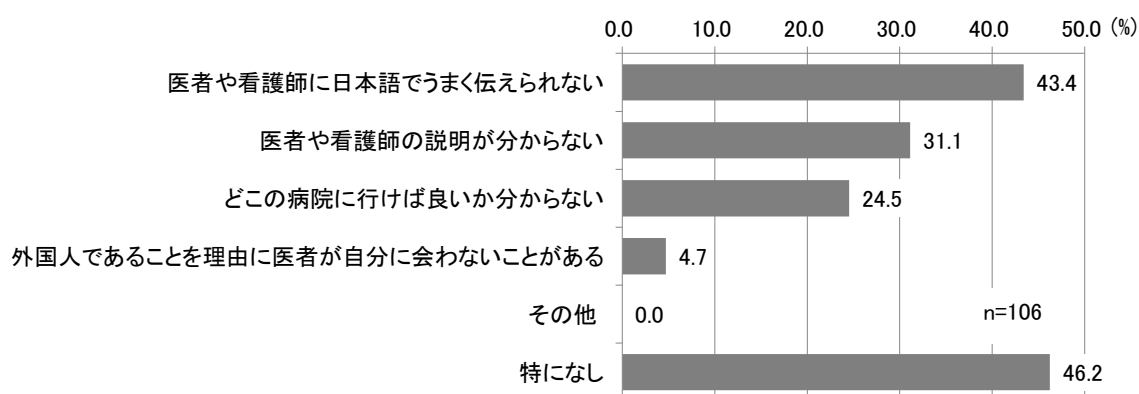
- 日本語能力。
- 外国人の差別。
- Most jobs require more than conversational Japanese. (ほとんどの仕事は会話する以上の日本語を必要とします。)

②医療について

1. 診察時に困っていること

診察時に困っていることでは、「医者や看護師に日本語でうまく伝えられない」が 43.4%と最も多く、次いで「医者や看護師の説明が分からない」が 31.1%、「どこの病院に行けば良いか分からない」が 24.5%となっている。また、「特になし」が 46.2%となっている。

図Ⅳ-3. 診察時に困っていること(3つまで)

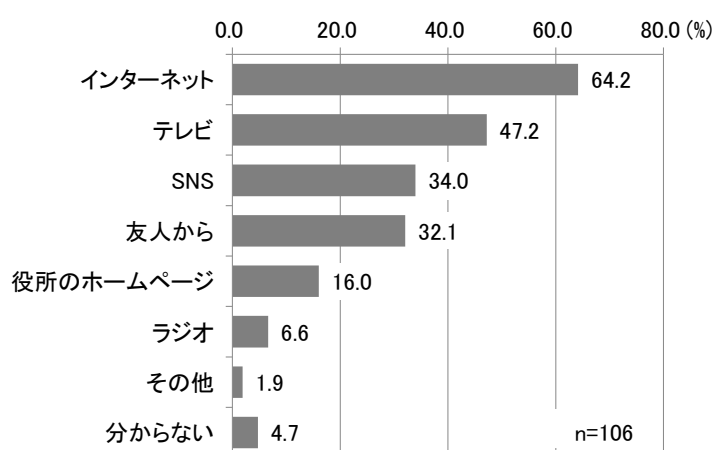


③防災・災害について

1. 災害時の情報の入手先

災害時の情報の入手先では、「インターネット」が 64.2%と最も多く、次いで「テレビ」が 47.2%、「SNS」が 34.0%となっている。

図Ⅳ-4. 災害時の情報の入手先(3つまで)



その他の回答

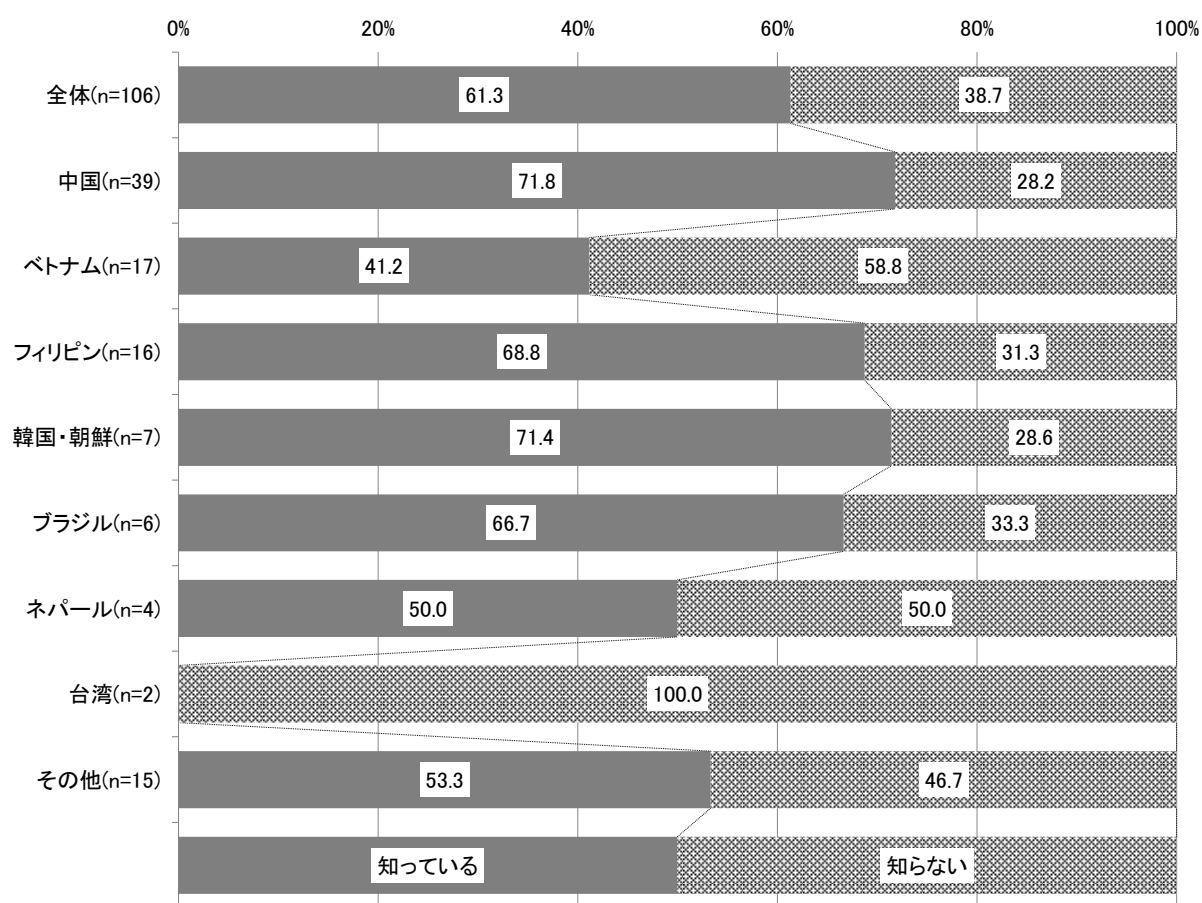
- 家族。
- 市の連絡により。

2. 災害時の避難場所の認知度

全体では、避難場所を「知っている」は61.3%と6割を超えているが、4割弱(38.7%)の人は「知らない」と回答している。

国籍別で見ると、中国、フィリピン、韓国・朝鮮、ブラジルは7割前後の人が「知っている」と回答しているが、ベトナムは6割近く(58.8%)の人が「知らない」と回答している。

図IV-5. 災害時の避難場所の認知度(国籍別)

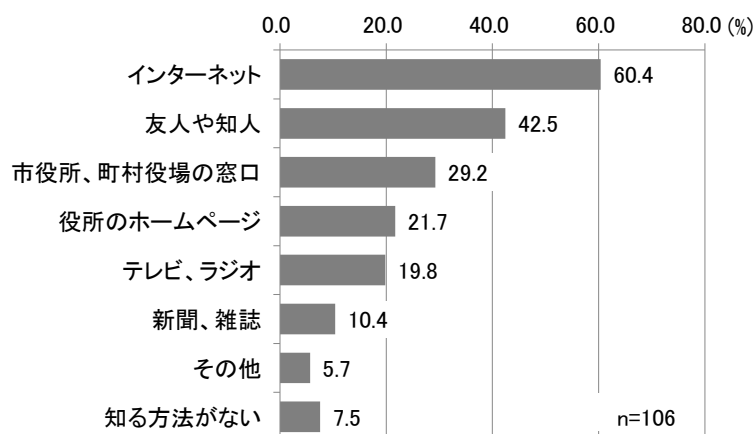


④その他

1. 生活情報の入手先

生活情報の入手先では、「インターネット」が60.4%と最も多く、次いで「友人や知人」が42.5%、「市役所、町村役場の窓口」が29.2%となっている。

図Ⅳ-6. 生活情報の入手先(3つまで)



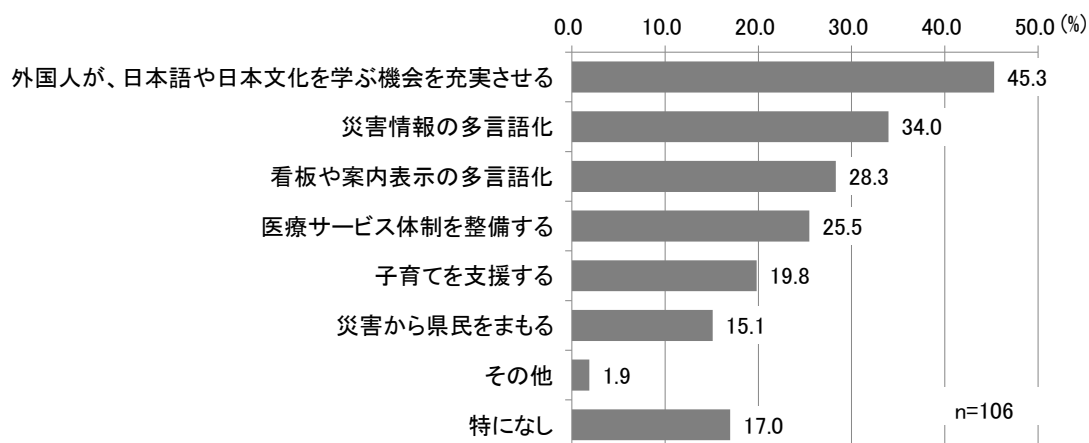
その他の回答

- 家族。(2件)
- Learn from monthly area news magazine, very useful information. (月刊エリアニュースマガジンから学ぶ。とても役立つ情報。)
- 奥さん。
- 市の連絡。
- My University's pamphlet. (私の大学のパンフレット。)

2. 県への要望

県への要望では、「外国人が、日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる」が 45.3%と最も多く、次いで「災害情報の多言語化」が 34.0%、「看板や案内表示の多言語化」が 28.3%となっている。

図IV-7. 生活情報の入手先(3つまで)



その他の回答

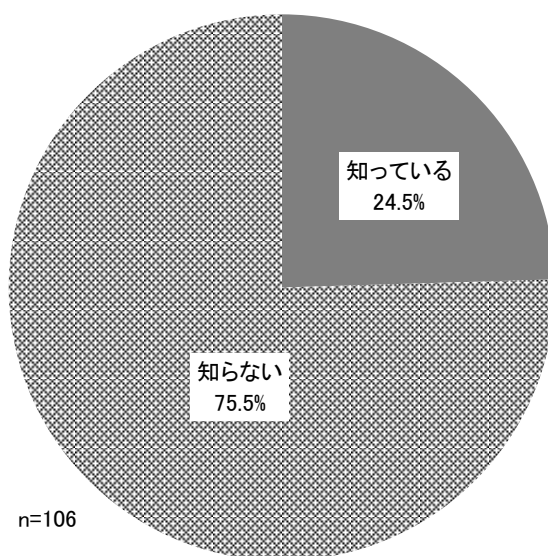
- 多建写娱乐文化的地方.(エンターテインメントと文化について書く場所を増やす。)
- 高校、大学の学費の支援をする。

V. その他

1. 「外国人総合相談センター埼玉」の認知度

「外国人総合相談センター埼玉」の認知度では、「知っている」が 24.5%、「知らない」が 75.5%となっている。

図 V-1. 「外国人総合相談センター埼玉」の認知度



2. 今後の県の取組に対する主な意見、要望

記述	性別	年代	国籍
祖父、母の代から日本に住んでいる在日2世です。民族教育の学校(小・中・高校)で言葉や日本の常識を学びましたので不自由はありません。国籍の問題で差別を受けた事があります。子供もいますが、本名で昔とかわらず偏見的な差別がまだ多く存在します。これから年金生活になりますが、会社に就職するのに難しい時代でしたので、国民年金で将来の不安があります。県職員の方も外国人に対する勉強をしていただければと思います。このような機会を頂きありがとうございました。	男性	50 代	韓国・朝鮮
Tôi có một nguyện vọng là du học sinh được miễn giảm thuế. Như là thuế thị dân. Lương hưu. Bảo hiểm y tế. (留学生については市民税、年金、健康保険等を非課税にして欲しい。)	男性	20 代	ベトナム
病院に行って、医療人員の説明がわからない場合が多い。医療機関に対して、多言語の対応、翻訳できる人をお願いしたいです。そして外国人に向け、仕事を探す方法を増やすことをお願いしたいです。以上。	男性	40 代	中国
I am happy live in Japan. (日本に住んで幸せです。)	女性	30 代	ネパール
Thank you so much for your handwork. Everyone is doing very well. Please keep it up. I only wish Corona Verus gone very soon. (手仕事ありがとうございます。みんな元気です。続けてください。コロナウィルスがすぐになくなることを願っています。)	女性	30 代	中国
Provide suitable arena classes centers for foreigners who are willing to learn Japanese. (日本語を学びたい外国人のために、適切なアリーナクラスセンターを提供してください。)	男性	30 代	その他
税金が安くなれば、大変助かります。	男性	20 代	中国
保育園に入りにくいです。	女性	30 代	中国
払っていない税金を減らしてもらいたい。	男性	50 代	フィリピン
子ども、病、仕事できない。お金足りない。	男性	50 代	中国
多多发展日语教学, (日本語教育をたくさん発展させてください。)	女性	30 代	中国
I just want an english translations of kanji from the hospitals, work, city office etc. (病院、職場、市役所等では英語の翻訳が欲しい。)	女性	50 代	フィリピン
日常生活のルール(ゴミの出し方や、自転車のルールなど)をきちんと教育して、地域の人々に迷惑をかけないようにしてほしい。日本で生活するルールを教えてほしい。	男性	60 代	その他
I want the same services as Japanese. (日本人と同じサービスが欲しい。)	男性	20 代	ネパール
私たちの生活がどんどん良くなることを願っています。	男性	50 代	中国
私たちの生活がどんどん良くなることを願っています。	女性	50 代	中国

記述	性別	年代	国籍
希望有外国人集合的沟通会。希望川越市能够多增加一些娱乐文化的地方，多造些商场。希望能够有给予外国人的优待福利～（外国人が集まるコミュニケーションミーティングがあることを願っています。川越市が娯楽や文化の場を増やし、ショッピングモールを増やしてくれることを願っています。外国人に特別なメリットがあることを願っています。）	女性	20 代	中国
さいたま市のヤクザより厳しい税金の取り立てをやめさせて！子供の学校へ払うお金も取られてしまう。とてもきびしい！	女性	30 代	フィリピン
日本は、そこに住む人々の生活の向上を常に追求している素晴らしい国ですので、今後も日本人や外国人のことを気にかけていただきたいと思います。	男性	30 代	ブラジル
I have not any more comments is good to live here government service is good local people are not cooperative and not helpful they complain normal things to police. phone internet and gas is expensive comparatively sometimes they dominate to us but we can't do anything because of we are foreigners and can't say to police due to lake of flute language barrier.at the end is good. Thank you head of the office.（私はこれ以上コメントはありません。ここに住むのは良いです。政府のサービスは良いです。地元の人々は協力的ではなく、助けにはなりません。彼らは通常のことと警察に不平を言います。電話インターネットとガスは比較的高いのです。彼らは私たちを支配することがありますが、私たちは何もできません。私たちは外国人で、フルートの言語の壁の湖のために（流ちょうな会話ができないため）警察に言うことができません。最後に良いです。事務局長ありがとうございます。）	男性	40 代	ネパール
それは、日本に住んでいるのが好きで、より多くの外国人を心配フレンドリーな人々と調和のとれた生活は、希望が維持されてきました。	女性	50 代	中国
税金を無駄に使わないように。税金を少し安くして欲しい。	女性	50 代	フィリピン
外国人が住宅を組みやすいように。	女性	30 代	中国
特にはありませんが、ただわたしは家族と皆で埼玉県にずっと住んでいて本当に良かったと思う。何より埼玉県はいい所です。	女性	60 代	フィリピン
川越祭りは年1回がちょっと少ないですね！？少し増やしてほしいです！年2回くらいかな～川越祭りって言う文化はもっと全国に宣伝すべきじゃないでしょうか！？今年、コロナのせいで、今月の川越祭りは中止となり、残念ですね！来年は、楽しみにしています！よろしくお願いします！	男性	20 代	台湾
Long term visa for technical intern trainee's. (技能実習生の長期ビザ)。	男性	20 代	フィリピン
今後、コロナのような災害が起きた時、マスクなどの配布支援をお願いします。	男性	20 代	中国
I really appreciate the government caring about foreigners living in Japan. I wish to work here after graduating. I would like to see support for job hunting that is friendly for foreigners. (日本に住む外国人を気にかけてくれる役所に本当に感謝します。卒業したら日本で働きたいので外国人向けの就職支援をして欲しい。)	女性	20 代	その他

記述	性別	年代	国籍
引き続き、地元(川越市)に何らかの微小な自分なりの力で貢献いたします。	男性	40 代	中国
外国人交流の場を増やすこと 外国人へ一方的な支援ではなく、外国人も国際交流に巻き込む、お互い勉強できるような体制が必要だと思います。	女性	40 代	中国

資 料 編

資料編

集計表

Q1 あなたの性別はどちらですか。(チェック☑は1つだけ)

		全 体	男 性	女 性	無 回 答
合計		106 100.0	45 42.5	60 56.6	1 0.9
性 別	男性	45 100.0	45 100.0	－ －	0 0.0
	女性	60 100.0	－ －	60 100.0	0 0.0
年 齢	10代	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
	20代	35 100.0	19 54.3	16 45.7	0 0.0
	30代	24 100.0	7 29.2	16 66.7	1 4.2
	40代	17 100.0	8 47.1	9 52.9	0 0.0
	50代	22 100.0	7 31.8	15 68.2	0 0.0
	60代	6 100.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0
国 籍	中国	39 100.0	16 41.0	23 59.0	0 0.0
	ベトナム	17 100.0	7 41.2	10 58.8	0 0.0
	フィリピン	16 100.0	5 31.3	10 62.5	1 6.3
	韓国・朝鮮	7 100.0	3 42.9	4 57.1	0 0.0
	ブラジル	6 100.0	5 83.3	1 16.7	0 0.0
	ネパール	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0
	台湾	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
	その他	15 100.0	6 40.0	9 60.0	0 0.0

Q2 あなたの年齢は次のどれですか。(チェック☑は1つだけ)

		全体	19歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳
合計		106 100.0	2 1.9	35 33.0	24 22.6	17 16.0	22 20.8	6 5.7	0 0.0
性別	男性	45 100.0	1 2.2	19 42.2	7 15.6	8 17.8	7 15.6	3 6.7	0 0.0
	女性	60 100.0	1 1.7	16 26.7	16 26.7	9 15.0	15 25.0	3 5.0	0 0.0
年齢	10代	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	35 100.0	0 0.0	35 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30代	24 100.0	0 0.0	0 0.0	24 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40代	17 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	17 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	50代	22 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	22 100.0	0 0.0	0 0.0
	60代	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0	0 0.0
国籍	中国	39 100.0	0 0.0	10 25.6	11 28.2	10 25.6	7 17.9	1 2.6	0 0.0
	ベトナム	17 100.0	0 0.0	13 76.5	4 23.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	フィリピン	16 100.0	0 0.0	4 25.0	3 18.8	2 12.5	5 31.3	2 12.5	0 0.0
	韓国・朝鮮	7 100.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	5 71.4	0 0.0	0 0.0
	ブラジル	6 100.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0
	ネパール	4 100.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	台湾	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	2 13.3	4 26.7	2 13.3	1 6.7	4 26.7	2 13.3	0 0.0

Q3 あなたの国籍は次のどれですか。(チェック☑は1つだけ)

		全体	中国	韓国・朝鮮	ベトナム	フィリピン	ブラジル	ネパール	台湾	その他
合計		106 100.0	39 36.8	7 6.6	17 16.0	16 15.1	6 5.7	4 3.8	2 1.9	15 14.2
性別	男性	45 100.0	16 35.6	3 6.7	7 15.6	5 11.1	5 11.1	2 4.4	1 2.2	6 13.3
	女性	60 100.0	23 38.3	4 6.7	10 16.7	10 16.7	1 1.7	2 3.3	1 1.7	9 15.0
年齢	10代	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
	20代	35 100.0	10 28.6	2 5.7	13 37.1	4 11.4	0 0.0	1 2.9	1 2.9	4 11.4
	30代	24 100.0	11 45.8	0 0.0	4 16.7	3 12.5	2 8.3	1 4.2	1 4.2	2 8.3
	40代	17 100.0	10 58.8	0 0.0	0 0.0	2 11.8	2 11.8	2 11.8	0 0.0	1 5.9
	50代	22 100.0	7 31.8	5 22.7	0 0.0	5 22.7	1 4.5	0 0.0	0 0.0	4 18.2
	60代	6 100.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3
国籍	中国	39 100.0	39 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ベトナム	17 100.0	0 0.0	0 0.0	17 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	フィリピン	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	韓国・朝鮮	7 100.0	0 0.0	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ブラジル	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ネパール	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0
	台湾	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
	その他	15 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 100.0

Q4 あなたの在留資格は次のどれですか。(チェック☐は1つだけ)

		全体	永住者	特別永住者	配偶者日本人等	配偶者永住者等	定住者	・技術・国際・業務・人文知識	技能実習	留学	家族滞在	特定活動	その他
合計		106 100.0	38 35.8	3 2.8	4 3.8	0 0.0	7 6.6	11 10.4	11 10.4	17 16.0	13 12.3	2 1.9	0 0.0
性別	男性	45 100.0	11 24.4	2 4.4	2 4.4	0 0.0	3 6.7	6 13.3	8 17.8	9 20.0	3 6.7	1 2.2	0 0.0
	女性	60 100.0	27 45.0	1 1.7	2 3.3	0 0.0	4 6.7	4 6.7	3 5.0	8 13.3	10 16.7	1 1.7	0 0.0
年齢	10代	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	35 100.0	2 5.7	1 2.9	0 0.0	0 0.0	2 5.7	2 5.7	10 28.6	15 42.9	2 5.7	1 2.9	0 0.0
	30代	24 100.0	4 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 12.5	8 33.3	1 4.2	0 0.0	8 33.3	0 0.0	0 0.0
	40代	17 100.0	10 58.8	0 0.0	2 11.8	0 0.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	3 17.6	1 5.9	0 0.0
	50代	22 100.0	19 86.4	2 9.1	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	60代	6 100.0	3 50.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
国籍	中国	39 100.0	15 38.5	0 0.0	2 5.1	0 0.0	1 2.6	4 10.3	2 5.1	6 15.4	9 23.1	0 0.0	0 0.0
	ベトナム	17 100.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	5 29.4	6 35.3	2 11.8	1 5.9	0 0.0
	フィリピン	16 100.0	10 62.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 12.5	1 6.3	3 18.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	韓国・朝鮮	7 100.0	3 42.9	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ブラジル	6 100.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ネパール	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0
	台湾	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	6 40.0	0 0.0	2 13.3	0 0.0	0 0.0	1 6.7	1 6.7	5 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

Q5 あなたは、生活の中で いつも どの言語を使っていますか。(チェック☑は1つだけ)

		全体	日本語	英語	中国語	韓国・朝鮮語	ポルトガル語	スペイン語	ベトナム語	タガログ語	その他
合計		106 100.0	69 65.1	9 8.5	13 12.3	0 0.0	3 2.8	1 0.9	7 6.6	3 2.8	1 0.9
性別	男性	45 100.0	30 66.7	3 6.7	4 8.9	0 0.0	3 6.7	0 0.0	2 4.4	2 4.4	1 2.2
	女性	60 100.0	39 65.0	5 8.3	9 15.0	0 0.0	0 0.0	1 1.7	5 8.3	1 1.7	0 0.0
年齢	10代	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	35 100.0	22 62.9	1 2.9	2 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 20.0	2 5.7	1 2.9
	30代	24 100.0	14 58.3	4 16.7	5 20.8	0 0.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40代	17 100.0	14 82.4	0 0.0	3 17.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	50代	22 100.0	15 68.2	2 9.1	3 13.6	0 0.0	1 4.5	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	60代	6 100.0	4 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0
国籍	中国	39 100.0	26 66.7	0 0.0	13 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ベトナム	17 100.0	10 58.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 41.2	0 0.0	0 0.0
	フィリピン	16 100.0	10 62.5	3 18.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 18.8	0 0.0
	韓国・朝鮮	7 100.0	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ブラジル	6 100.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ネパール	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	台湾	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	8 53.3	5 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7

Q7 あなたはどのくらい日本で生活していますか。(チェック☑は1つだけ)

		全 体	1 年 未 満	3 1 年 年 未 以 満 上	5 3 年 年 未 以 満 上	1 5 0 年 年 以 未 上 満	2 1 0 0 年 年 未 以 満 上	2 0 年 以 上
合計		106 100.0	5 4.7	19 17.9	17 16.0	13 12.3	26 24.5	26 24.5
性 別	男性	45 100.0	4 8.9	13 28.9	7 15.6	4 8.9	9 20.0	8 17.8
	女性	60 100.0	1 1.7	6 10.0	10 16.7	8 13.3	17 28.3	18 30.0
年 齢	10代	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	35 100.0	4 11.4	13 37.1	10 28.6	5 14.3	1 2.9	2 5.7
	30代	24 100.0	0 0.0	4 16.7	4 16.7	5 20.8	9 37.5	2 8.3
	40代	17 100.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	3 17.6	10 58.8	3 17.6
	50代	22 100.0	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 27.3	15 68.2
	60代	6 100.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	4 66.7
国 籍	中国	39 100.0	0 0.0	4 10.3	5 12.8	8 20.5	15 38.5	7 17.9
	ベトナム	17 100.0	2 11.8	7 41.2	5 29.4	2 11.8	0 0.0	1 5.9
	フィリピン	16 100.0	2 12.5	1 6.3	0 0.0	3 18.8	5 31.3	5 31.3
	韓国・朝鮮	7 100.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 85.7
	ブラジル	6 100.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	3 50.0
	ネパール	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0
	台湾	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	0 0.0	5 33.3	3 20.0	0 0.0	3 20.0	4 26.7

Q8 あなたの仕事は何ですか。(チェック☑は1つだけ)

		全体	正社員	・ア パ ル ー バ イ ト	自 営 業	学 生	主 婦 ・ 主 夫	そ の 他	仕 事 を し て い な い
合計		106 100.0	39 36.8	24 22.6	4 3.8	16 15.1	14 13.2	4 3.8	5 4.7
性 別	男性	45 100.0	24 53.3	8 17.8	2 4.4	7 15.6	1 2.2	2 4.4	1 2.2
	女性	60 100.0	14 23.3	16 26.7	2 3.3	9 15.0	13 21.7	2 3.3	4 6.7
年 齢	10代	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	35 100.0	15 42.9	4 11.4	0 0.0	14 40.0	1 2.9	0 0.0	1 2.9
	30代	24 100.0	12 50.0	8 33.3	0 0.0	0 0.0	4 16.7	0 0.0	0 0.0
	40代	17 100.0	6 35.3	3 17.6	1 5.9	0 0.0	4 23.5	2 11.8	1 5.9
	50代	22 100.0	6 27.3	8 36.4	2 9.1	0 0.0	3 13.6	1 4.5	2 9.1
	60代	6 100.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	2 33.3	1 16.7	1 16.7
国 籍	中国	39 100.0	11 28.2	8 20.5	2 5.1	6 15.4	10 25.6	1 2.6	1 2.6
	ベトナム	17 100.0	8 47.1	3 17.6	0 0.0	5 29.4	0 0.0	0 0.0	1 5.9
	フィリピン	16 100.0	7 43.8	6 37.5	0 0.0	0 0.0	1 6.3	2 12.5	0 0.0
	韓国・朝鮮	7 100.0	2 28.6	1 14.3	2 28.6	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3
	ブラジル	6 100.0	5 83.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0
	ネパール	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	台湾	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	2 13.3	4 26.7	0 0.0	5 33.3	2 13.3	0 0.0	2 13.3

Q9 埼玉県に住んでいるのはどうしてですか。(チェック☑は3つまで)

		全体	就職のため	学校が近いから	結婚のため	道路や交通の便が良いから	地域の人が優しいから	山、川などの自然が豊かだから	その他
合計		106 100.0	42 39.6	20 18.9	22 20.8	28 26.4	16 15.1	13 12.3	12 11.3
性別	男性	45 100.0	28 62.2	8 17.8	4 8.9	12 26.7	7 15.6	5 11.1	4 8.9
	女性	60 100.0	14 23.3	12 20.0	18 30.0	16 26.7	9 15.0	8 13.3	7 11.7
年齢	10代	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	35 100.0	15 42.9	16 45.7	2 5.7	9 25.7	5 14.3	2 5.7	3 8.6
	30代	24 100.0	13 54.2	1 4.2	3 12.5	6 25.0	5 20.8	6 25.0	4 16.7
	40代	17 100.0	6 35.3	0 0.0	8 47.1	3 17.6	1 5.9	1 5.9	3 17.6
	50代	22 100.0	6 27.3	1 4.5	5 22.7	8 36.4	4 18.2	3 13.6	2 9.1
	60代	6 100.0	2 33.3	0 0.0	4 66.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0
国籍	中国	39 100.0	11 28.2	7 17.9	7 17.9	10 25.6	7 17.9	6 15.4	6 15.4
	ベトナム	17 100.0	10 58.8	7 41.2	1 5.9	6 35.3	4 23.5	0 0.0	0 0.0
	フィリピン	16 100.0	7 43.8	1 6.3	5 31.3	3 18.8	1 6.3	1 6.3	2 12.5
	韓国・朝鮮	7 100.0	2 28.6	0 0.0	2 28.6	2 28.6	2 28.6	2 28.6	3 42.9
	ブラジル	6 100.0	6 100.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0
	ネパール	4 100.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0
	台湾	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	その他	15 100.0	3 20.0	5 33.3	6 40.0	4 26.7	1 6.7	1 6.7	0 0.0

Q10 生活の中で特に困っていることは何ですか。(チェック☑は3つまで)

		全体	日本語能力	仕事	医療、福祉、介護	子育て、教育	お金	住まい	在留資格	家族との関係	地域の生活ルール	日本人のつきあい	その他	特になし
合計		106 100.0	46 43.4	25 23.6	11 10.4	10 9.4	38 35.8	4 3.8	6 5.7	3 2.8	4 3.8	13 12.3	0 0.0	25 23.6
性別	男性	45 100.0	21 46.7	9 20.0	6 13.3	6 13.3	13 28.9	1 2.2	4 8.9	1 2.2	1 2.2	8 17.8	0 0.0	8 17.8
	女性	60 100.0	24 40.0	15 25.0	5 8.3	4 6.7	24 40.0	3 5.0	2 3.3	2 3.3	3 5.0	5 8.3	0 0.0	17 28.3
年齢	10代	2 100.0	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	20代	35 100.0	20 57.1	14 40.0	0 0.0	3 8.6	19 54.3	2 5.7	1 2.9	0 0.0	1 2.9	7 20.0	0 0.0	3 8.6
	30代	24 100.0	11 45.8	3 12.5	4 16.7	4 16.7	6 25.0	1 4.2	3 12.5	1 4.2	1 4.2	2 8.3	0 0.0	6 25.0
	40代	17 100.0	5 29.4	4 23.5	4 23.5	3 17.6	3 17.6	0 0.0	0 0.0	1 5.9	1 5.9	1 5.9	0 0.0	7 41.2
	50代	22 100.0	7 31.8	4 18.2	0 0.0	0 0.0	8 36.4	0 0.0	1 4.5	0 0.0	1 4.5	1 4.5	0 0.0	7 31.8
	60代	6 100.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3
国籍	中国	39 100.0	14 35.9	8 20.5	6 15.4	5 12.8	8 20.5	2 5.1	1 2.6	0 0.0	1 2.6	4 10.3	39 100.0	10 25.6
	ベトナム	17 100.0	12 70.6	5 29.4	0 0.0	2 11.8	8 47.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	5 29.4	17 100.0	2 11.8
	フィリピン	16 100.0	8 50.0	2 12.5	1 6.3	1 6.3	7 43.8	1 6.3	3 18.8	1 6.3	1 6.3	1 6.3	16 100.0	4 25.0
	韓国・朝鮮	7 100.0	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	7 100.0	4 57.1
	ブラジル	6 100.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	6 100.0	1 16.7
	ネパール	4 100.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	1 25.0
	台湾	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0
	その他	15 100.0	8 53.3	6 40.0	1 6.7	0 0.0	10 66.7	1 6.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0	2 13.3	15 100.0	2 13.3

Q11 日常生活の中で困ったときに誰に相談しますか。(チェック☑は3つまで)

		全体	知母人 国出身の友人や	近所の人	日本人の友人や知人	外国出身の友人や知人	日本語教室の関係者	民間の相談所やボランティア団体	市役所、町村役場等の窓口	その他	相談する相手がいない	無回答
合計		106 100.0	67 63.2	11 10.4	39 36.8	8 7.5	2 1.9	2 1.9	16 15.1	19 17.9	3 2.8	3 2.8
性別	男性	45 100.0	29 64.4	6 13.3	18 40.0	2 4.4	1 2.2	0 0.0	9 20.0	6 13.3	2 4.4	2 4.4
	女性	60 100.0	38 63.3	5 8.3	21 35.0	6 10.0	1 1.7	2 3.3	7 11.7	13 21.7	0 0.0	0 0.0
年齢	10代	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	35 100.0	29 82.9	3 8.6	14 40.0	3 8.6	1 2.9	1 2.9	2 5.7	4 11.4	2 5.7	2 5.7
	30代	24 100.0	18 75.0	4 16.7	8 33.3	3 12.5	1 4.2	0 0.0	7 29.2	1 4.2	1 4.2	1 4.2
	40代	17 100.0	9 52.9	3 17.6	4 23.5	1 5.9	0 0.0	0 0.0	3 17.6	6 35.3	0 0.0	0 0.0
	50代	22 100.0	8 36.4	1 4.5	9 40.9	1 4.5	0 0.0	0 0.0	2 9.1	6 27.3	0 0.0	0 0.0
	60代	6 100.0	1 16.7	0 0.0	4 66.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0
国籍	中国	39 100.0	23 59.0	7 17.9	11 28.2	1 2.6	1 2.6	0 0.0	10 25.6	2 5.1	2 5.1	2 5.1
	ベトナム	17 100.0	16 94.1	1 5.9	5 29.4	1 5.9	1 5.9	1 5.9	2 11.8	2 11.8	0 0.0	0 0.0
	フィリピン	16 100.0	9 56.3	1 6.3	8 50.0	1 6.3	0 0.0	1 6.3	1 6.3	6 37.5	1 6.3	1 6.3
	韓国・朝鮮	7 100.0	2 28.6	0 0.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 42.9	0 0.0	0 0.0
	ブラジル	6 100.0	4 66.7	0 0.0	3 50.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	ネパール	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
	台湾	2 100.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	11 73.3	1 6.7	5 33.3	4 26.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7	3 20.0	0 0.0	0 0.0

Q12 新型コロナウイルス感染症により困ったことはありますか。(チェック☐は3つまで)

		全体	がずっと家にいるので、過度のストレス	自分や家族が感染し、生命の危機にさらされることが不安である	マスクや消毒液など、必要な物資を購入できない	外出自粛や子供の世話などのため仕事を休みたかったが、なかなか休めない	病気の時にいつも行く病院の医者が自分にも医者に行くことができない	仕事が増えたなどにより収入が減少した	内定取り消しや解雇など、仕事ができなくなった	学費を払うことが難しく、退学や休学について悩んでいる	その他	特になし
合計		106 100.0	37 34.9	23 21.7	16 15.1	9 8.5	8 7.5	54 50.9	8 7.5	11 10.4	2 1.9	16 15.1
性別	男性	45 100.0	10 22.2	9 20.0	8 17.8	4 8.9	3 6.7	26 57.8	2 4.4	4 8.9	1 2.2	8 17.8
	女性	60 100.0	27 45.0	14 23.3	8 13.3	5 8.3	5 8.3	27 45.0	6 10.0	7 11.7	1 1.7	8 13.3
年齢	10代	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	20代	35 100.0	10 28.6	6 17.1	7 20.0	3 8.6	3 8.6	22 62.9	4 11.4	7 20.0	1 2.9	4 11.4
	30代	24 100.0	12 50.0	6 25.0	6 25.0	2 8.3	2 8.3	13 54.2	2 8.3	1 4.2	0 0.0	3 12.5
	40代	17 100.0	6 35.3	3 17.6	0 0.0	1 5.9	3 17.6	7 41.2	1 5.9	2 11.8	0 0.0	5 29.4
	50代	22 100.0	7 31.8	6 27.3	3 13.6	3 13.6	0 0.0	10 45.5	1 4.5	0 0.0	1 4.5	2 9.1
	60代	6 100.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3
国籍	中国	39 100.0	14 35.9	10 25.6	5 12.8	2 5.1	5 12.8	17 43.6	3 7.7	4 10.3	1 2.6	6 15.4
	ベトナム	17 100.0	6 35.3	2 11.8	2 11.8	1 5.9	2 11.8	13 76.5	3 17.6	3 17.6	0 0.0	1 5.9
	フィリピン	16 100.0	6 37.5	2 12.5	4 25.0	4 25.0	1 6.3	8 50.0	0 0.0	1 6.3	0 0.0	2 12.5
	韓国・朝鮮	7 100.0	2 28.6	2 28.6	0 0.0	1 14.3	0 0.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3
	ブラジル	6 100.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3
	ネパール	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0
	台湾	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	その他	15 100.0	6 40.0	5 33.3	2 13.3	0 0.0	0 0.0	8 53.3	2 13.3	2 13.3	1 6.7	1 6.7

Q13 あなたは日本語がどのくらいできますか。(チェック☑は1つだけ)

[話す](チェック☑は 1つだけ)

		全体	問題なく話せる	話 が ゆ っ く り し た 短 い 会 話 で 可 い	ほとん ど 話 せ な い	無 回 答
合計		106 100.0	49 46.2	44 41.5	12 11.3	1 0.9
性別	男性	45 100.0	24 53.3	18 40.0	3 6.7	0 0.0
	女性	60 100.0	25 41.7	26 43.3	8 13.3	1 1.7
年齢	10代	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	20代	35 100.0	15 42.9	18 51.4	2 5.7	0 0.0
	30代	24 100.0	9 37.5	11 45.8	4 16.7	0 0.0
	40代	17 100.0	9 52.9	5 29.4	2 11.8	1 5.9
	50代	22 100.0	12 54.5	7 31.8	3 13.6	0 0.0
	60代	6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0
国籍	中国	39 100.0	17 43.6	17 43.6	4 10.3	1 2.6
	ベトナム	17 100.0	6 35.3	11 64.7	0 0.0	0 0.0
	フィリピン	16 100.0	8 50.0	5 31.3	3 18.8	0 0.0
	韓国・朝鮮	7 100.0	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	ブラジル	6 100.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0
	ネパール	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0
	台湾	2.0 100.0	1.0 50.0	1.0 50.0	0.0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	7 46.7	6 40.0	2 13.3	0 0.0

[読む] (チェック☐はいくつでも)

		全体	ひらがなが読める	カタカナが読める	簡単な漢字が読める	仕事や学業に差し支えない程度に読める	ほとんど読めない
合計		106 100.0	47 44.3	40 37.7	42 39.6	40 37.7	8 7.5
性別	男性	45 100.0	19 42.2	15 33.3	12 26.7	20 44.4	3 6.7
	女性	60 100.0	28 46.7	25 41.7	30 50.0	20 33.3	4 6.7
年齢	10代	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	20代	35 100.0	17 48.6	15 42.9	13 37.1	16 45.7	1 2.9
	30代	24 100.0	11 45.8	8 33.3	11 45.8	7 29.2	2 8.3
	40代	17 100.0	8 47.1	7 41.2	6 35.3	6 35.3	1 5.9
	50代	22 100.0	7 31.8	6 27.3	9 40.9	9 40.9	2 9.1
	60代	6 100.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	2 33.3	2 33.3
国籍	中国	39 100.0	10 25.6	6 15.4	16 41.0	20 51.3	0 0.0
	ベトナム	17 100.0	10 58.8	9 52.9	10 58.8	6 35.3	0 0.0
	フィリピン	16 100.0	13 81.3	12 75.0	9 56.3	1 6.3	2 12.5
	韓国・朝鮮	7 100.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	6 85.7	0 0.0
	ブラジル	6 100.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	2 33.3	2 33.3
	ネパール	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0
	台湾	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	その他	15 100.0	10 66.7	9 60.0	5 33.3	4 26.7	1 6.7

Q14 あなたは日本語が どのくらいできますか。(チェック☑は3つまで)

		全体	日本語学校	日本語教室	職場	日本人の家族や友人	外国人の家族や友人	テレビ、ラジオ、インターネット	教科書、参考書	その他	学んでいない	無回答
合計		106 100.0	34 32.1	11 10.4	46 43.4	24 22.6	11 10.4	27 25.5	29 27.4	6 5.7	7 6.6	1 0.9
性別	男性	45 100.0	19 42.2	4 8.9	20 44.4	6 13.3	3 6.7	13 28.9	14 31.1	3 6.7	3 6.7	0 0.0
	女性	60 100.0	15 25.0	7 11.7	25 41.7	18 30.0	8 13.3	14 23.3	15 25.0	3 5.0	4 6.7	1 1.7
年齢	10代	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	35 100.0	16 45.7	5 14.3	12 34.3	1 2.9	3 8.6	13 37.1	16 45.7	2 5.7	2 5.7	0 0.0
	30代	24 100.0	9 37.5	2 8.3	14 58.3	4 16.7	4 16.7	6 25.0	7 29.2	1 4.2	0 0.0	0 0.0
	40代	17 100.0	5 29.4	2 11.8	6 35.3	8 47.1	0 0.0	2 11.8	1 5.9	3 17.6	0 0.0	1 5.9
	50代	22 100.0	4 18.2	0 0.0	10 45.5	8 36.4	3 13.6	4 18.2	4 18.2	0 0.0	4 18.2	0 0.0
	60代	6 100.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7	3 50.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0
国籍	中国	39 100.0	19 48.7	1 2.6	11 28.2	6 15.4	3 7.7	8 20.5	11 28.2	2 5.1	2 5.1	1 2.6
	ベトナム	17 100.0	8 47.1	4 23.5	8 47.1	0 0.0	1 5.9	6 35.3	9 52.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	フィリピン	16 100.0	3 18.8	0 0.0	13 81.3	8 50.0	3 18.8	6 37.5	3 18.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	韓国・朝鮮	7 100.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0	2 28.6	2 28.6	0 0.0	4 57.1	0 0.0
	ブラジル	6 100.0	1 16.7	1 16.7	3 50.0	3 50.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0
	ネパール	4 100.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
	台湾	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	3 20.0	4 26.7	6 40.0	5 33.3	4 26.7	3 20.0	3 20.0	1 6.7	1 6.7	0 0.0

Q15 あなたは、どうやって日本語を 学んでいますか。(チェック☑は3つまで)

		全 体	は い	い い え
合計		106 100.0	77 72.6	29 27.4
性 別	男性	45 100.0	34 75.6	11 24.4
	女性	60 100.0	42 70.0	18 30.0
年 齢	10代	2 100.0	1 50.0	1 50.0
	20代	35 100.0	33 94.3	2 5.7
	30代	24 100.0	20 83.3	4 16.7
	40代	17 100.0	9 52.9	8 47.1
	50代	22 100.0	12 54.5	10 45.5
	60代	6 100.0	2 33.3	4 66.7
国 籍	中国	39 100.0	30 76.9	9 23.1
	ベトナム	17 100.0	16 94.1	1 5.9
	フィリピン	16 100.0	9 56.3	7 43.8
	韓国・朝鮮	7 100.0	2 28.6	5 71.4
	ブラジル	6 100.0	5 83.3	1 16.7
	ネパール	4 100.0	3 75.0	1 25.0
	台湾	2 100.0	2 100.0	0 0.0
	その他	15 100.0	10 66.7	5 33.3

Q15-1 【Q15 で「はい」と答えた人】今後日本語を学びたいですか。(チェック☑は3つまで)

		全 体	だ 日 か 本 ら で の 生 活 に 必 要	就 日 職 本 に で の 必 要 だ 勉 強 か ら	必 子 要 ど だ も か の 学 校 生 活 に	そ の 他
合計		77 100.0	67 87.0	49 63.6	15 19.5	3 3.9
性 別	男性	34 100.0	30 88.2	23 67.6	6 17.6	3 8.8
	女性	42 100.0	37 88.1	25 59.5	9 21.4	0 0.0
年 齢	10代	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	20代	33 100.0	30 90.9	27 81.8	6 18.2	1 3.0
	30代	20 100.0	19 95.0	12 60.0	6 30.0	1 5.0
	40代	9 100.0	6 66.7	2 22.2	2 22.2	0 0.0
	50代	12 100.0	9 75.0	6 50.0	1 8.3	1 8.3
	60代	2 100.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
国 籍	中国	30 100.0	24 80.0	13 43.3	4 13.3	1 3.3
	ベトナム	16 100.0	16 100.0	15 93.8	7 43.8	0 0.0
	フィリピン	9 100.0	8 88.9	6 66.7	1 11.1	0 0.0
	ブラジル	5 100.0	4 80.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0
	ネパール	3 100.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	0 0.0
	韓国・朝鮮	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	台湾	2 100.0	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	その他	10 100.0	10 100.0	8 80.0	1 10.0	1 10.0

Q15-2 [Q15で「いいえ」と答えた人]それは、なぜですか。(チェック☑は3つまで)

		全体	忙しい 時間がない 勉強する	の日本 情報がない 教室や日本 語学校	近くに いるから 学べる場 が	勉強 するお金 がない	家族や 友人など から通訳 してくれる から	母国の 言葉だけ で生活で きるから	その他	無 回 答
合計		29 100.0	10 34.5	0 0.0	1 3.4	6 20.7	7 24.1	1 3.4	11 37.9	3 10.3
性別	男性	11 100.0	4 36.4	0 0.0	1 9.1	3 27.3	0 0.0	0 0.0	5 45.5	2 18.2
	女性	18 100.0	6 33.3	0 0.0	0 0.0	3 16.7	7 38.9	1 5.6	6 33.3	1 5.6
年齢	10代	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
	30代	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0
	40代	8 100.0	4 50.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0	2 25.0	0 0.0	3 37.5	1 12.5
	50代	10 100.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	3 30.0	3 30.0	0 0.0	2 20.0	2 20.0
	60代	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0
国籍	中国	9 100.0	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 55.6	2 22.2
	フィリピン	7 100.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	3 42.9	4 57.1	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	韓国・朝鮮	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	3 60.0	1 20.0
	ベトナム	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ブラジル	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ネパール	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	台湾	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	5 100.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0

Q16 仕事を決めるときに大事にすることは何ですか。(チェック☑は3つまで)

		全体	給料	仕事の内容	働く場所、通勤時間	福利厚生	企業のイメージや認知度	その他	特になし	無回答
合計		106 100.0	77 72.6	74 69.8	57 53.8	32 30.2	7 6.6	3 2.8	6 5.7	1 0.9
性別	男性	45 100.0	37 82.2	29 64.4	24 53.3	18 40.0	2 4.4	2 4.4	1 2.2	1 2.2
	女性	60 100.0	39 65.0	45 75.0	32 53.3	13 21.7	5 8.3	1 1.7	5 8.3	0 0.0
年齢	10代	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	35 100.0	29 82.9	27 77.1	21 60.0	13 37.1	4 11.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30代	24 100.0	20 83.3	19 79.2	16 66.7	9 37.5	2 8.3	0 0.0	1 4.2	0 0.0
	40代	17 100.0	10 58.8	12 70.6	10 58.8	5 29.4	0 0.0	1 5.9	2 11.8	0 0.0
	50代	22 100.0	13 59.1	11 50.0	7 31.8	4 18.2	1 4.5	1 4.5	2 9.1	1 4.5
	60代	6 100.0	3 50.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0
国籍	中国	39 100.0	23 59.0	28 71.8	20 51.3	14 35.9	6 15.4	1 2.6	3 7.7	1 2.6
	ベトナム	17 100.0	14 82.4	13 76.5	11 64.7	5 29.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	フィリピン	16 100.0	15 93.8	8 50.0	8 50.0	5 31.3	1 6.3	0 0.0	1 6.3	0 0.0
	韓国・朝鮮	7 100.0	4 57.1	4 57.1	3 42.9	1 14.3	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0
	ブラジル	6 100.0	4 66.7	5 83.3	2 33.3	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0
	ネパール	4 100.0	2 50.0	0 0.0	3 75.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	台湾	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	13 86.7	14 93.3	9 60.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

Q17 仕事で困っていることはありますか。(チェック☑は3つまで)

		全体	仕事の探し方が分からない	自分に合う仕事が見つからない	履歴書の書き方など、就職のルールが分からない	上司や同僚との人間関係がうまくいっていない	仕事で悩みが あったとき、誰に相談したら良いか分からない	外国人であることを理由に就職を断られた	その他	特になし	仕事をしていない
合計		106 100.0	8 7.5	21 19.8	7 6.6	6 5.7	16 15.1	14 13.2	4 3.8	50 47.2	12 11.3
性別	男性	45 100.0	2 4.4	9 20.0	2 4.4	4 8.9	9 20.0	5 11.1	1 2.2	24 53.3	2 4.4
	女性	60 100.0	6 10.0	11 18.3	5 8.3	2 3.3	6 10.0	9 15.0	3 5.0	26 43.3	10 16.7
年齢	10代	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	35 100.0	3 8.6	10 28.6	5 14.3	2 5.7	7 20.0	8 22.9	1 2.9	15 42.9	2 5.7
	30代	24 100.0	2 8.3	6 25.0	1 4.2	2 8.3	3 12.5	5 20.8	0 0.0	11 45.8	3 12.5
	40代	17 100.0	0 0.0	3 17.6	1 5.9	1 5.9	2 11.8	0 0.0	1 5.9	11 64.7	1 5.9
	50代	22 100.0	2 9.1	1 4.5	0 0.0	1 4.5	4 18.2	1 4.5	1 4.5	11 50.0	3 13.6
	60代	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3	3 50.0
国籍	中国	39 100.0	3 7.7	7 17.9	2 5.1	3 7.7	5 12.8	6 15.4	1 2.6	16 41.0	6 15.4
	ベトナム	17 100.0	2 11.8	5 29.4	3 17.6	1 5.9	5 29.4	3 17.6	0 0.0	9 52.9	0 0.0
	フィリピン	16 100.0	0 0.0	1 6.3	1 6.3	1 6.3	4 25.0	0 0.0	1 6.3	11 68.8	1 6.3
	韓国・朝鮮	7 100.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	3 42.9	2 28.6
	ブラジル	6 100.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	3 50.0	0 0.0
	ネパール	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0
	台湾	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
	その他	15 100.0	2 13.3	5 33.3	1 6.7	1 6.7	2 13.3	3 20.0	1 6.7	3 20.0	3 20.0

Q18 病院で医者に診てもらおうときに困っていることはありますか。(チェック☑は3つまで)

		全体	か ど 分 こ の 病 院 に 行 け ば 良 い	う 医 者 や 看 護 師 に 日 本 語 で	か 医 者 や 看 護 師 の 説 明 が 分	る 者 外 国 人 で あ る こ と を 理 由 に 医 生 に 会 わ な い	そ の 他	特 に な し
合計		106 100.0	26 24.5	46 43.4	33 31.1	5 4.7	0 0.0	49 46.2
性別	男性	45 100.0	13 28.9	19 42.2	15 33.3	2 4.4	0 0.0	19 42.2
	女性	60 100.0	13 21.7	26 43.3	17 28.3	3 5.0	0 0.0	30 50.0
年齢	10代	2 100.0	1 50.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	20代	35 100.0	16 45.7	21 60.0	12 34.3	2 5.7	0 0.0	10 28.6
	30代	24 100.0	5 20.8	10 41.7	8 33.3	1 4.2	0 0.0	13 54.2
	40代	17 100.0	1 5.9	5 29.4	4 23.5	1 5.9	0 0.0	10 58.8
	50代	22 100.0	3 13.6	6 27.3	6 27.3	0 0.0	0 0.0	12 54.5
	60代	6 100.0	0 0.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	4 66.7
国籍	中国	39 100.0	9 23.1	13 33.3	8 20.5	1 2.6	0 0.0	21 53.8
	ベトナム	17 100.0	7 41.2	11 64.7	5 29.4	1 5.9	0 0.0	6 35.3
	フィリピン	16 100.0	3 18.8	8 50.0	7 43.8	0 0.0	0 0.0	7 43.8
	韓国・朝鮮	7 100.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 85.7
	ブラジル	6 100.0	1 16.7	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	2 33.3
	ネパール	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0
	台湾	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	その他	15 100.0	3 20.0	9 60.0	8 53.3	1 6.7	0 0.0	5 33.3

Q19 災害時の情報をどのように知りますか。(チェック☑は3つまで)

		全体	役所のホームページ	ラジオ	テレビ	インターネット	SNS	友人から	その他	分からない
合計		106 100.0	17 16.0	7 6.6	50 47.2	68 64.2	36 34.0	34 32.1	2 1.9	5 4.7
性別	男性	45 100.0	7 15.6	3 6.7	21 46.7	30 66.7	14 31.1	15 33.3	1 2.2	2 4.4
	女性	60 100.0	10 16.7	4 6.7	29 48.3	37 61.7	21 35.0	19 31.7	1 1.7	3 5.0
年齢	10代	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	20代	35 100.0	3 8.6	2 5.7	10 28.6	28 80.0	16 45.7	10 28.6	0 0.0	2 5.7
	30代	24 100.0	6 25.0	2 8.3	16 66.7	13 54.2	7 29.2	10 41.7	0 0.0	1 4.2
	40代	17 100.0	2 11.8	0 0.0	8 47.1	11 64.7	7 41.2	7 41.2	0 0.0	0 0.0
	50代	22 100.0	5 22.7	3 13.6	11 50.0	12 54.5	3 13.6	3 13.6	1 4.5	2 9.1
	60代	6 100.0	1 16.7	0 0.0	5 83.3	4 66.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0
国籍	中国	39 100.0	7 17.9	2 5.1	19 48.7	21 53.8	10 25.6	13 33.3	0 0.0	2 5.1
	ベトナム	17 100.0	5 29.4	2 11.8	7 41.2	14 82.4	6 35.3	5 29.4	0 0.0	0 0.0
	フィリピン	16 100.0	4 25.0	1 6.3	9 56.3	10 62.5	8 50.0	4 25.0	0 0.0	1 6.3
	韓国・朝鮮	7 100.0	0 0.0	1 14.3	5 71.4	6 85.7	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	ブラジル	6 100.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7
	ネパール	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
	台湾	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	0 0.0	1 6.7	7 46.7	11 73.3	9 60.0	7 46.7	1 6.7	0 0.0

Q20 災害時の避難場所を知っていますか。(チェック☑は1つだけ)

		全 体	知 っ て い る	知 ら な い
合計		106 100.0	65 61.3	41 38.7
性 別	男性	45 100.0	25 55.6	20 44.4
	女性	60 100.0	39 65.0	21 35.0
年 齢	10代	2 100.0	1 50.0	1 50.0
	20代	35 100.0	17 48.6	18 51.4
	30代	24 100.0	16 66.7	8 33.3
	40代	17 100.0	14 82.4	3 17.6
	50代	22 100.0	12 54.5	10 45.5
	60代	6 100.0	5 83.3	1 16.7
国 籍	中国	39 100.0	28 71.8	11 28.2
	ベトナム	17 100.0	7 41.2	10 58.8
	フィリピン	16 100.0	11 68.8	5 31.3
	韓国・朝鮮	7 100.0	5 71.4	2 28.6
	ブラジル	6 100.0	4 66.7	2 33.3
	ネパール	4 100.0	2 50.0	2 50.0
	台湾	2 100.0	0.0	2 100.0
	その他	15 100.0	8 53.3	7 46.7

Q21 あなたは、地域での生活に必要な情報をどこで知りますか。(チェック☑は3つまで)

		全体	市役所、 窓口、 町役場の	役所の ホーム ページ	友人 や知人	テレビ、 ラジオ	新聞、 雑誌	イン ター ネ ット	そ の 他	知 る 方 法 が な い
合計		106 100.0	31 29.2	23 21.7	45 42.5	21 19.8	11 10.4	64 60.4	6 5.7	8 7.5
性別	男性	45 100.0	14 31.1	11 24.4	45 100.0	9 20.0	4 8.9	29 64.4	2 4.4	5 11.1
	女性	60 100.0	16 26.7	11 18.3	60 100.0	12 20.0	7 11.7	34 56.7	4 6.7	3 5.0
年齢	10代	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	35 100.0	7 20.0	6 17.1	16 45.7	5 14.3	3 8.6	28 80.0	1 2.9	5 14.3
	30代	24 100.0	9 37.5	5 20.8	10 41.7	6 25.0	5 20.8	14 58.3	1 4.2	1 4.2
	40代	17 100.0	4 23.5	4 23.5	9 52.9	2 11.8	1 5.9	11 64.7	1 5.9	1 5.9
	50代	22 100.0	7 31.8	6 27.3	6 27.3	7 31.8	2 9.1	7 31.8	2 9.1	1 4.5
	60代	6 100.0	3 50.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7	0 0.0	4 66.7	1 16.7	0 0.0
国籍	中国	39 100.0	10 25.6	10 25.6	14 35.9	9 23.1	5 12.8	23 59.0	1 2.6	3 7.7
	ベトナム	17 100.0	8 47.1	5 29.4	8 47.1	2 11.8	3 17.6	12 70.6	0 0.0	1 5.9
	フィリピン	16 100.0	9 56.3	6 37.5	7 43.8	3 18.8	0 0.0	12 75.0	0 0.0	1 6.3
	韓国・朝鮮	7 100.0	1 14.3	1 14.3	2 28.6	4 57.1	2 28.6	3 42.9	0 0.0	0 0.0
	ブラジル	6 100.0	0 0.0	1 16.7	4 66.7	0 0.0	0 0.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0
	ネパール	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0
	台湾	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	2 13.3	0 0.0	9 60.0	2 13.3	1 6.7	9 60.0	3 20.0	1 6.7

Q22 県にしてほしいことは何ですか。(チェック☑は3つまで)

		全体	医療サービス体制を整備する	災害から県民をまもる	子育てを支援する	外国人が、日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる	看板や案内表示の多言語化	災害情報の多言語化	その他	特になし
合計		106 100.0	27 25.5	16 15.1	21 19.8	48 45.3	30 28.3	36 34.0	2 1.9	18 17.0
性別	男性	45 100.0	11 24.4	8 17.8	9 20.0	20 44.4	15 33.3	17 37.8	0 0.0	10 22.2
	女性	60 100.0	16 26.7	8 13.3	12 20.0	27 45.0	14 23.3	18 30.0	2 3.3	8 13.3
年齢	10代	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	20代	35 100.0	7 20.0	5 14.3	3 8.6	26 74.3	10 28.6	12 34.3	1 2.9	4 11.4
	30代	24 100.0	5 20.8	2 8.3	11 45.8	12 50.0	7 29.2	10 41.7	1 4.2	2 8.3
	40代	17 100.0	2 11.8	3 17.6	5 29.4	3 17.6	5 29.4	6 35.3	0 0.0	6 35.3
	50代	22 100.0	8 36.4	4 18.2	1 4.5	6 27.3	5 22.7	6 27.3	0 0.0	4 18.2
	60代	6 100.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3
国籍	中国	39 100.0	10 25.6	6 15.4	11 28.2	18 46.2	8 20.5	10 25.6	1 2.6	5 12.8
	ベトナム	17 100.0	3 17.6	2 11.8	2 11.8	13 76.5	3 17.6	6 35.3	0 0.0	3 17.6
	フィリピン	16 100.0	6 37.5	4 25.0	3 18.8	8 50.0	7 43.8	8 50.0	1 6.3	1 6.3
	韓国・朝鮮	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6
	ブラジル	6 100.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3	3 50.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7
	ネパール	4 100.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0
	台湾	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	4 26.7	2 13.3	1 6.7	2 13.3	8 53.3	7 46.7	0 0.0	5 33.3

Q23 県が設置しているやさしい日本語と 10 か国語で相談できる「外国人総合相談センター埼玉」を知っていますか。(チェック☑は1つだけ)

		全 体	知 っ て い る	知 ら な い
合 計		106 100.0	26 24.5	80 75.5
性 別	男 性	45 100.0	12 26.7	33 73.3
	女 性	60 100.0	13 21.7	47 78.3
年 齢	10代	2 100.0	0 0.0	2 100.0
	20代	35 100.0	5 14.3	30 85.7
	30代	24 100.0	8 33.3	16 66.7
	40代	17 100.0	3 17.6	14 82.4
	50代	22 100.0	8 36.4	14 63.6
	60代	6 100.0	2 33.3	4 66.7
国 籍	中 国	39 100.0	12 30.8	27 69.2
	ベトナム	17 100.0	2 11.8	15 88.2
	フィリピン	16 100.0	4 25.0	12 75.0
	韓国・朝鮮	7 100.0	1 14.3	6 85.7
	ブラジル	6 100.0	2 33.3	4 66.7
	ネパール	4 100.0	2 50.0	2 50.0
	台湾	2 100.0	0 0.0	2 100.0
	その他	15 100.0	3 20.0	12 80.0

【参考資料4】

川越市国際化基本計画審議会委員名簿

(役職別・順不同)

役職	氏 名	職 業 等	性別	出身国
会長	助川 泰彦	東京国際大学 教育研究推進機構教授	男	日本
副会長	焦 雁	川越市外国籍市民会議 座長	女	中国
委員	小島 有利子	尚美学園大学 芸術情報学部 教授、国際交流センター長	女	日本
委員	栗原 良則	川越商工会議所 総務企画部長	男	日本
委員	小林 康史	かわごえ国際ボランティアの会 副代表 行政書士	男	日本
委員	佐久間 美希	川越市国際ボランティア”kerria” 代表	女	日本
委員	清水 俊男	川越市姉妹都市交流委員会 代表	男	日本
委員	間 志津江	公募委員	女	日本
委員	清水 裕幸	公募委員	男	日本
委員	ウェン・トウン・アン	(留学生) 東京国際大学 大学院生	男	ベトナム